

第6回

日本在宅医療連合学会大会

プログラム集

現地開催

2024 7/20^土 → 21^日

幕張メッセ国際会議場

Web開催

2024 8/5^月 → 9/20^金

大会長 荻野美恵子

国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター
国際医療福祉大学市川病院神経難病センター

副大会長 高砂裕子

(横浜市) 南区医師会訪問看護ステーション

在宅医療を紡ぐ





どこかで必ずお役に立てます

健康を守るセコムのICT



クラウド型電子カルテシステム

UBIQUITOUS
セコム・ユビキタス 電子カルテ

セコムOWEL
セコムオーウェル
クラウド型電子カルテシステム

遠隔画像診断支援サービス
ホスピネット

Hospi-net

遠隔診療支援プラットフォーム

セコムVitalook

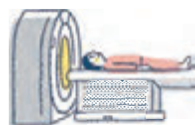


セコムクラウド PACS

NOBORI

病院経営情報分析システム

セコムSMASH



勤務表作成システム

M 看護配置マイスター



SECOM

セコム医療システム株式会社 ソリューション本部

TEL 03-6261-2883 (受付時間 平日 9:00~18:00)

東京営業所、関西営業所、九州営業所、北海道営業所



第6回日本在宅医療連合学会大会

在宅医療を紡ぐ

プログラム集

会 期	【現地開催】2024年7月20日（土）～2024年7月21日（日） 【Web開催】2024年8月5日（月）～2024年9月20日（金）
会 場	幕張メッセ 国際会議場
大 会 長	荻野 美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター 副センター長・教授 国際医療福祉大学市川病院神経難病センター
副 大 会 長	高砂 裕子 （横浜市）南区医師会訪問看護ステーション
主 催	一般社団法人 日本在宅医療連合学会
助 成	公益社団法人 在宅医療助成勇美記念財団
後 援	厚生労働省／千葉県／千葉市／公益社団法人日本医師会／公益社団法人千葉県医師会／公益社団法人日本栄養士会／公益社団法人日本介護福祉士会／公益社団法人日本看護協会／公益社団法人日本歯科医師会／公益社団法人日本歯科衛生士会／公益社団法人日本鍼灸師会／公益社団法人日本薬剤師会／一般社団法人日本病院会／公益社団法人全日本病院協会／一般社団法人全国在宅療養支援医協会／一般社団法人全国訪問看護事業協会／一般社団法人日本言語聴覚士協会／一般社団法人日本作業療法士協会／一般社団法人日本認知症ケア学会／一般社団法人日本在宅医療事務連絡会／一般社団法人日本ポイントオブケア超音波学会／一般社団法人日本睡眠学会／一般社団法人日本摂食嚥下リハビリテーション学会／一般社団法人日本呼吸ケア・リハビリテーション学会／公益社団法人日本臨床工学技士会／千葉県介護支援専門員協議会／一般社団法人日本慢性期医療協会／NPO地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク／一般社団法人日本難病・疾病団体協議会／公益財団法人日本訪問看護財団／公益社団法人日本理学療法士協会／一般社団法人日本介護支援専門員協会／公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会／公益社団法人日本社会福祉士会／一般社団法人日本在宅ケアアライアンス／一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会／一般社団法人日本老年医学会／特定非営利活動法人日本緩和医療学会／日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会／日本地域薬局薬学会／公益社団法人日本薬学会／一般社団法人日本医療学会／一般社団法人日本医療薬学会／一般社団法人日本社会薬学会／一般社団法人日本医薬品情報学会／一般社団法人日本緩和医療薬学会／一般社団法人日本在宅薬学会／一般社団法人日本薬学教育学会／一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会／一般社団法人日本難病看護学会／一般社団法人日本在宅ケア学会／一般社団法人日本在宅栄養管理学会／一般社団法人日本ケアマネジメント学会／一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会／公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会／特定非営利活動法人日本ホスピス緩和ケア協会／日本在宅ホスピス協会／一般社団法人日本臨床衛生検査技師会／PEG・在宅医療学会 ※一部申請中を含みます。
大会事務局	国際医療福祉大学市川病院神経難病センター
運営事務局	株式会社幕張メッセ 事業企画課 〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1 Tel：043-296-0623 Mail：info@jahcm2024.jp

◆総合案内

ご挨拶	4
大会運営の新規取り組み	6
第6回日本在宅医療連合学会大会 実行委員	7
第6回日本在宅医療連合学会大会 プログラム委員	8
交通のご案内・会場周辺図	9
幕張メッセ 国際会議場のご案内	10
ポスター会場配置図	11
展示会場のご案内	12
参加者の皆様へ	14
座長・演者の皆様へ	20
在宅ケア体験フェスタ【第1部】	24
在宅ケア体験フェスタ【第2部】	26
認知症カフェ Café「虹色のcafé 未来みらい」	31
市民公開講座「ケアラースカフェー介護者のおしゃべり会」	32
懇親会	34
日程表	35

◆プログラム

開会式	43
大会長講演	43
代表理事講演	43
特別企画1	43
特別企画2	44
特別講演	45
映像&講演	46
当事者講演	47
教育講演	47
シンポジウム	52
ワークショップ	70
ハンズオンセミナー	76
交流集会	77
指導医大会	78
在宅NPWT認定教育制度 OSCEハンズオン講習会	78
スポンサードシンポジウム	79
ランチョンセミナー	80
一般演題（口演）	84
一般演題（ポスター）	91
レイトブレイキングセッション	110
閉会式	110

◆査読者リスト	112
---------	-----

◆協賛企業・団体一覧	114
------------	-----

第6回日本在宅医療連合学会大会 大会長挨拶



第6回日本在宅医療連合学会大会

大会長 荻野 美恵子

(国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター 副センター長・教授／
国際医療福祉大学市川病院神経難病センター)

この度第6回日本在宅医療連合学会大会を、令和6年（2024年）7月20日（土）・21日（日）に幕張メッセにて開催することになりました。

本学会は令和元年（2019年）に日本在宅医学会と日本在宅医療学会が合併し、今では会員数4500名を超え、在宅分野で日本最大の学術団体になりました。本大会は節目の5年から新たな時代に入った時期での開催となります。おりしも日本は2040年問題を控え高齢化多死時代に向けて、在宅医療はますます重要な位置付けとなっております。しかし、人的資源にしても、経済的裏付けにしても明らかに需要に対して供給が少ない中で、この難関を乗り切らなければなりません。そのためには創意工夫とその共有、助け合いのネットワーク等、より密な交流が必要です。本大会はそのような状況において、役に立つものにしたいと思っております。

大会のテーマは「在宅医療を紡ぐ」としました。ポスターでもイメージとしてお示ししましたが、組み紐は単にいろいろな糸を寄せ集めただけではなく、一本一本の糸の個性も生かしつつ意図をもって織りなすことで、美しく強靱な組み紐ができあがっていきます。医療においても、単に紹介するだけのコーディネートではなく、様々な要素が統合（integrate）されて初めて良い成果がえられると思います。特に生活を支える在宅医療では医療介護の多職種の関わりというだけでなく、様々な制度の利用や医療以外の分野との関わり等、その要素となるものは多岐にわたります。本大会はそれを体感するようなものにしたいと思っております。

メインテーマの“紡” integration（統合）のほかにサブテーマとして以下の点を取り上げ、これらを意識した企画の構成にしようとしています。

“幸” Well being（生活の質・人生の質（QOL）の向上）、“働” Collaborative decision making（協働意思決定）、
“含” Inclusion of diverse values（多様な価値観の包含）、“継” sustainability（持続可能性）、“繋” interdisciplinary team collaboration（多職種連携）、“楽” enjoy your life（快）

*これらのコンセプトに関しては文末をご覧ください。

女性の大会長も初めてのことです。日本における女性・母親・嫁（介護）の大変さは身をもって経験してきましたので、本大会では各企画に女性の起用をお願いすることにしました。女性だけでなくいろいろな意味で大変な思いをされている方々にも活躍いただきます。

単なる座学だけでなく、参加型の企画も多数計画していますので、「見て、聞いて、体験して、学びを深め、リアルな出会いと思いを紡ぐ大会」としてネットワークも広げていただければと思っております。また、教育講演など繰り返し確認したい内容や、当日の企画は会期後1か月以上にわたりオンデマンド配信をいたしますので、遠方からの方やご多忙で会場に起こしになれない方にもハイブリッドで参加いただけるように進めております。

是非、幕張メッセでお会いしましょう！

2024年6月吉日

大会コンセプト

今大会は7つのコンセプトを中心に企画しました。どれも在宅医療になくてはならない要素です。皆さんと作り上げていく大会にいたします。是非幕張メッセでお会いしましょう！

“紡” integration：紡ぐ：統合

在宅医療は、医療だけでなく生活を支えるあらゆる分野が関わって成り立っています。織りなすことで、美しく強靱になっていく組みひものように、単に多職種が集まっただけでなく、制度を寄せ集めただけでもなく、それらが統合して初めて患者さんやご家族の幸せにつながりますね。

“幸” Well being：QOL：生活の質・人生の質

在宅医療に限らず、私たちが目指すのは患者さんやご家族のQOLが少しでも向上することですね。それは少しでも幸せにいていただけるようにすること。何が幸せかはその方にしかわかりません。だから患者さんやご家族の想いをききます。意思が意志になるように。

“働” Collaborative decision making：協働意思決定

私たちは医療や介護の専門家、患者さんは患者さんの人生の専門家。難題に対峙したときその専門家同士が、お互いの考えを理解し、認めあいながら、ご本人の想いができるだけ叶うように、何が最善なのかを考えていくプロセス。すべての基礎は協働意思決定にあるのではないのでしょうか。

“含” Inclusion of diverse values：多様な価値観の包含

協働意思決定の際に大事にすることはその方の価値観です。その方にとっての“価値”や、幸せは究極の個別性。様々な考え方を受け入れたうえで、何をを目指すのかを考えましょう。多様性を認め合うこと、マイノリティーを受け入れること、弱い立場の人を守ること、どれも包含できる社会でなければなりません。在宅医療における女性の在り方も変化してほしい。

“継” sustainability：持続可能性

そして良い事は持続可能にしなければなりません。いくら良い事でもすぐに駄目になってしまうのではもったいないです。患者さんのケアも、事業所の経営も、いいことを続けるためには持続可能性が必要です。そして良い事を次の世代に繋げていかなければなりません。

“繋” interdisciplinary team collaboration：多職種連携

これらのことを成し遂げるためには、より多くの専門性、価値観をもった人が、ただ繋がるだけではなく、患者さんにとって何が良いのかという、同じ目標を共有することが大切ですよね。

“楽” enjoy your life：快

まあ、大変なこともいろいろあるけれど、苦勞することが不幸ではない。在宅医療に関わった人生を楽しみましょう。

切り拓け！ 開拓者たれ！ 社会をかえろ！

大会運営の新規取り組み

第6回大会では、いくつか新しい取り組みを致しました。日本在宅医療連合学会は多職種により組織された学術団体として、在宅医療の標準化を図り、良質な在宅医療を提供するために様々な課題解決を図っていく必要があります。課題の一つには学術大会の質も含まれています。学術大会の質を向上させていくために、本大会では以下の通り試験的な取り組みを行いました。大会終了後には、全体を評価し、次の大会長に引き継いで参ります。

ご協力頂きました各学会委員会の先生方、大会プログラム委員、理事、評議員、会員の皆様に心より御礼申し上げます。

1. プログラム委員の導入・企画調整担当者の選出

従来、学会の企画は各種委員会、WGから提案された企画および公募企画があったが、それらに加えて、偏りなく在宅医療全般の分野をカバーする大会となるよう、在宅医療の内容を過去の大会企画及び一般演題を参考にカテゴリー化し、それぞれのカテゴリーにプログラム委員（原則各2名）をおき、企画を練る方式とした。企画枠組みはシンポジウム90分、ワークショップ90分、教育講演60分とし、各カテゴリーからそれぞれ1企画ずつ提案してもらった。

委員会・WG企画とプログラム委員会企画の内容が重ならないように、委員会・WGから企画の調整を担当する委員を選出し、担当大会実行委員とともにプログラム委員と話し合いをする形で進めた。

2. 演者座長の多様性とジェンダーバランスの工夫

企画者が偏ると、特定の領域の企画が多くなったり、演者・座長が特定の人に集中する可能性もあるため、座長演者の登壇回数に上限を設けるとともに、プログラム委員等の企画者には、ダイバーシティに配慮した構成する目的で、座長や演者が男性のみ、特定の職種のみに偏らないように企画することを依頼した。

3. 参加型への工夫

参加者の学びを最大限にできるよう、参加型、体験型の企画を準備した。参加者目線の“テーマ”の導入と介護職向け企画の開催などである。以下の7つのサブテーマを設け、参加者が在宅医療の価値を意識しながら参加できるようにした。“紡” integration（紡ぐ：統合）、“幸” Well being（生活の質・人生の質（QOL）の向上）、“働” Collaborative decision making（協働意思決定）、“含” Inclusion of diverse values（多様な価値観の包含）、“継” sustainability（持続可能性）、“繋” interdisciplinary team collaboration（多職種連携）、“楽” enjoy your life（快）。また、これまで参加の少なかった介護職が参加しやすいように、介護職向けのシンポジウムやワークショップを企画しプログラムに「介護職向け」と明示した。

第6回日本在宅医療連合学会大会 実行委員

大会を運営するにあたり、多職種の方にご協力いただき実行委員会を構成しました。参加型大会にするために、ボランティアで様々なご尽力をいただきました。実行委員のご協力なしには本大会の開催を成しえませんでした。この場を借りて御礼申し上げます。

第6回日本在宅医療連合学会大会 大会長 荻野 美恵子

敬称略

浅川 孝司（国際医療福祉大学）	理学療法士
植竹 日奈（NPO法人ケ・セラ）	社会福祉士
梅野福太郎（四街道まごころクリニック）	在宅医（千葉県）
川口美喜子（札幌医療大学、大妻女子大学）	管理栄養士
鮫島 絵子（国際医療福祉大学）	一般市民（日本語教師・司書）
中村 明澄（医療法人社団澄乃会 向日葵クリニック）	在宅医（千葉県）
花井亜紀子（国立精神・神経医療研究センター病院）	看護師
水木麻衣子（東京大学）	看護師
村口 正樹（日本医療デザインセンター）	医療事務・コンサルタント
餅原 弘樹（医療法人社団いぶきの森 のぞみの花クリニック）	薬剤師
富永奈保美（国際医療福祉大学）	神経内科医・在宅医

第6回日本在宅医療連合学会大会 プログラム委員

敬称略

企画カテゴリー	プログラム委員
1. ACP・意思決定	片山 陽子 (香川県立保健医療大学) 川口 篤也 (函館稜北病院)
2. 患者と医療者のコミュニケーション、倫理的課題、哲学的課題、権利保障	長尾 式子 (北里大学)
3-1. 医療安全・リスクマネジメント	武 ユカリ (森ノ宮医療大学) 三浦 靖彦 (岩手保健医療大学)
3-2. 災害対策、感染対策	菅原 由美 (特定非営利活動法人 キャンナス) 古屋 聡 (山梨市立牧丘病院) 宮本 雄気 (医療法人双樹会 よしき往診クリニック) 泰川 恵吾 (医療法人鳥伝白川会 ドクターゴン診療所)
4. 人材育成・教育、キャリア	井口真紀子 (医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック大崎) 洪 英在 (東員病院)
5. 研究、医療・ケアの質・評価	宇都宮励子 (一般社団法人大阪ファルマプラン) 田中 誠 (医療法人理智会 たなか往診クリニック)
6. ICT、事業所運営・経営	門田耕一郎 (重工記念長崎病院) 水上 直人 (医療法人賛永会 さつきホームクリニック)
7. 多職種連携	久島 和洋 (ドクターゴン鎌倉診療所) 吉川 正宏 (公益財団法人ときわ会 竹林貞吉記念クリニック)
8. 病診・病病連携	清水 政克 (医療法人社団清水メディカルクリニック) 花井亜紀子 (国立精神・神経医療研究センター病院) 米本 千春 (堺市立総合医療センター 患者支援センター)
9. 異分野・異業種連携	荒金 英樹 (愛生会山科病院) 大川 薫 (亀田総合病院)
10. 地域包括システム、地域づくり	新屋 洋平 (医療法人以和貴西崎病院／一般社団法人OHS沖縄往診サポート) 吉江 悟 (一般社団法人Neighborhood Care)
11. 保険制度・診療報酬、医療政策・医療計画・医療制度	猪原 健 (医療法人社団敬崇会 猪原「食べる」総合歯科医療クリニック) 次橋 幸男 (公益財団法人天理よろづ相談所病院)
12. 国際性・国際交流	大北 葉子 (順天堂大学) 富沢 道俊 (富沢産業株式会社) 余 尚儒 (台湾在宅医療学会)
13. 精神疾患、認知症、がん、難病	中山 優季 (公益財団法人東京都医学総合研究所) 安中 正和 (安中外科・脳神経外科医院)
14. 臓器不全、フレイル・多臓器併存・その他	竹川 幸恵 (大阪はびきの医療センター) 梅野福太郎 (四街道まごころクリニック)
15. 緩和ケア、看取り、家族ケア	濱野 淳 (筑波大学) 片見 明美 (株式会社ヴィーナス)
16. リハビリテーション、生活援助・ケア技術、福祉用具機器・医療機器	大寺垂由美 (国際医療福祉大学市川病院) 服部万里子 (服部メディカル研究所)
17. 排尿・排便ケア、呼吸ケア	浅川 孝司 (国際医療福祉大学市川病院) 武知由佳子 (医療法人社団愛友会 いきいきクリニック)
18. 食支援・口腔嚥下、褥瘡ケア	塩野崎淳子 (医療法人豊生会 機能強化型認定栄養ケア・ステーション 訪問栄養サポートセンター仙台) 杉本 由佳 (医療法人すぎもと在宅医療クリニック)
19. 小児 20. その他	市橋 亮一 (医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック) 向井まゆみ (一般社団法人なれっじネットワーク)

幕張メッセ

総合案内

– 9 –

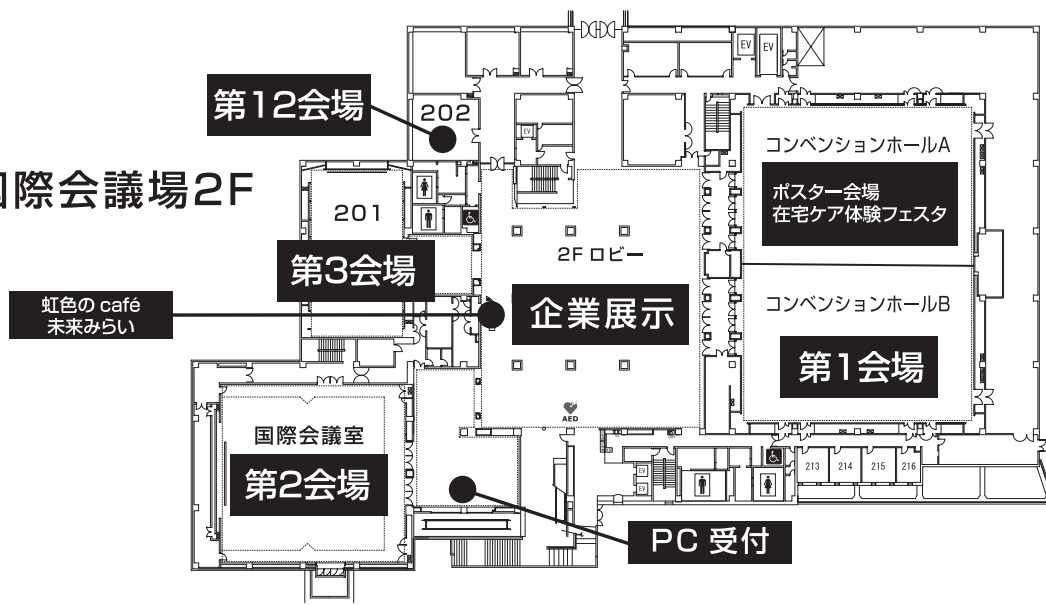
幕張メッセ 国際会議場のご案内

総合案内

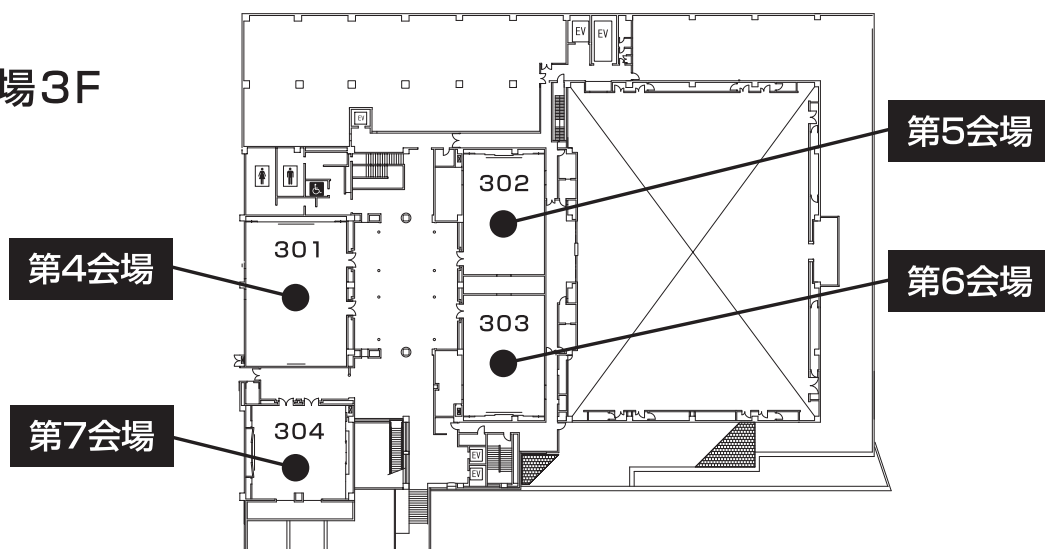
国際会議場1F



国際会議場2F



国際会議場3F



ポスター会場配置図

●7/20 (1日目)

- ・ポスター貼り付け 8:00～ 9:30
- ・ポスター撤去 17:00～18:00



※ポスターは1日目と2日目で貼り換えです。

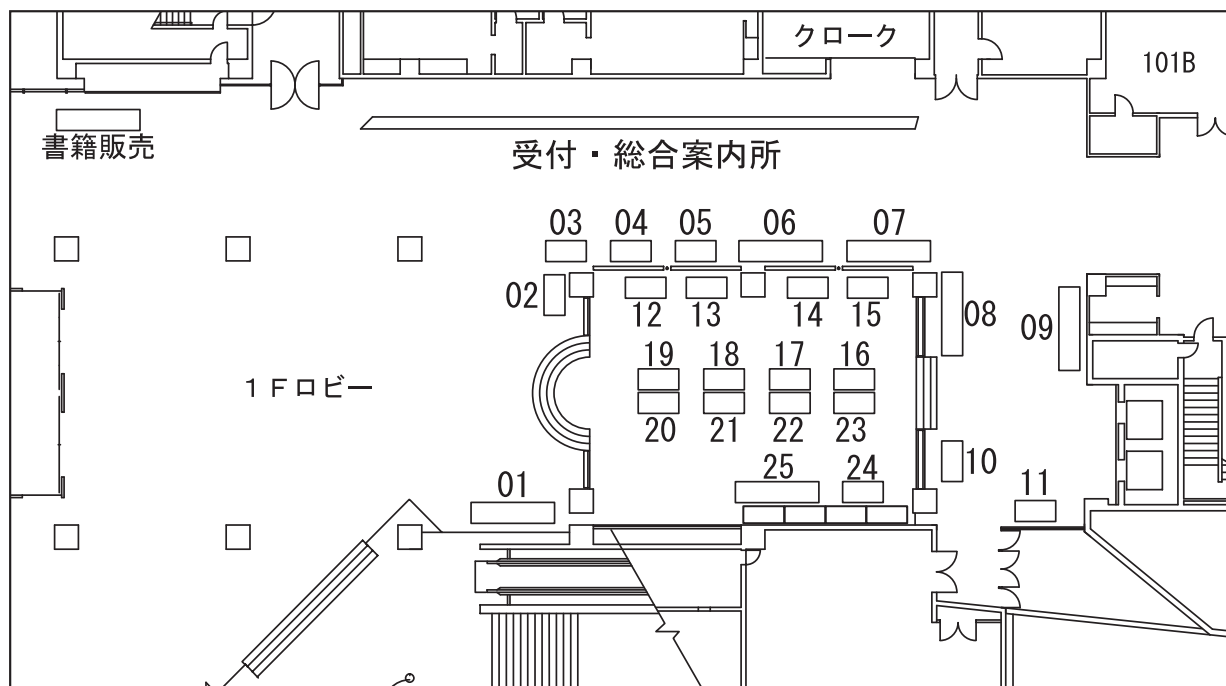
●7/21 (2日目)

- ・ポスター貼り付け 8:00～ 9:20
- ・ポスター撤去 16:50～17:30

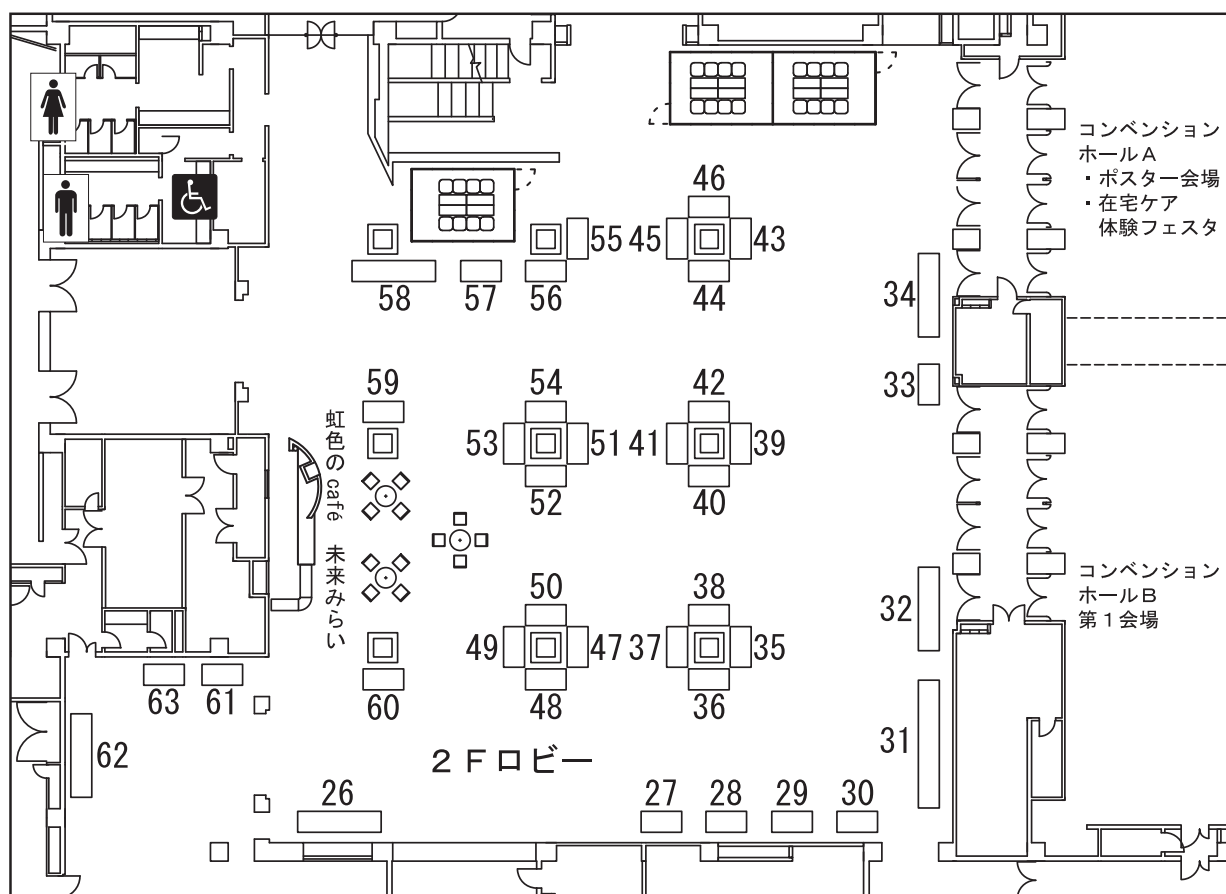


展示会場のご案内

■ 1 F ロビー



■ 2 F ロビー



展示会場のご案内

No.	会社名／団体名
1	株式会社プロアス
2	カーブジェン株式会社
3	ナック商会株式会社
4	アルケア株式会社
5	パーカッション・ジャパン株式会社
6	日本シグマックス株式会社
7	フクダ電子株式会社／フクダライフテック株式会社
8	メディカルインフォマティクス株式会社
9	グラクソ・スミスクライン株式会社
10	株式会社伊藤園
11	株式会社ニチイ学館
12	ルミラ・ダイアクノスティクス・ジャパン株式会社
13	シスメックス株式会社
14	スリーエム ヘルスケアジャパン合同会社
15	ワシエスメディカル株式会社
16	キッコーマンニュートリケア・ジャパン株式会社
17	USCIジャパン株式会社
18	株式会社データシード
19	株式会社東京エム・アイ商会
20	株式会社ニトムズ
21	エア・ウォーター・メディカル株式会社
22	九州メディカルサービス株式会社
23	株式会社JPステート
24	QT Medical, Inc.
25	泉工医科工業株式会社
26	スミス・アンド・ネフュー株式会社
27	三栄メディシス株式会社
28	株式会社ヒュー・メックス
29	GEヘルスケア・ジャパン株式会社
30	入江工研株式会社
31	株式会社メルシー
32	NTTデバイステクノ株式会社

No.	会社名／団体名
33	株式会社OUI
34	株式会社エム・イー
35	株式会社QUEEN'S
36	アボットジャパン合同会社
37	ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社
38	株式会社ネエチア
39	エンブレース株式会社
40	マルホ株式会社
41	トクソー技研株式会社
42	株式会社大塚製薬工場
43	富士フイルムメディカル株式会社
44	チェスト株式会社
45	オープン株式会社
46	株式会社フィリップス・ジャパン
47	株式会社on call
48	オムロン ヘルスケア株式会社
49	ニュートリー株式会社
50	株式会社クラウドクリニック
51	SOMPO Light Vortex株式会社
52	クロスログ株式会社
53	アイザックス症候群りんごの会
54	株式会社北浜製作所
55	株式会社星医療酸器
56	株式会社インボディ・ジャパン
57	株式会社共和
58	アサヒグループ食品株式会社
59	株式会社当直連携基盤
60	ファストドクター株式会社
61	株式会社リサシステム
62	株式会社VIPグローバル
63	一般社団法人日本ALS協会
書籍	株式会社ガリバー

参加者の皆様へ

1. 会期

現地開催 2024年7月20日（土）～21日（日）

Web開催（オンデマンド配信） 2024年8月5日（月）～9月20日（金）

※教育講演はWeb開催（オンデマンド配信）のみとなり、現地での講演はありません。

※ワークショップ・交流集会・ハンズオンセミナー・一般演題（口演・ポスター）・ランチョンセミナー・スポンサーシンポジウムは現地開催のみとなり、オンデマンド配信はありません。

2. 参加登録申込期間

事前オンライン申込【現地+Web（オンデマンド配信）】 4/8（月）10：00～7/19（金）17：00

現地当日申込 7/20（土）・21（日）

※現地当日申込をされた方は、事後のWeb（オンデマンド配信）の視聴も可能です。

事後オンライン申込【Web（オンデマンド配信）のみ】 7/22（月）9：00～8/26（月）17：00

3. 参加費

申込区分	事前オンライン申込 【現地+Web参加】 事後オンライン申込 【Web参加のみ】	現地当日申込 ※事後のWeb参加も可能
①【会 員】医師・歯科医師・企業	14,000円	16,000円
②【非会員】医師・歯科医師・企業	15,000円	17,000円
③【会 員】初期臨床研修医	10,000円	12,000円
④【非会員】初期臨床研修医	11,000円	13,000円
⑤【会 員】薬剤師	10,000円	12,000円
⑥【非会員】薬剤師	11,000円	13,000円
⑦【会 員】上記以外の医療職・福祉職・行政	6,000円	8,000円
⑧【非会員】上記以外の医療職・福祉職・行政	7,000円	9,000円
⑨市民・ボランティア	3,000円	3,000円
⑩学生（※大学院生は⑦⑧になります）	無料	無料
支払い方法	クレジットカードのみ	現金のみ

《注意事項》

- ・会員で発表者／座長となった方は、必ず「事前オンライン申込」または「現地当日申込」を行なってください。
- ・学生の方は、学生証のコピーを参加登録申し込みフォームより、必ずアップロードしてください。

4. 現地参加受付

受付時間 7月20日（土）7：30～17：00（予定）

7月21日（日）7：30～14：00（予定）

受付場所 幕張メッセ 国際会議場 1F

受付方法

◇事前参加登録済みの方

ご登録のメールアドレス宛にお送りしているQRコードを印刷して持参、またはモバイル端末に表示できるようにして、参加受付の自動発券機にかざして、ネームカードをお受け取りください。

◇当日登録の方

1Fロビーに用意されている端末で参加登録情報をご登録のうえ、当日受付カウンターにお越しください。

5. 領収書・参加証明書について

①領収書

◇現地当日申込の方

現地で参加費と引き換えにお渡しします。

◇オンライン参加登録の方

クレジットカード決済完了後、参加登録サイトのマイページ内【領収書ダウンロード】ボタンより発行可能です。

②参加証明書

◇現地参加の方

現地でお受け取りいただくネームカードについています。

◇Web（オンデマンド配信）のみ参加の方（※現地参加後の再発行の方）

現地開催終了後に参加登録サイト（Confit）のマイページ内【参加証ダウンロード】ボタンから発行可能です。

参加証明書／領収書 発行期限 10月31日（木）

6. 入会受付および年会費の支払い

日本在宅医療連合学会に入会希望の方及び年会費をお支払いされる方は、受付時間内に1Fの受付カウンターにお越しください。

<お問合せ先>

日本在宅医療連合学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-7 お茶の水サニービル7F

TEL・FAX：03-5802-3490 E-mail：jimukyoku@jahcm.org

学会入会のご案内 <https://www.jahcm.org/membership.html>

7. 抄録集・プログラム集について

抄録集（抄録本文あり）は、大会ホームページにPDFデータで掲載しています。

プログラム集（抄録本文なし）は、現地会場で配布します。

※抄録集・プログラム集のいずれも、事前送付はございません。

8. クローク

開設時間 7月20日（土）7：30～18：30

7月21日（日）7：30～18：00

場 所 幕張メッセ 国際会議場 1F

9. 託児所

託児所は大会ホームページからの事前申込制です。

安全確保の為、設置場所はご利用の方にご案内します。

10. 社員総会・理事会

日時 7月19日（金）社員総会 16：50～17：20／理事会 17：30～18：30

会場 第3会場（2F・会議室201）

11. 懇親会について

日 時 7月20日（土）18：30～20：00

場 所 TKP東京ベイ幕張ホール（アパホテル東京ベイ幕張内）

参 加 費 3,000円

申込方法 参加登録画面からオンライン事前申込み制

※定員に達していない場合は、当日の参加も受け付けます。

※懇親会に関する詳細は34ページをご覧ください。

12. 会員総会

日時 7月21日（日）10：50～11：20

会場 第2会場（2F・国際会議室）

13. 事前予約が必要なプログラムについて

以下プログラムは大会ホームページからの事前申込制です。プログラムによっては、当日空きがある場合のみご参加いただけます。原則、お申込み者でなくても見学は自由です。

一覧に記載のないワークショップは、当日会場に直接お越しください。尚、事前予約を受け付けていないプログラムでも定員を設けている場合がございます。ご了承ください。

セッション名	日時		定員	当日参加 ※空きがある場合
市民公開講座	7月19日(金)	13：00～16：00	200名	○
ワークショップ1	7月20日(土)	8：30～10：00	150名	○
ワークショップ2	7月20日(土)	8：30～10：00	30名	○※ ¹
ワークショップ3	7月20日(土)	8：30～10：00	40名	○
ワークショップ5	7月20日(土)	13：10～14：40	52名	○
ワークショップ6	7月20日(土)	14：50～16：20	50名	○
ワークショップ7	7月20日(土)	14：50～16：20	100名	○
ワークショップ9	7月20日(土)	14：50～16：20	40名	○
ワークショップ10	7月20日(土)	14：50～16：20	24名	○
ワークショップ12	7月20日(土)	16：30～18：00	30名	○※ ²
ワークショップ13	7月20日(土)	16：30～18：00	50名	○
ワークショップ14	7月20日(土)	16：30～18：00	30名	○
ワークショップ16	7月21日(日)	9：40～10：40	50名	○
ワークショップ17	7月21日(日)	9：40～10：40	36名	○
ワークショップ18	7月21日(日)	12：40～14：10	130名	○
ワークショップ20	7月21日(日)	16：00～17：30	80名	○
ハンズオンセミナー1	7月20日(土)	8：30～10：00	30名	○
ハンズオンセミナー2	7月20日(土)	10：10～11：40	30名	○
ハンズオンセミナー3	7月20日(土)	13：10～15：10	18名	×※ ³
在宅ケア体験フェスタ 第2部	7月20日（土）13：00～18：00の間に、各ブース40分×6回実施 7月21日（日） 9：00～16：00の間に、各ブース40分×6回実施 詳細は26～28ページをご覧ください。 ※第1部は予約不要です。直接会場にお越しください。			

※1 Microsoft Excel（ピボットテーブル）を用いた簡単なデータの分析方法を学びますので、Microsoft Excelを利用できるご自身のパソコンを持参することをお勧めします（パソコンを持参できない方でも参加可能です）。

※2 ①当日はPC持参での参加が必須となります。

②スマートフォン及びLINEの使用が必須となります。

③事前のアカウント作成が必須となります（詳細はお申込みの方に別途ご連絡いたします）。

④会場内に無料Wi-Fiがございますが、インターネット環境を念の為に用意ください。

※3 対象：在宅医療・介護に携わる介護職・ケアマネジャー・看護師・セラピスト・薬剤師・歯科医師・歯科衛生士など在宅RESCUEコースを自身の地域で開催検討いただける医師・看護師の方

◎本コースは実際に体を動かすシミュレーションコースです。

◎事前のE-learning受講（1時間程度の視聴）が必須となります。

14. 市民公開講座「ケアラズカフェー介護者のおしゃべり会ー」

日時 7月19日（金）13：00～16：00

会場 第2会場（2F・国際会議室）

※市民公開講座「ケアラズカフェー介護者のおしゃべり会ー」に関する詳細は32ページをご覧ください。

15. 在宅ケア体験フェスタ

【第1部】

①“みんなで孤立をなくせ!!超高齢社会体験ゲーム” コミュニティコーピング体験会

日 時 7月20日(土) 8:30~10:00

場 所 2FコンベンションホールA

内 容 第17回マニフェスト大賞コミュニケーション戦略賞優秀賞を受賞したコミュニティコーピングの体験会。コミュニティコーピングとは、人と地域資源をつなげる事で「社会的孤立」を解消する協力型ゲームです。

申込方法 直接会場にお越しください。

②最新IT技術“拡張現実”で「優しさを伝える技術」を学ぶ、ユマニチュードのシミュレーショントレーニング

日 時 7月20日(土) 10:10~11:40

場 所 2FコンベンションホールA

内 容 在宅医療で活用できる「優しさを伝える技術」を、拡張現実を用いて学ぶ、体験ワークショップ

申込方法 直接会場にお越しください。

※在宅ケア体験フェスタ【第1部】に関する詳細は24~25ページをご覧ください。

【第2部】

日 時 7月20日(土) 13:00~18:00の間に、各ブース40分×6回実施

7月21日(日) 9:00~16:00の間に、各ブース40分×6回実施

場 所 2FコンベンションホールA

内 容 「体験して、学びを深める」ことを主目的としたハンズオンワークショップ

企業や団体が保有する様々な医療・福祉機器を展示し、それら機器類を最前線で使用するスタッフとコラボレーションすることで、大会参加者が体験を通して学びを深め、患者さんにより良い在宅医療を還元していくことを目指します。

申込方法 大会ホームページからの事前申込制

※申込定員に達していないブースでは、当日申込みをお受けできる場合もあります。

※体験コースのお申込者でなくても、見学は自由です。

<ブース内容>

7月20日(土)		7月21日(日)	
①	呼吸リハビリテーション	⑧	ベッド・マットレス・リフト
②	非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)	⑨	意思伝達装置(視線入力)
③	侵襲的陽圧換気療法(TPPV) 排痰補助装置	⑩	意思伝達装置(スイッチ入力)
④	吸引関連	⑪	排尿支援
⑤	嚥下障害体験	⑫	災害対策
⑥	嚥下食体験	⑬	在宅透析機器
⑦	シーティング	⑭	排泄支援機器

※在宅ケア体験フェスタ【第2部】に関する詳細は26~28ページをご覧ください。

16. 認知症カフェ Café「虹色のcafé 未来みらい」

開設時間 7月20日(土) 11:00~12:30/13:30~15:00

7月21日(日) 11:00~12:30/13:30~15:00

場 所 2Fロビー

※定員制となります。

※認知症カフェ Café「虹色のcafé 未来みらい」に関する詳細は31ページをご覧ください。

17. ランチョンセミナーについて

整理券配布時間 7月20日(土) 7:30~11:50

7月21日(日) 7:30~11:20 ※事前予約制ではありません。

発券場所 1Fロビー

発券方法 ネームカードのQRコードを用いて、発券機で整理券をお受け取りください。

参加者の皆様へ

※各セミナーの定員になり次第、終了となります。
※ランチョンセミナーのオンデマンド配信はありません。

18. 企業展示・書籍展示

場所 企業展示 1F・2Fロビー
書籍展示 1Fロビー

19. 録音・撮影、携帯電話

会場内での録音及び写真・動画の撮影は、禁止とさせていただきます。
携帯電話・スマートフォンは、マナーモードに設定いただくか電源をお切りください。

20. 単位の取得について

単位に関する詳細については、各団体にお問い合わせください。

(1) 日本在宅医療連合学会 在宅医療認定専門医更新単位

日本在宅医療連合学会在宅医療認定専門医の方は、本大会の参加により、在宅医療認定専門医の更新に必要な単位として「10単位」が付与されます。更新までにご自身での追加の手続きは、不要です。

(2) 日本在宅医療連合学会指導医の申請と更新【対象：現地参加】

指導医申請・更新に必要な指導医大会への出席単位登録に関しては、1.5時間のセミナーを受講することで付与されます。参加ご希望の方は直接会場にお越しください。

セミナー名：指導医大会（専門医制度委員会企画）

日時：2024年7月21日（日）8：00～9：30

会場：第10会場（1F・会議室105）

- 1) プログラム開始時間10分を過ぎた場合、聴講は可能ですが、単位は認められませんので、ご注意ください。
また途中退出される場合も、単位は付与されません。
- 2) 現地開催のみが対象で、オンデマンド配信の聴講では単位は付与されません。

(3) 日本医師会 生涯教育制度単位【対象：現地参加】

日本医師会生涯教育制度の単位が取得いただけます。対象となる本大会企画のセッション名及びそのカリキュラムコード、単位数、取得方法は、大会ホームページの「単位取得について」にてご確認ください。

<単位取得を希望される方へ>

- 1) 各セッションの会場入口で「参加カード」をお受け取りください。
- 2) プログラム開始時間10分を過ぎた場合、聴講は可能ですが、単位は認められませんので、ご注意ください。
また途中退出される場合も、単位は付与されません。
- 3) 受講後、「参加カード」に必要事項をすべてご記入のうえ、会場出口の係員へお渡しください。「参加カード」が提出されない場合は、単位は付与されません。
- 4) 現地開催のみが対象で、オンデマンド配信の聴講では単位は付与されません。

(4) 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師制度単位【対象：現地参加】

- 1) 本学会は、公益財団法人日本薬剤師研修センターより認定を受けております。
7月20日（土）に「4単位」、21日（日）「4単位」、合計「8単位」の取得が可能です。
- 2) 日本薬剤師研修センターの「研修認定薬剤師制度」研修受講単位は、「薬剤師研修・認定電子システム（PECS）」での管理となります。そのため本大会の参加登録とは別に、PECSへの登録が必要です。単位の付与を希望される方は、必ず大会開催日までに登録をお済ませください。
- 3) 各日の参加条件を満たさない場合は、その日の単位は付与されませんので、十分に注意してください。
- 4) 【重要】
 - ①PECSへの登録の際、免許番号の誤入力が多数確認され、単位付与ができない事例が相次いでいると研修センターが注意喚起しています。PECSはいったん登録すると情報の修正ができませんので、正確にご入力ください。
また、誤った免許番号を登録している場合は、速やかに日本薬剤師研修センターへご連絡ください。
 - ②参加の確認は、QRコードでの入場・退場の受付時刻で管理します。受付システムの稼働時間は下記のとおりとなりますので、研修単位を希望する参加者は時間厳守をお願いいたします。なお、受付終了間際の時間は混雑が予想されますので、時間に余裕をもって受付をしてください。

- 5) 受付方法
本人確認票（QRコード）と本人確認用に写真付きの身分証明書を持参のうえ、単位受付へお越しください。
各日受付時（入場確認）及び終了時（退場確認）の2回、QRコードの読み取りが必要です。
 - 6) 受付場所
幕張メッセ 国際会議場 1F 単位受付
 - 7) 受付時間
1日目 7月20日（土） 入場確認： 8：00～ 8：30
退場確認：18：00～18：30
2日目 7月21日（金） 入場確認： 7：30～ 8：00
退場確認：17：10～17：40
 - 8) 詳細は、日本薬剤師研修センターの以下の案内をご確認ください。
<PECS（薬剤師研修・認定電子システム）>
<https://jpec.or.jp/sien/system/index.html>
<日本薬剤師研修センターに関するお問合せ先>
<https://jpec.or.jp/information/contact.html>
- (5) **日本プライマリ・ケア連合学会単位【対象：現地参加】**
日本プライマリ・ケア連合学会の単位を取得できます。希望される場合は、大会ホームページの「単位取得について」より、「単位申込書」をダウンロードのうえ、必用事項を記入して会場1Fの単位受付にご提出ください。
単位申込書の用紙は、会場1Fの当日単位受付にもご用意します。
- (6) **日本作業療法士協会（リハビリテーションスタッフ）**
日本作業療法士協会「生涯教育制度の基礎ポイント研修」のポイント対象になります。参加ポイントの申請には、大会参加証明書の提出が必要ですので、大切に保管してください。
- (7) **日本言語聴覚士協会（リハビリテーションスタッフ）**
日本言語聴覚士協会「生涯学習プログラム」のポイントとして申請可能です。参加ポイントの申請には、大会参加証明書の提出が必要ですので、大切に保管してください。
- (8) **日本ケアマネジメント学会 認定ケアマネージャー資格更新単位**
日本ケアマネジメント学会「認定ケアマネージャー」の更新ポイント（3点）として申請可能です。申請には、大会参加証明書の提出が必要ですので、大切に保管してください。講演・シンポジウム・研究発表等を行なった場合には、プログラム・抄録集などの表紙と申請者の氏名の掲載されているページの写しを提出してください。
- (9) **日本がん治療認定機構 新規申請・更新申請**
「日本がん治療認定機構が認めた学会の学術集会」に登録されています。申請には、大会参加証明書の提出が必要ですので、大切に保管してください。
- (10) **日本看護協会 認定看護師の申告**
学会における発表や参加は、研修実績及び研究業績等として申請が可能です。申請には、大会参加証明書の提出が必要です。発表ポイントの申請は、発表抄録の写しを提出してください。
- (11) **日本緩和医療学会 専門医・認定医更新単位**
本大会への出席ならびに発表が、更新単位の業績となります。申請には、大会参加証明書の提出が必要です。
- (12) **日本難病看護学会 難病看護師更新単位**
本大会は、「難病看護師認定資格の更新におけるポイントへの換算を承認する研修会・研究会等」に登録されています。申請には、大会参加証明書の提出が必要ですので、大切に保管してください。
- (13) **日本認知症ケア学会認定 認知症ケア専門士単位**
日本認知症ケア学会認定認知症ケア専門士の単位の申請が可能です。申請には、大会参加証明書の提出が必要ですので、大切に保管してください。
- (14) **日本在宅栄養管理学会認定 在宅訪問管理栄養士**
日本在宅栄養管理学会認定在宅訪問管理栄養士の更新に必要な単位（1単位）が付与されます。申請には、大会参加証明書の提出が必要ですので、大切に保管してください。

座長・演者の皆様へ

開催形式について

本大会は、現地+Web（オンデマンド配信）のハイブリット開催となります。※ライブ配信は実施いたしません。

オンデマンド配信期間 8月5日（月）～9月20日（金）

※ワークショップ・交流集会・ハンズオンセミナー・一般演題（口演・ポスター）・ランチョンセミナー・スポンサーシンポジウムを除く。

※教育講演はオンデマンドでの配信のみとなり、現地会場での発表はございません。

第6回大会では座長、演者を問わず、皆さま現地会場でのご登壇をお願いします。Zoomの設定はございません。※海外演者等を除く。

座長の方へ

1. 特別講演・シンポジウム・ワークショップ・交流集会・ハンズオンセミナー・一般演題（口演）等（教育講演・一般演題（ポスター）を除くすべて）座長の方

- ・セッション開始の15分前までに、会場前方の「次座長席」にご着席ください。
- ・進行は座長に一任いたしますが、セッションごとの時間厳守にご協力ください。
- ・座長席には、経過時間確認用のランプを設置いたします。発表時間の終了1分前に黄色ランプ、発表時間終了時に赤ランプが点灯しますので、時間内に質疑まで終了してください。
- ・時間配分等セッションの進行に関しましては、現地開催前に運営事務局より座長に確認させていただきます。
- ・座長でスライドを使用して発言・発表される場合は、PowerPoint形式のファイルをセッション開始の40分前までに必ず2F 国際会議室前（第2会場前）の「PC受付」にてご登録をお願いします。データの詳細はページ内下部「演者の方へ」をご確認ください。※セッション間の空き時間が短い為、セッション会場での対応は致しかねます。
- ・総合討論を実施する場合は、3～5分程度会場参加者同士のフリーディスカッションの時間をとってください。
- ・オンデマンド配信を希望しないセッションは、必ず現地開催前にご連絡をお願いいたします。
- ・ワークショップ・交流集会・ハンズオンセミナー・一般演題（口演・ポスター）・ランチョンセミナー・スポンサーシンポジウムについては、オンデマンドでの配信はございません。

2. 教育講演 座長の方

- ・教育講演はオンデマンドでの配信のみとなりますので、現地での座長としてのご対応はございません。
- ・オンデマンド配信用の講演動画は、事前に収録したものを配信させていただきます。

3. 一般演題（ポスター） 座長の方

- ・ポスター発表の持ち時間は1演題5分（発表3分、質疑2分）です。
- ・担当セッションの発表日時にポスター発表会場での座長をお願いします。
- ・セッション開始の15分前までに、担当セッションのポスター付近に集合してください。
- ・演者には、自身のポスター前で座長の進行で順次発表を行なっていただきます。指定された日時に演者が不在の場合は、次の演者の発表に進んでください。
- ※一般演題については、オンデマンドでの配信はございません。

演者の方へ

1. 特別講演・シンポジウム・ワークショップ・交流集会・ハンズオンセミナー・一般演題（口演）等（教育講演・一般演題（ポスター）を除くすべて）演者の方

- ・ご発表の10分前（または前の演者登壇後すぐ）に、会場前方の「次演者席」にご着席ください。
 - ・一般演題（口演）の持ち時間は 1演題10分（発表7分、質疑3分）です。
 - ・その他のセッションの発表時間は、事前に座長もしくは運営事務局からご連絡する時間を厳守してください。
 - ・演台に経過時間確認用のランプを設置いたします。発表時間の終了1分前に黄色ランプ、発表時間終了時に赤ランプが点灯します。赤ランプが点灯したら発表を終了してください。
 - ・発表は座長の指示に従い進めてください。
 - ・投影スクリーンは1面で、発表にはWindows PCとプロジェクター1台を使用いたします。パワーポイントのスライドサイズは16：9を推奨いたします。
 - ・スライドデータはセッション開始40分前までにPC受付にて試写確認を行なったうえで、データを提出してください。
- 受付時間 7月20日（土）7：30～18：00
7月21日（日）7：30～16：05
※7月21日（日）の午前中に発表がある方は、前日（7月20日（土））の午後にデータ受付を済ませることをお勧めします。
- 場 所 2F 国際会議室前（第2会場前）

- ・発表データのファイル名は「演題番号-氏名-セッション名.pptx」としてください。
- ・当日会場でご用意するPCはWindowsです。
 - ※Macintoshをご使用の方は、必ずご自身のパソコンをお持ちください。【ノートパソコンをお持ち込みの場合】をご参照ください。
 - ※iPadを使用してのご発表はできませんのでご注意ください。
- ・発表データは、USBメモリにてご持参ください。
 - ※保存するメディアには発表に必要なデータのためのみの保存とし、他のデータは入れないでください。
 - ※持ち込まれるメディアは、必ず各自にて最新のデータによるウイルスチェックを行なってご持参ください。
 - ※バックアップとして予備のデータもお持ちいただくことをお勧めします。
- ・ご用意するアプリケーションは、Microsoft PowerPoint2019、2021です。
 - ※PowerPointの機能の中にある「発表者ツール」を使用しての発表はできませんので、作成の際はご注意ください。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。会場でのプリントアウトは対応しておりません。
- ・発表データに使用するフォントは、Windows10に標準搭載されているものをご使用ください。推奨フォント以外のフォントを使用すると代替フォントが使用され、レイアウトが崩れることがあります。特殊なフォントをお使いになるときは画像化し、オブジェクトとして貼り付けてください。

【推奨フォント】

【日本語】MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝、游明朝、游ゴシック、メイリオ等
【英 語】Arial、Arial Black、Century、Century Gothic、Times New Roman等

- ・PowerPoint上の動画は使用可能ですが、動画データはWindows10で標準状態のWindows Media Playerで再生できるファイル形式にて作成し、PowerPointにリンクしてください。
 - ※事前に発表データを作成したPCとは別のPCで、動作確認をお願いいたします。
 - ※動画データはPowerPointデータとともに使用する動画ファイルを同一フォルダーに整理し、保存のうえご持参ください。
 - ※標準的な動画コーデック以外の動画ファイルの場合、再生に不具合を生じる場合がございます（動画再生に不安のある方は、ご自身のPCをご持参いただくことをお勧めいたします）。
 - ※PowerPointで動画ファイルを埋め込み処理された場合は、別途その動画ファイルもご持参いただくことをお勧めいたします。
- ・発表は演者ご自身で舞台上に設置されているマウス・キーボードを操作し、行なってください。
- ・現地会場のPCにコピーされた発表データは事務局で責任を持って消去いたします。

【ノートパソコンをお持ち込みの場合】

- ・モニター出力端子に HDMIもしくはMini-D-Sub15pin 3列コネクター装備されているものに限りです。タブレット端末でのご発表はできません。
- ・スクリーンセーバー、省電力設定をあらかじめ解除してください。
- ・ACアダプターを必ずご持参ください。
- ・故障などの予期せぬトラブルに備え、バックアップデータをご持参ください。
- ・Macintoshや一部のWindows機では変換コネクターが必要となりますので、必ずご持参ください。
- ・PC受付にて動作確認後、ご発表の20分前までにご自身で会場の左側前方のオペレーター席にPCをお持ち込みください。□演終了後、オペレーター席でPCを返却いたしますので、忘れずにお受け取りください。

【スライドへの演題番号提示のお願い】

- ・一般演題（口演）の方は、以下を参考に発表スライドの右上に演題番号を掲示した状態で発表を行なってください。



2. 教育講演 演者の方

- ・オンデマンドでの配信のみとなりますので、現地会場での発表はございません。
- ・オンデマンド配信用の講演動画は、事前に収録したものを配信させていただきます。

3. 一般演題（ポスター） 演者の方

- ・第6回大会では、紙ポスターでのご発表となります。必ずご自身で印刷したポスターをお持ちください。※会場でのプリントアウトは対応しておりません。
 - ・指定の発表日時にポスター発表会場の自身のポスター前で発表を行なっていただきます。
 - ・座長の進行によるポスター発表の持ち時間は1演題5分（発表3分、質疑2分）です。
 - ・発表セッション（（例）食支援・口腔嚥下2等）の開始時間の10分前までに、該当するポスター付近に集合してください。
- ※一般演題については、オンデマンドでの配信はございません。

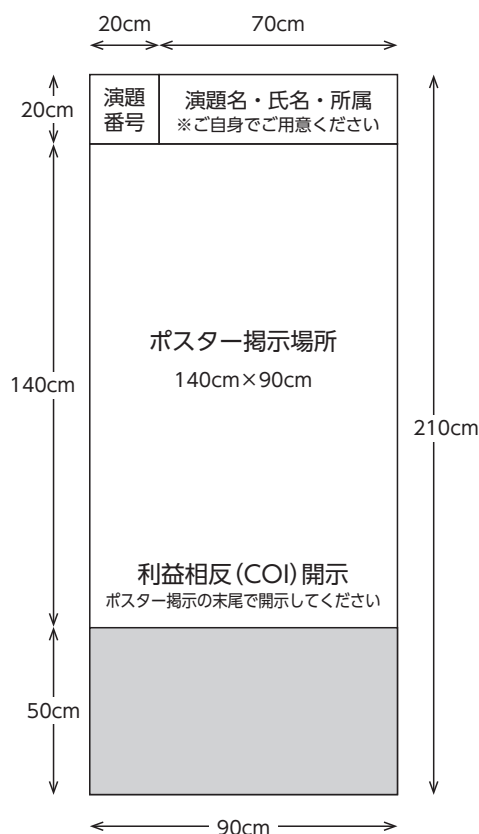
【ポスターについて】

- ・本文は、縦140cm×横90cmのサイズに収まるように作成してください。
- ・演題名、氏名、所属の表示はご自身でご用意ください。
- ・演題番号（サイズ：20cm×20cm）の表示は運営事務局で準備します。

ご自身でご用意いただくもの	・演題名、氏名、所属の表示（サイズ：縦20cm×横70cm） ・本文（サイズ：縦140cm×横90cm）
運営事務局で用意するもの	・演題番号の表示（縦20cm×横20cm）

【ポスター掲示サンプル】

ポスター会場には、下図のとおり1演題につき縦210cm×横90cmのボードを用意します。



利益相反（COI）の開示について

第6回日本在宅医療連合学会大会では、全ての演題（指定演題、共催セミナー、一般演題）において、演題登録時に利益相反（COI）の有無をご登録いただき、発表時のスライドにて利益相反（COI）の開示を行なっていただきます。利益相反は筆頭著者本人および共著者についての登録をお願いいたします。

<COIの開示基準>

1. 企業、法人、営利を目的とする団体（以下「企業等」という）の役員、顧問職として1つの企業等から年間100万円以上の報酬を受ける場合
2. 1つの企業等について株式による利益（配当、売却益の総額）を1年間に100万円以上受ける場合、あるいは企業等の全株式の5%以上を保有する場合
3. 企業等から1つの特許権使用料として年間100万円以上受ける場合
4. 1つの企業等から会議の出席の日当や講演料として年間50万円以上受ける場合
5. 1つの企業等から執筆料として年間50万円以上受ける場合
6. 1つの企業等から研究費として年間200万円以上受ける場合
7. 1つの企業等から申告者個人または申告者が所属する部門あるいは研究室の代表者に対し寄付金として年間総額200万円以上支払われる場合
8. 1つの企業等が提供する寄付講座に申告者が所属している場合
9. その他1つの企業等から研究とは直接無関係な旅行、贈答品などとして年間総額5万円以上受ける場合
10. 発表に関連する企業等と雇用関係にある場合

※詳細は、一般社団法人 日本在宅医療連合学会のホームページから最新情報をご確認ください。

一般社団法人日本在宅医療連合学会の定款、プライバシーポリシー、利益相反に関する規定
<https://www.jahcm.org/statute.html>

<学会当日の利益相反（COI）の開示について>

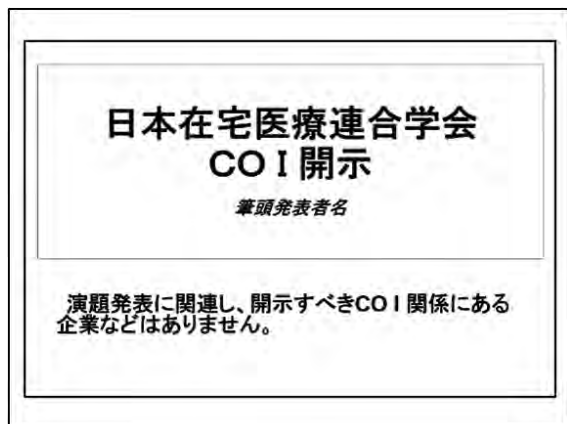
対象：本会で演題を発表する全ての演者

利益相反に関する開示は、当日のご発表の際に次のとおり利益相反（COI）状態を開示してください。

- ・口演発表の場合：タイトルの次のスライド（2枚目）
- ・ポスター発表の場合：ポスター掲示の末尾

<COIスライド開示例>

- ・申告すべき利益相反（COI）状態がない時



- ・申告すべき利益相反（COI）状態がある時



在宅ケア体験フェスタ【第1部】

【第1部】

①“みんなで孤立をなくせ!!超高齢社会体験ゲーム” コミュニティコーピング体験会

●日 時 7月20日(土) 8:30~10:00

●会 場 2FコンベンションホールA

●申込方法 直接会場にお越しください。

<内容>

第17回マニフェスト大賞コミュニケーション戦略賞優秀賞を受賞したコミュニティコーピングの体験会
コミュニティコーピングとは、人と地域資源をつなげる事で「社会的孤立」を解消する協力型ゲームです。

<ファシリテーター>

松宮 泉(我孫子医師会)、大野 令子(我孫子市天王台地区高齢者なんでも相談室)、
星 良子(我孫子市湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室)、
直江 美樹(江戸川学園おおたかの森専門学校)、田中 玲子、千葉 晃一(コレカラ・サポート)

“みんなで孤立をなくせ!!超高齢社会体験ゲーム” コミュニティコーピング体験会

松宮 泉 ¹	マツミヤ イズミ
大野 令子 ²	オオノ レイコ
星 良子 ³	ホシ リョウコ
直江 美樹 ⁴	ナオエ ミキ
田中 玲子 ⁵	タナカ レイコ
千葉 晃一 ⁶	チバ コウイチ

¹一般社団法人我孫子医師会 コミュニティコーピング認定ファシリテーター

²我孫子市天王台地区高齢者なんでも相談室 コミュニティコーピング認定ファシリテーター

³我孫子市湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室 コミュニティコーピング認定ファシリテーター

⁴学校法人江戸川学園 江戸川学園おおたかの森専門学校 心理・社会福祉学科 コミュニティコーピング認定ファシリテーター

⁵コミュニティコーピング認定ファシリテーター

⁶一般社団法人コレカラ・サポート

第17回マニフェスト大賞コミュニケーション戦略賞優秀賞を受賞、また、昨年在宅医療連合学会東海支部会でも好評だった、あのコミュニティコーピングの体験会です。コミュニティコーピングとは：人と地域資源をつなげる事で「社会的孤立」を解消する協力型ゲームです。ゲームは2021年からスタート！ターンごとに、悩みを抱えた人が6つの地区のどこかで発生します。同じ地区に4人以上、悩みを抱えた人が年の最後にとどまると、地域体制が崩壊し、ゲームオーバー！果たして皆さんの地域は2030年まで存続し続ける事ができるのでしょうか？このゲームの開発背景には、「必要なときに必要な助けが届かない状態」を解消したい!!という思いがあります。地域共生社会において、超高齢社会の様々な問題の根っこにある「社会的孤立」。当事者にならないと気づきにくい問題に、潜在的に役に立ちたいと考えている人をどう巻き込むのか？ということをも目的として開発されました。私たちは、それらの問題について何となく知っていて、頭では理解しているけれど、いざ自分や周りの人に起きたとき、すぐに対処ができないものです。そこで、頭で理解するだけでなく、“体験”することができればと考え、一般社団法人コレカラ・サポートがこのゲームを開発しました。今どき、アナログなボードゲームを囲み、参加者がプレイヤーとしてチームとなり問題に立ち向かいます。今回、千葉県我孫子市で認定ファシリテーターとして活動するメンバーが体験会とご説明にあたります。一般社団法人コレカラ・サポートのメンバーもおります。ぜひこの機会にこのゲームのすばらしさを体験してください！（なお、ゲームの特性上、フル参加される方は当日8:45までにお越しください。見学は随時可能です）

在宅ケア体験フェスタ【第1部】

②最新IT技術“拡張現実”で「優しさを伝える技術」を学ぶ、ユマニチュードのシミュレーショントレーニング

●日 時 7月20日（土）10：10～11：40

●会 場 2FコンベンションホールA

●申込方法 直接会場にお越しください。

<内容>

在宅医療で活用できる「優しさを伝える技術」を、拡張現実を用いて学ぶ、体験ワークショップ

<ファシリテーター>

本田美和子（東京医療センター）、倉爪亮（九州大学）、中澤篤志（岡山大学）、伊東美緒（群馬大学）

最新IT技術“拡張現実”で「優しさを伝える技術」を学ぶ、ユマニチュードのシミュレーショントレーニング

本田 美和子 ¹	ホンダ ミワコ
倉爪 亮 ²	クラヅメ リョウ
中澤 篤志 ³	ナカザワ アツシ
伊東 美緒 ⁴	イトウ ミオ

¹ 東京医療センター

² 九州大学

³ 岡山大学

⁴ 群馬大学

高齢社会を迎え、医療コミュニケーションの重要性が認識される一方で、その手法はまだ確立していません。フランス発祥のマルチモーダル・ケアコミュニケーション技法ユマニチュードは、「優しさを伝えるケア技術」として2012年に日本に紹介されて以来、医師・看護師の共感度やプロフェッショナルリズム意識の向上、職員のバーンアウトの軽減、患者のせん妄や認知症行動心理症状の改善等の効果をあげています。また、福岡市では健寿社会政策の基幹事業としてユマニチュードが市民・介護家族者・専門職が学び、社会実装を進めています。2017年から7年間に渡り、科学技術振興機構の研究費（CREST）を基に、岡山大学の中澤篤志教授を中心とした「優しいケアインタラクションの計量的・脳科学的解明」をテーマにユマニチュードを情報学・心理学・医学的観点から分析し、人工知能によるリアルタイム・フィードバックを通じて学習者がユマニチュードの技術を学ぶことができるシミュレーション教育システムを開発しました。このシステムは、現実世界に仮想の視覚情報を重ねて現実環境を拡張する「拡張現実：Augmented Reality」の教育利用で、従来具体的な指導が難しかった「相手を尊重する」コミュニケーションを、実際の行動として学ぶことを可能としました。このシステムでは、学習者が自分のコミュニケーション技術についてその質的・量的評価をリアルタイムにフィードバックを得ながら学ぶ、世界初のケアコミュニケーション・シミュレーション教育技術です。このシステムを用いた教育介入研究では、従来のケア技術教育と比較してコミュニケーション量だけでなく、患者に対する共感度も増加し、既にこのシステムを用いた医学・看護教育が各地で始まっています。今回はこのシミュレーションシステムの体験ワークショップを実施いたします。在宅医療で活用できる「優しさを伝える技術」を拡張現実を用いて学ぶ手法をぜひご体験ください。

【演者略歴】

<中澤篤志>

岡山大学大学院ヘルスシステム統合化学研究科教授。2001年阪大卒。東大研究員、阪大講師を経て2013年より京大大学院情報学研究科准教授、2023年より現職。JST CREST（2018-2023）「優しい介護インタラクションの計量的・脳科学的解明代表、日本ユマニチュード学会理事。

<倉爪亮>

九州大学大学院システム情報科学研究院教授。1991年東京工業大学機械物理工学専攻修士課程修了。同年富士通研究所、1995年東京工業大学機械宇宙学科助手、2000年スタンフォード大学客員研究員、東京大学生産技術研究所を経て2002年九州大学大学院システム情報科学研究院助教授、2007年より現職。

<伊東美緒>

群馬大学大学院保健学研究科老年看護学教授。2008年東京医科歯科大学大学院博士後期課程修了。東京都健康長寿医療センター研究員を経て2019年群馬大学老年看護学准教授、2022年より現職。ユマニチュード認定インストラクター。

<本田美和子>

東京医療センター総合内科医長。1993年筑波大学卒業、米国トマスジェファソン大学内科、コーネル大学老年医学科、国立国際医療センターを経て2011年より現職。

在宅ケア体験フェスタ【第2部】

【第2部】

第6回大会テーマとして「在宅医療を紡ぐ」とし、「見て、聞いて、体験して、学びを深め、リアルな出会いと出会いを紡ぐ大会」を目指しております。

在宅医療は通院できなくなった患者さんが主な対象者であるため、扱う分野も広範にわたります。それゆえ扱う機器類、求められる知識、技術也多岐にわたります。このような背景の中、「在宅ケア体験フェスタ」は大会テーマの中でも特に、「体験して、学びを深める」ことを主目的としたハンズオンワークショップとして位置付けております。企業や団体が保有する様々な医療・福祉機器を展示し、それら機器類を最前線で使用するスタッフとコラボレーションすることで、学術大会参加者に経験していただき、学びを深め、より良い在宅医療を患者さんへ還元していただくことを目指します。

＜企画コーディネーター＞

浅川孝司（国際医療福祉大学市川病院）

大寺亜由美（国際医療福祉大学市川病院）

●日 時 7月20日（土）13：00～18：00の間に、各ブース40分×6回実施

7月21日（日） 9：00～16：00の間に、各ブース40分×6回実施

●会 場 2FコンベンションホールA

●申込方法 大会ホームページからの事前申込制

※申込定員に達していないブースでは、当日申込みをお受けできる場合もあります。

※体験コースのお申込者でなくても、見学は自由です。

＜ブース構成＞

7月20日（土）		7月21日（日）	
①	呼吸リハビリテーション	⑧	ベッド・マットレス・リフト
②	非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）	⑨	意思伝達装置（視線入力）
③	侵襲的陽圧換気療法（TPPV） 排痰補助装置	⑩	意思伝達装置（スイッチ入力）
④	吸引関連	⑪	排尿支援
⑤	嚥下障害体験	⑫	災害対策
⑥	嚥下食体験	⑬	在宅透析機器
⑦	シーティング	⑭	排泄支援機器

●ブース内容・ファシリテーター・協賛企業

①呼吸リハビリテーション

◇内容

〈咳（せき）強化と胸郭の柔らかさを目的とした呼吸リハビリブース-神経筋疾患の咳嗽力CPFと肺容量リクルートメントLVR〉 皆さんは自分の咳（せき）の強さを知っていますか？今回、自らの咳の強さを測定し、それを高める方法と最大強制吸気を体験してもらいます。神経筋疾患患者は病状の進行に伴い、身体の動きの制限に加え、深呼吸も難しくなります。そうすると誤嚥した際に喀痰ができず肺炎になることや呼吸が浅くなることで肺や胸郭の柔軟性が低下します。神経筋疾患の呼吸障害は拘束性換気障害であり、COPDなどの閉塞性換気障害に対する呼吸リハ（腹式呼吸や口すぼめ呼吸など）では全く対応できません。

そこで咳（せき）強化と胸郭の柔らかさを目的とした呼吸リハを学びます。

◇ファシリテーター（★印：ブースリーダー）

★寄本恵輔（国立精神・神経医療研究センター病院）、加藤太郎（国立精神・神経医療研究センター病院）

有明陽佑（国立精神・神経医療研究センター病院）、松永彩香（国立精神・神経医療研究センター病院）

河口大洋（国立精神・神経医療研究センター病院）、笛木双葉（国際医療福祉大学市川病院）

◇協賛企業 株式会社星医療酸器

在宅ケア体験フェスタ【第2部】

②非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）

◇内容

NPPVは、COPDや結核後遺症などの慢性呼吸器疾患患者さんや神経筋疾患患者さんの換気を改善しQOL維持・向上に繋がる素晴らしい機械です。NPPVの成功には、医療者自身がNPPVを実際に行い、どのようなものか体感し、患者さんの体験を理解すること、そして適切なマスクフィッティングと至適設定を行うことが重要です。NPPVの体験とマスクフィッティング・至適設定の在り方を体験し明日の実践に活かしましょう！

◇ファシリテーター（★印：ブースリーダー）

★竹川幸恵（大阪はびきの医療センター）、鬼塚真紀子（大阪はびきの医療センター）
渡部妙子（大阪はびきの医療センター）、遠藤直子（いきいきクリニック）、小林千穂（下越病院）
及川秋（岩手病院）、肥田泰幸（東都大学）、平野恵子（JA広島総合病院）、木村政義（兵庫医科大学病院）

◇協賛企業 フクダライフテック株式会社、帝人ヘルスケア株式会社、チェスト株式会社

③侵襲的陽圧換気療法（TPPV） 排痰補助装置

◇内容

特に、生命維持目的のTPPVにおいては、在宅では病院と違ったリスク管理意識が必要です。インシデント、アクシデントになりやすい『知らないのと怖いTPPV』、①設定モード②アラームの設定③インシデントの実演を体験いただき、在宅でさらに安心安全な人工呼吸器管理を行っていただきたいと思います。そして、NPPVやTPPVとセットで使う排痰補助装置の体験をしていただきます。呼吸ケアにおいて排痰は、切り離すことのできない悩み事です。しかも、とても大切な患者様の命に関わることです。ぜひ、体験していただきたいです。

◇ファシリテーター（★印：ブースリーダー）

★山田紀昭（済生会横浜市東部病院）、浜本英昌（ドクターゴン鎌倉診療所）
野口恭平（済生会横浜市東部病院）、穴戸敦（済生会横浜市東部病院）
前田あき（ソレイユ川崎）、金子清貴（ソレイユ川崎）

◇協賛企業 チェスト株式会社、フクダライフテック株式会社、株式会社フィリップス・ジャパン

④吸引関連

◇内容

在宅で使用する吸引関連のブースです。吸引器、吸引チューブ等を展示しています。在宅人工呼吸療法を行う方の特殊な吸引器もご用意しています。吸引器を選ぶ際のポイント、唾液の持続吸引の実際、外出時の吸引セットなどを見て触っていただけます。

◇ファシリテーター（★印：ブースリーダー）

★小林真理子（訪問看護ステーションRNC）、沢田樹里（東京都医学総合研究所）
中山優季（東京都医学総合研究所）、申于定（東邦大学看護学部）
兼坂千緒（訪問看護ステーションRNC）、高橋紀子（訪問看護ステーションRNC）
前島菜子（訪問看護ステーションRNC）、浅川孝之（上智大学総合人間学部）
浅川真理（東京都立墨東病院看護部）

◇協賛企業 トクソー技研株式会社、フランスベッド株式会社

⑤嚥下障害体験

◇内容

嚥下障害に対して「とろみをつけた方がよい、30度傾斜がよい、上向き嚥下は危険」、言葉では知っているおなじみの手法。実際の体験を通してそのメカニズム体感し、嚥下障害へのケアの理解を深めます。

◇ファシリテーター（★印：ブースリーダー）

★秦若菜（北里大学医療衛生学部）
上田綾子（北里大学病院リハビリテーション部）、阿部美南（北里大学病院リハビリテーション部）

在宅ケア体験フェスタ【第2部】

⑥嚥下食体験

◇内容

食事の時間とは単に栄養を摂ることだけではありません。生きる喜びを担う大切な時間でもあります。嚥下調整食についての基本的な理解を深めつつ、見た目やおいしさにこだわったインクルーシブな嚥下調整食を体験いただけるよう準備しました。

◇ファシリテーター（★印：ブースリーダー）

★山下晃司（訪問看護ステーションリベル言語聴覚士）

大田律子（アレナビオ取締役）、高田耕平（はなすたべるくらす舎代表）

◇協賛企業 株式会社アレナビオ、はなすたべるくらす舎、株式会社ナコム、石光商事株式会社、吉野家、日本料理かんさい

⑦シーティング

◇内容

シーティングは座位姿勢の評価や車椅子・クッションの種類を選定するだけでは行えません。使用する機器についての知識や経験があって、初めて実践に活かせるようになります。本ブースにお立ちよりいただき機器（車椅子・クッション等）に触れ、日々の臨床へ繋げてみませんか。

◇ファシリテーター（★印：ブースリーダー）

★竹内章朗（船橋ケアセンター）、小野俊貴（船橋ケアセンター）、野田義人（北総白井病院）

河野慎哉（茂原中央病院）、馬場絵美（茂原中央病院）

◇協賛企業 株式会社松永製作所

⑧ベッド・マットレス・リフト

◇内容

リフトと聞くとどのような物を思い浮かべますか？実際に吊られた経験はありますか？導入のメリットは大きいですが、デメリットのイメージも大きいのではないのでしょうか？そんなデメリットは体験を通じて払拭しましょう！エアマット、ベッド、リフトのお悩み解決します！

◇ファシリテーター（★印：ブースリーダー）

★石川哲也（株式会社仁済）、その他

◇協賛企業 アップライド株式会社、パラマウントベッド株式会社、株式会社ケープ、有限会社アイムエイム

⑨意思伝達装置（視線入力）

◇内容

重度障害者用意思伝達装置は重度の肢体不自由および音声言語機能障害を有する方が意思伝達（コミュニケーション）のために使用する機器です。機器を操作する為には入力装置（スイッチ）が必要となります。様々な入力装置の中の「視線入力（目を動かすだけ）」を使用し操作可能な機器を4種類用意しました。それぞれに特徴がありますので是非体験してください。

◇ファシリテーター（★印：ブースリーダー）

★山本直史（吉野内科・神経内科医院）

大津浩輝（国際医療福祉大学市川病院）、堀込貴嗣（ダブル技研株式会社）

◇協賛企業 ダブル技研株式会社

⑩意思伝達装置（スイッチ入力）

◇内容

体を動かすことができない、声を出すこともできない、といった患者さんのコミュニケーションを助けてくれる福祉用具があります。重度障害者用意思伝達装置と呼ばれる補装具です。条件を満たす方に公費支給されるこの装置は、わずかな動きに対応するスイッチを使って操作することができます。今回は、活用できる多様なスイッチを紹介するとともに、それらを使って実際に装置を操作していただける機会をご用意しました。

◇ファシリテーター（★印：ブースリーダー）

★渋谷亮仁（西新潟中央病院）

河津聡（大阪急性期・総合医療センター）、小林大作（株式会社アシテック・オコ）

◇協賛企業 ダブル技研株式会社

在宅ケア体験フェスタ【第2部】

⑪排尿支援

◇内容	泌尿器科在宅医や急性期病院排尿ケアナースが、包括的な排尿ケアを実施するにあたり、日ごろ意識している「勘どころ」についてミニ講義を行います。また、超音波機器・膀胱留置カテーテル・導尿キットについて見て触って体験していただきます。
◇ファシリテーター（★印：ブースリーダー）	★長谷川太郎（湘南おおふなクリニック）、岩本沙織（湘南鎌倉総合病院看護部）
◇協賛企業	株式会社ディヴィンターナショナル、コロプラスト株式会社、富士フィルムヘルスケア株式会社、株式会社大塚製薬工場、株式会社ユーシンメディカル、株式会社エフスリー、株式会社ジェイ・シー・ティ

⑫災害対策

◇内容	災害発生時のライフライン損壊は危機的状況になることがあります。在宅医療では人工呼吸器をはじめ吸引器、酸素濃縮器などの医療機器や電動ベッド、エアマットなどほとんどの機器、器具で電気を必要とします。そのため停電が発生した時に備えて人工呼吸器の電源関連に特化したコーナーと蓄電池、発電機などの非常用電源のコーナーに分かれて体験していただきます。 Ⅰ 人工呼吸器コーナー（人工呼吸器を中心に）：在宅用人工呼吸器は機種ごとに停電発生時の電源の優先順位が異なるため、停電時に慌てずに適切に電気を供給できるように、停電発生時にはどのような状態になるのか、着脱バッテリーや外部バッテリーの接続、交換方法、取り扱い方法、注意点などについて体験していただきます。Ⅱ 非常用電源コーナー（一般電気製品を中心に）：蓄電池や発電機、太陽光発電、また、電動車（EV車、HV車）を活用した国や自治体の取り組みなどについて紹介します。
◇ファシリテーター（★印：ブースリーダー）	★荻野絢（国際医療福祉大学市川病院）、佐々木雅典（カフベンテックジャパン株式会社）
◇協賛企業	カフベンテックジャパン株式会社、チェスト株式会社、株式会社フィリップス・ジャパン、フクダライフテック株式会社、アイ・エム・アイ株式会社、Aqua Power Energy株式会社

⑬在宅透析機器

◇内容	透析療法には血液透析と腹膜透析二通りがあり、ともに在宅で実施することが可能です。透析と言えば週3回送迎で通院し4時間後にやや疲れて帰るというイメージをもたれていませんか？このブースで在宅を中心とした腎不全ライフを疑似体験してみてください。
◇ファシリテーター（★印：ブースリーダー）	★河原崎宏雄（帝京大学医学部附属溝口病院）、片岡今日子（日本財団在宅看護センターひまわり） 正木浩哉（正木医院）、楠本拓生（楠本内科医院）、櫻田勉（聖マリアンナ医科大学病院） 原正樹（東京透析フロンティア）、中釜祥吾（東京透析フロンティア）、川畑勝（東京透析フロンティア） 黒田沙織（静岡共立クリニック）、宮下美子（名古屋記念病院）、木村純子（玄々堂君津病院）
◇協賛企業	日機装株式会社、ニプロ株式会社、株式会社ヴァンティプ、テルモ株式会社、株式会社ジェイ・エム・エス

⑭排泄支援機器

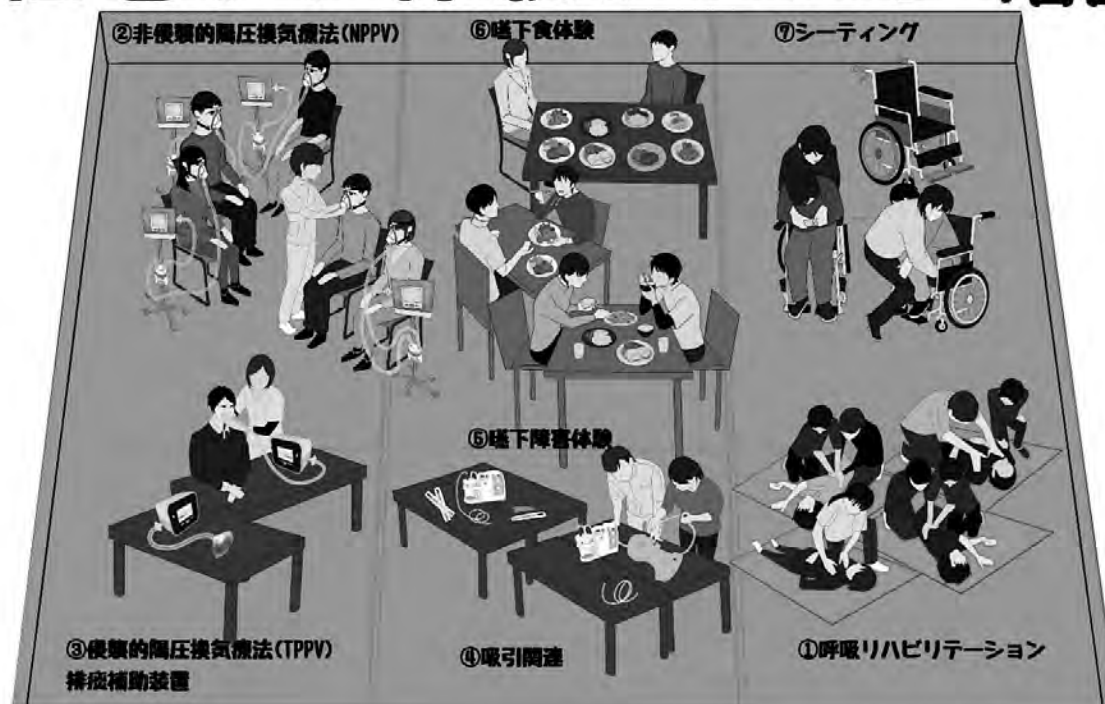
◇内容	排尿・排便は、疾患に関わらず生きる上で最も基盤にあるものです。それが崩れると尊厳を含め生きる気力を失ってしまいます。生活の身の回りにない「柔らかさ」を追求した素材を使い排尿・排泄機能製品を紹介いたします。世界初！新感覚の排尿・排泄ケアのcutting edgeを経験してください。
◇ファシリテーター（★印：ブースリーダー）	★花井亜紀子（国立精神・神経医療研究センター）、富永奈保美（国際医療福祉大学市川病院）
◇協賛企業	イントロン・スペース株式会社、株式会社ライフ、株式会社プロモート、株式会社センカフ、パラマウントベッド株式会社

<運営サポート>

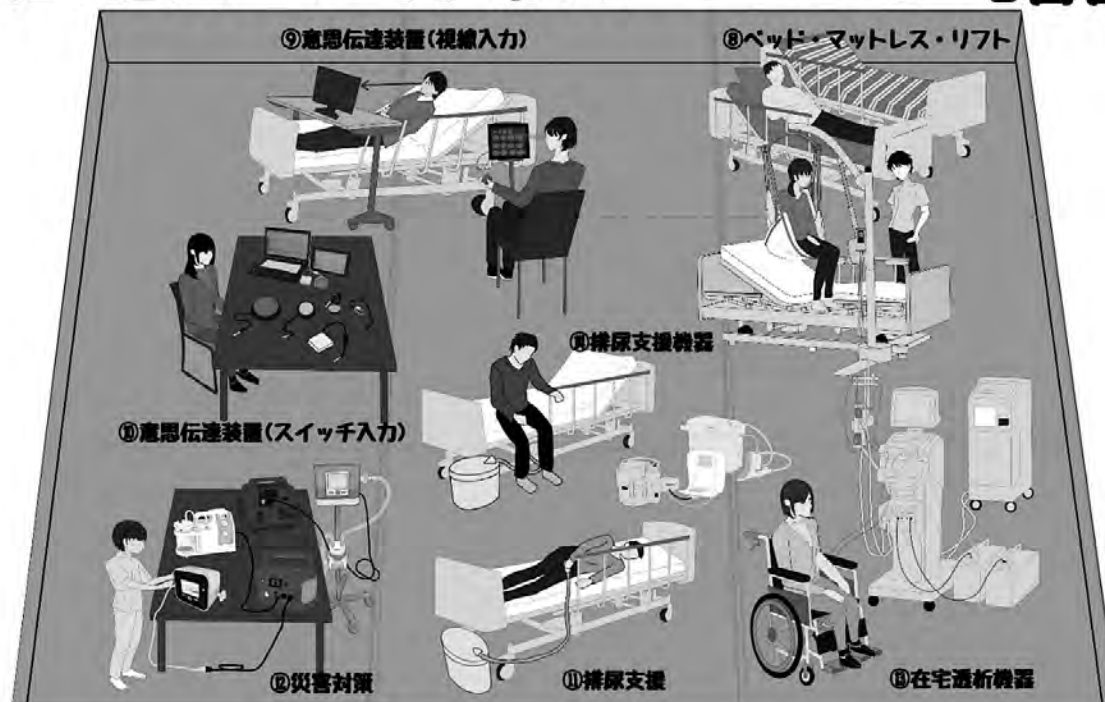
海老原優菜（川口きゅうばりリハビリテーション病院）
中山奏咲（千葉大学看護学部）
西村奏海（千葉大学看護学部）

●フロアマップ（イメージ）

在宅ケア体験フェスタ 1日目



在宅ケア体験フェスタ 2日目



認知症カフェ Café「虹色のcafé 未来みらい」

一生懸命に生きようとしている方々を応援できる社会を大事にしたい
学会期間限定の「虹色のcafé 未来みらい」をオープンします。

Caféオーナー 管理栄養士 川口美喜子（札幌保健医療大学大学院）
Café共同オーナー Lintos café（リントスカフェ）、まあいいかlaboきょうと（平井万紀子）

テーマ1：認知症の方、障害ある方 すべての 誰もがかけがえない存在であるために

カフェのスタッフは、認知症の方、障害ある方が担当します。

（東京栄和会 なぎさ和楽苑、社会福祉法人おあしす福祉会オアシス・プラス 他のみなさま）

認知症になれば、介護される人・何もできない人 でしょうか。

認知症になったとしても活躍できる社会をつくる。

自分の町で、当たり前の暮らしがしたい。

障害があっても地域で当たり前のように生活でき自らの望む人生の実現に向けて歩めるよう。

テーマ2：「食べる喜び」を支え続けるために

学会開催に向けて開発、準備した嚥下の機能減弱、低下の方も幸せ気分となるドリンクの提供

いつまでも食べたいものを思い続けること、それは「生きる力」となる。

健康長寿は大切だが、人は老いを迎え機能は低下する。病の最期は食欲を奪いとる。

それでも、「ごちそうさま」と食べる喜び・笑顔を持ち続けるような食を提案し続けたいと思う。

Caféのオープン時間

7月20日（土） 11：00～12：30、13：30～15：00

7月21日（日） 11：00～12：30、13：30～15：00

オープン時間外は、カフェ外で試飲いただけるようにcaféコーナーでドリンク、スイーツ類を準備します。

開催場所

2Fロビー（コンベンションホールA、Bの向かい）

開催コンセプト

まあいいかlaboきょうと たとえまちがえちゃっても、忘れちゃっても「まあいいか」と私たち社会の側が受け止め、温かく見守ること。人は「人の役に立てること、人から必要とされること、互いに貢献し合えること」が生きる力になります。「まあいいかcafe」（認知症の方がホールスタッフとなって活躍する）をさまざまな地域において開催しています。

Lintos café 風味や香りが豊かな「スペシャルティコーヒー」と「なめらかスイーツ」を提供します。コーヒー豆の品評会で高い評価を受けたスペシャルティコーヒーに「とろみ」をつけることで、口や喉に確かなコーヒーの風味が残る新しい感覚のコーヒー体験をお楽しみいただけます。また、限定500食の「なめらかスイーツ」は、どなたでも美味しくお召し上がりいただけるスイーツで、飲み込みやすい柔らかさを実現しています。

共に生きる人々 「食べる」喜びを支える 出会いと想いを紡ぐ
「虹色のcafé 未来みらい」でお待ちしています。

市民公開講座「ケアラースカフェー介護者のおしゃべり会ー」

日時 7月19日（金）13：00～17：00

会場 第2会場（2F・国際会議室）

本大会では市民公開講座としてケアラー（介護者）を主な対象者として開催することにいたしました。在宅医療はケアラーがいなければ継続が困難になることも多いわけですが、これまでケアラーをケアするプログラムはあまり行われていなかったと思います。

荻野裕医師は神経内科で神経難病を専門として診療を行ってきており、前職国立病院機構箱根病院では、神経難病患者さんのケアラーの方に向けてケアラースカフェを行ってきていました。涙しながら語る参加者をみて、いかにケアラーのケアが重要であるかを実感したと言います。その経験を生かして今回の企画をたていただきました。また、山柵様はケアラーの当事者であった経験を生かしてご協力をいただきました。

長期療養をささえる多くのケアラーの方にご参加いただき、日ごろのご苦勞を吐露し、同じ境遇の方と話すことで少しでも心が晴れるきっかけになればと願っております。

具体的には以下のプログラムを予定しております。

- 開 会 13：00～13：05 大会長（荻野美恵子）からの開会のご挨拶
講 演 13：05～13：25 基調講演 ケアラーへのメッセージ 荻野裕医師
交流会 13：30～14：40 介護者おしゃべり会（ファシリテーターを配置）
*疾患毎のグループにわかれて飲み物とお菓子を楽しみながら自由に語りあう
休 憩 14：40～14：55 休憩及び発表準備
発 表 14：55～15：25 1グループ3分程度で発表
演 奏 15：25～15：55 ウクライナ民族楽器バンドゥーラ ミニコンサート
ウクライナ出身バンドゥーラ演奏家 カテリーナ
閉 会 15：55～16：00 閉会のご挨拶にかえて 元ケアラー 山柵加奈子氏

対象参加者：長期在宅療養をされている難病、認知症、小児慢性疾患患者さん等のケアラーの方（対象疾患は限定しませんが、ある程度の介護必要度を有する方のケアラーを対象とすることを考えています）

第6回日本在宅医療連合学会大会 大会長 荻野 美恵子

市民公開講座「ケアラズカフェー介護者のおしゃべり会ー」

ケアラズカフェー ～介護をしているあなたのために～

荻野 裕 オギノ ユタカ

同愛会小澤病院 神経内科

ケアラーは在宅療養で最も重要な存在である。自分の時間を削って患者のケアを行っているため、外部とのつながりを失い孤立しやすいと言われている。特に難病、認知症、小児慢性疾患患者は経過が長いことが多く、長期にわたり介護し続けなくてはならないが、それらの疾患に照準をあてた支援はまだまだ少ない。疾患毎にケアの状況も異なるため、同じ病気のケアラー同士が語りあう方がお互いに悩みなどを共有しやすい。

私は所属していた病院を中心に「ケアラズカフェー」を運営してきた。その経験から得られた知見をもとに、ケアラーに共通する問題およびその対応などについてお話したい。本企画を通して、ケアラーの方々の心労を少しでも和らげて差し上げられれば幸いである。

【演者略歴】

1985年：北里大学医学部卒業

1987年：国立精神神経センター武蔵病院で神経内科医としてのスタートをきった

1989年：北里大学東病院神経内科。以後留学や出向はあったが東病院を中心に神経難病診療を行った。

1994年：神奈川リハビリテーションセンター病院

2024年：同愛会小澤病院神経内科

介護生活は不幸ではない。大変なだけ。

山榎 加奈子 ヤママス カナコ

太平洋諸島研究所

難病家族の在宅介護を十年以上経験した立場から、介護生活を振り返り、思うことを述べてみたい。少しでもケアラーの方々の何らかの参考になればと思う。

1、決定の困難さ

①患者の自己決定（患者の困難）

②①実現のための決定（ケアラー側の困難）

2、前向きな闘病・介護生活上の障害

①患者の遠慮

②ケアラーの遠慮

3、介護者へのエール・不幸にならないケアラーに

①専門家（医療関係者、福祉関係者etc.）からの正確な情報の積極的取得。

②ケアラー仲間の連携の重要性。

③自身の生き方の確保、ケアラーハイにならない。

【演者略歴】

1990 太平洋諸島研究所研究員

2007－2017 在宅介護

懇親会

日 時 7月20日（土）18：30～20：00
場 所 TKP東京ベイ幕張ホール（アパホテル東京ベイ幕張内）
参 加 費 3,000円
申込方法 参加登録画面からオンライン事前申込み制
※定員に達していない場合は、当日の参加も受け付けます。

＜大会長からのコメント＞

今大会は長かったコロナ禍も終わり、完全対面開催になります。懇親会も注意はしつつも、いつものスタイルに戻します。気兼ねなく旧交を温め、新たな出会いを得てください。同じく長引いてまだ出口が見えませんが、少しでもウクライナのためになればと、ウクライナ民族楽器バンドウーラ奏者カテリーナさんの演奏をお願いしました。

できるだけ多くの参加者とともに、二度とない2024年7月の夜を過ごしたいと思います。

リアルな出会いと思いを紡ぐ場になるように、皆様のご参加をお待ちしています。

ウクライナの伝統楽器バンドウーラ奏者・歌手

Kateryna（カテリーナ・ミュージック）

6歳の時にチェルノブイリ原発で被災した子供たちで構成された音楽団「チェルボナカリーナ」に入団後、海外公演に多数参加。

コンサートで来日したときに日本の素晴らしさに感動し、19歳の時に音楽活動の拠点を東京に移す。

現在、日本に数少ないウクライナのバンドウーラ奏者の1人として、ウクライナ民謡や日本歌曲を演奏し、テレビ、新聞、ラジオなど数多くのメディアに取り上げられている。

2022年からウクライナのために全国各地を周りチャリティーコンサート、支援活動中。

年間の出演コンサート数は300本を超える。

祖国のウクライナと日本の架け橋となり、平和の調べを届け続けている。

2024年2月 絵本“ふるさとはウクライナ”リリース

2024年4月 BS-TBS こころめぐり逢いに出演

2024年4月 一般社団法人ジョイフル・ウイングスを設立



7月19日（金）

	第1会場 2F コンベンション ホールB	第2会場 2F 国際会議室	第3会場 2F 会議室 201	第4会場 3F 会議室 301	第5会場 3F 会議室 302
12:00					
13:00		13:00～16:00 市民公開講座 「ケアラーズカフェ ー介護者のおしゃ べり会ー」			
14:00					
15:00					
16:00					
17:00			16:50～17:20 社員総会		
			17:30～18:30 理事会		
18:00					
19:00					
20:00					
21:00					
22:00					

1日目 7月20日(土)

	第1会場 2F コンベンション ホールB	第2会場 2F 国際会議室	第3会場 2F 会議室 201	第4会場 3F 会議室 301	第5会場 3F 会議室 302	第6会場 3F 会議室 303	第7会場 3F 会議室 304	第8会場 1F 会議室 103	第9会場 1F 会議室 104
8:00	開会式 8:10～8:20 ▶								
9:00	代表理事講演 座長：蘆野 吉和 演者：石垣 泰則 ▶	シンポジウム1 働き方改革を進めるための在宅におけるタスクシェア（職種の壁を打ち破るためのワーキンググループ活動報告） 座長：谷水 正人 平原 優美 演者：井田 奈央 渡部 弥生 鬼澤 信之 谷水 正人 ▶	シンポジウム2 看取りに慣れない、在宅緩和ケアの質をたかめる努力をする 座長：田中 誠 川口 美喜子 演者：清水 政克 宮田 乃有 宇都宮 励子 彦坂 陽子 ▶	スポンサードシンポジウム1 笹川保健財団の在宅看護支援～日本財団在宅看護センターネットワーク10年の経過から～ 座長：喜多 悦子 沼崎 美津子 演者：馬場 美代子、丸山 美智子、磯野 祐子、小六 真千子、備前 真由美、赤瀬 佳代、石原 美和 共催：笹川保健財団 ▶	ワークショップ1 地域の実情に応じた在宅医療・介護連携とは～成果と課題、今後の展望～ 座長：久保田 健太郎 吉江 健 演者：三原 岳 佐々木 ゆかり 平野 香 ▶	シンポジウム3 在宅医療インテグレーター活動報告 座長：杉浦 真 石原 由花 演者：杉浦 真 田巻 憲史 相田 里香 ▶	レイトブレインセッション 在宅人工呼吸療法30年の経歴よりALSガイドラインを考察する 座長：荻野 美穂子 演者：山本 真 9:00～10:00 特別講演1 人を幸せにする為のAIとの相互作用 座長：村口 正樹 水上 直人 演者：窪田 望 北城 雅照 ▶	一般演題（口演）1 優秀演題 座長：三浦 久幸 飯島 勝矢 ▶	ワークショップ2 在宅医療介護関係者必見！明日から使える在宅医療データ分析入門：エクセルを用いた身近なデータ・公開データの分析を学びましょう 座長：次橋 幸男 猪原 健 演者：次橋 幸男 ▶
10:00	＜特別企画1 今後の日本と在宅医療＞ 基調講演1 今後の日本と在宅医療 座長：石垣 泰則 演者：鈴木 康裕 ▶							一般演題（口演）2 準優秀演題 座長：三浦 久幸 飯島 勝矢 ▶	
11:00	＜特別企画1 今後の日本と在宅医療＞ 基調講演2 高齢社会における在宅医療の考え方 座長：谷水 正人 演者：松田 晋哉 ▶	映像&講演1 映画「うちでいてきたい」の取り組みを在宅看取り 座長：横山 和正 演者：孫 大輔 ▶	シンポジウム5 安心して暮らせる在宅医療 の取り組みを在宅看取り 座長：三浦 靖彦 武 ユカリ 演者：渡邊 幸子 山岸 咲美 三木 明子 三浦 靖彦 ▶	シンポジウム6 在宅現場における医療安全・リスクマネジメント 座長：三浦 靖彦 武 ユカリ 演者：渡邊 幸子 山岸 咲美 三木 明子 三浦 靖彦 ▶	シンポジウム7 24時間対応の工夫～在宅ならではの空気感をどのようにシェアし、教育に組み込んでいるか～ 座長：洪 英在 演者：矢部 千鶴 豊田 理恵 吉江 健 三浦 祐子 ▶	シンポジウム8 在宅医療コーディネーターセッション 座長：斎川 克之 服部 美加 演者：中辻 康博 菊池 涼子 坂村 美枝 指定発言：川越 雅弘 ▶	シンポジウム9 「在宅血液透析」が気になるすべての人へ在宅医療とのクローズアップ 座長：宮下 美子 河原崎 宏雄 演者：原 正樹 種田 美和 高橋 初 中原 美穂 ▶	一般演題（口演）3 医療安全・リスクマネジメント 座長：水木 麻衣子 ▶	シンポジウム10 異業種の視座から「喪失」を分かちあひ多様性を包摂するコミュニティを考える 座長：大川 薫 上村 久美子 平井 万紀子 本間 武蔵 下司 睦子 北見 万幸 岡山 容子 ▶
12:00	ランチョンセミナー1 患者満足度の最大化を目指したボツリヌス療法 座長：石垣 泰則 演者：石垣 泰則 藤原 俊之 共催：グラクソ・スミスクライン株式会社 ▶	ランチョンセミナー2 変わり始めた神経免疫疾患の治療とケア 座長：荻野 美恵子 演者：横山 和正 西山 和子 共催：アレクソファーマ合同会社 メディカルアフェアージャパン ▶	ランチョンセミナー3 在宅ケアに役立つ呼吸リハビリテーション～その心得と基本手技～ 座長：井上 登太 前田 玲 演者：井上 登太 鈴木 典子 藤澤 ゆみ 松田 幸二郎 酒井 直樹 房 晴美 ▶	ランチョンセミナー4 在宅医療におけるCOVID-19ワクチンのこれから 座長：蘆野 吉和 演者：池松 秀之 高山 義浩 共催：ファイザー株式会社 メディカルアフェアージャパン ▶	ランチョンセミナー5 高齢者の皮膚疾患 座長：秋下 雅弘 演者：白濱 茂穂 根本 利恵子 共催：マルホ株式会社 ▶	ランチョンセミナー6 在宅医療における医療DXの取組 座長：高瀬 義昌 演者：神山 一行 共催：株式会社ネエシア ▶	ランチョンセミナー7 在宅医療における腹膜透析でのリモートマネジメントの活用 座長：河原崎 宏雄 演者：岡 英明 片岡 美和 共催：株式会社ヴァンティ ▶	ランチョンセミナー8 在宅血液透析の推進～どこで治療するかを選ぶ時代～ 座長：原 正樹 演者：政金 生人 共催：日機装株式会社 ▶	ランチョンセミナー9 在宅医療における高齢者・認知症患者の不眠や精神症状にはまず漢方薬を 座長：古澤 明孝 演者：田上 真次 共催：株式会社ツムラ ▶
13:00	＜特別企画1 今後の日本と在宅医療＞ 基調講演3 「とくどき入院ほば在宅」を医師会の視点で考える 座長：和田 浩明 松岡 かつり 演者：星野 大和 兒玉 泰治 堀田 純一 土居 良康 古賀 友之 ▶	シンポジウム13 令和6年能登半島地震災害関連死をブロックする！！ 座長：古岸 聡 山岸 咲美 演者：井上 登太 一瀬 浩隆 小川 豊美 中村 悦子 ▶	シンポジウム17 在宅医療・介護関連施策におけるデータ分析：国・都道府県・市町村の各階層から考える 座長：新屋 洋平 長瀬 由衣子 演者：遠岡 健一 鈴木 里彩 長瀬 由衣子 國古 徹也 ▶	シンポジウム14 ICTを用いた多職種連携の現状と課題～診療報酬改定でICTの利用は広がるか？～ 座長：土屋 淳郎 宮下 勉 演者：土屋 淳郎 鶴岡 亜由美 水上 直人 上村 久美子 ▶	シンポジウム15 在宅医療の研究を推進するために 座長：梅垣 宏行 山中 崇 演者：服部 ゆかり 宮武 寛知 渡邊 一久 野口 麻衣子 ▶	シンポジウム16 一歩先の家族支援～家族療法の視点から在宅医療を考える～ 座長：吉川 正宏 久島 和洋 演者：宮本 佑達 山田 千子 富田 詩織 久保田 希 ▶	一般演題（口演）5 ICT・事業所運営・経営 座長：中村 幸伸 ▶	ワークショップ4 多世代の価値観を理解し、世代間の架け橋となるには 座長：ファシリテーター：江口 幸士郎 日下部 明彦 洪 英在 ▶	
14:00	＜特別企画1 今後の日本と在宅医療＞ 指定発言1 訪問看護の展望 座長：木下 朋雄 演者：平原 優美 田母神 裕美 高砂 裕子 ▶	シンポジウム18 千葉県医師会合同企画 「とくどき入院ほば在宅」を医師会の視点で考える 座長：和田 浩明 松岡 かつり 演者：星野 大和 兒玉 泰治 堀田 純一 土居 良康 古賀 友之 ▶	シンポジウム19 在宅医療での口腔機能リハビリテーションにおける多職種連携 座長：安部 能成 染谷 明子 演者：清水 政克 武原 佳恵子 猪原 健一 小島 香 ▶	シンポジウム20 AIを活用した組織運営と在宅医療領域での活用事例 座長：門田 耕一郎 内田 直樹 演者：木村 翔一 植田 由依 伊藤 天大 ▶	シンポジウム21 在宅医療のケアとアウトカムを評価するZEVIOUS研究の追加調査：結果と意義 座長：栗田 宣明 白髭 豊 演者：安中 正和 林 伸宇 飯田 英和 次橋 幸男 ▶	ワークショップ7 千葉県介護支援専門員協議会 災害対策委員会企画 緊急企画：被災地からの生の声 BCPは活かされたのか？～能登半島地震の実情を踏まえて、私たちが今できること、実務の点検～ 講師：水上 直彦 ▶	一般演題（口演）6 多職種連携 座長：駒田 雄一 ▶		
15:00	＜特別企画1 今後の日本と在宅医療＞ 指定発言2 在宅医療の歴史と地域医療の課題から展望する在宅医療の未来 座長：鶴岡 優子 演者：平原 佐斗司 ▶	シンポジウム22 身寄りのない人を取り巻く倫理的課題 座長：植竹 日奈 佐藤 もも子 演者：佐藤 もも子 杉浦 真 高岡 香 植竹 日奈 ▶	シンポジウム23 日本睡眠学会共同企画 在宅高齢者の睡眠を考える 座長：内村 直尚 清野 美砂 演者：岩下 正幸 山寺 巨 青木 康弘 鈴木 圭輔 内村 直尚 ▶	シンポジウム24 症例から学ぶ褥瘡ケアの基本：創傷治癒、圧迫とずれ・栄養 座長：蘆野 吉和 清野 美砂 演者：木下 幹雄 清野 美砂 真井 睦子 荒谷 亜希子 ▶	シンポジウム25 日本在宅医療事務連絡会合同企画 2024年度トリプル改定と現場での対応について 座長：石塚 秀俊 浅沼 裕子 演者：石塚 秀俊 大石 佳能子 石塚 美絵 大竹 尊典 ▶	ワークショップ11 多職種で実践するACP 座長：片山 陽子 モデレーター：西川 満則 ▶	シンポジウム26 在宅医療の可能性 座長：大須賀 悠子 行田 泰明 飯田 弘樹 城山 亮輔 篠田 裕美 今城 宏文 ▶	一般演題（口演）7 保険制度・医療制度 座長：田城 孝雄 ▶	ワークショップ8 症例から学ぶ！児がんと看取り 座長：市橋 亮一 大隅 朋生 演者：紅谷 浩之 宮本 雄貴 ▶
16:00	＜特別企画1 今後の日本と在宅医療＞ 特別講演2 皆の力を合わせれば道は拓ける！障害児を放つてから世界・宇宙に開眼するまで～科学的リテラシー製品で健康寿命延長と介護負担低減、障害者支援に貢献プロジェクトの軌跡 座長：白髭 豊 演者：手島 大輔 ▶	シンポジウム22 身寄りのない人を取り巻く倫理的課題 座長：植竹 日奈 佐藤 もも子 演者：佐藤 もも子 杉浦 真 高岡 香 植竹 日奈 ▶	シンポジウム23 日本睡眠学会共同企画 在宅高齢者の睡眠を考える 座長：内村 直尚 清野 美砂 演者：岩下 正幸 山寺 巨 青木 康弘 鈴木 圭輔 内村 直尚 ▶	シンポジウム24 症例から学ぶ褥瘡ケアの基本：創傷治癒、圧迫とずれ・栄養 座長：蘆野 吉和 清野 美砂 演者：木下 幹雄 清野 美砂 真井 睦子 荒谷 亜希子 ▶	シンポジウム25 日本在宅医療事務連絡会合同企画 2024年度トリプル改定と現場での対応について 座長：石塚 秀俊 浅沼 裕子 演者：石塚 秀俊 大石 佳能子 石塚 美絵 大竹 尊典 ▶	ワークショップ11 多職種で実践するACP 座長：片山 陽子 モデレーター：西川 満則 ▶	シンポジウム26 在宅医療の可能性 座長：大須賀 悠子 行田 泰明 飯田 弘樹 城山 亮輔 篠田 裕美 今城 宏文 ▶	一般演題（口演）9 看取り 座長：児玉 麻衣子 ▶	ワークショップ12 90分でスピード開発！医療×テクノロジーの扉を開く体験講座（要PC） 座長：門田 耕一郎 水上 直人 演者：林 千秋 ▶
17:00								一般演題（口演）10 看取り・家族ケア 座長：齋藤 慶子 ▶	
18:00									

※18:30～20:00 懇親会（会場：TKP東京ベイ幕張ホール）

※教育講演はWeb開催（オンデマンド配信）のみとなり、現地会場での発表はございません。

※ワークショップ・交流集会・ハンズオンセミナー・一般演題（口演・ポスター）・ランチョンセミナー・スポンサードシンポジウムについては、オンデマンドでの配信はございません。

第10会場 1F 会議室 105	第11会場 1F 会議室 102A	第12会場 2F 会議室 202	ポスター会場・在宅ケア体験フェスタ 2F コンベンションホールA				認知症カフェ 2F ロビー	企業展示 書籍販売 1F・2F ロビー
			ポスター1	ポスター2	ポスター3	在宅ケア体験フェスタ		
			8:00～9:30 ポスター貼り付け	8:00～9:30 ポスター貼り付け	8:00～9:30 ポスター貼り付け			
8:30～10:00 ワークショップ3 在宅における看取り時の 立ち居振る舞いについて 考えませんか？ 座長：大屋 清文	8:30～10:00 シンポジウム4 日本在宅医療事務連絡会 合同企画 うまくいっている在宅診療、 在宅で活躍する事務たち ～縁の下の力持ち～ 座長：岡崎 理絵 大西 肇 演者：浅沼 裕子 若塚 彩 小玉 直人 岩淵 康雄	8:30～10:00 ハンズオンセミナー1 日本ポイントオブケア 超音波学会合同企画 在宅エコー「いろはにほ へと」ハンズオンセミナー 座長：井上 淑恵 古屋 聡 演者：植村 和平 宮本 雄貴				8:30～10:00 在宅ケア体験フェスタ 【第1部】① "みんなで孤立をなくせ!! 超高齢社会体験ゲーム" コミュニティコーピング 体験会 ファシリテーター： 松宮 泉 大野 令子 星 良子 直江 美樹 田中 玲子 千葉 晃一		
			9:35～10:15 一般演題(ポスター) ACP・意思決定1 座長：日下部 明彦	9:35～10:05 一般演題(ポスター) 看取り1 座長：堤 直也	9:35～10:10 一般演題(ポスター) 保険制度・医療制度・ 事業所経営・経営 座長：北西 史直			
10:10～11:40 シンポジウム11 意思決定支援にも役立つ! 地域で活用する現状確認 ツールMADOKO 座長：大井 裕子 菊谷 武 演者：大井 裕子 中村 恵 中村 幸伸 菊谷 武	10:10～11:40 シンポジウム12 在宅障害者のよりよい生 活のための「主体性の支 え方」 座長：川手 信行 齋藤 薫 演者：和田 真一 武田 陽香 糸井 孝文 浦 雄司	10:10～11:40 ハンズオンセミナー2 日本ポイントオブケア超 音波学会合同企画 みんなと一歩差をつける っ！多職種向けPOCUS ハンズオンセミナー 座長：井上 淑恵 古屋 聡 演者：植村 和平 宮本 雄貴	10:25～10:55 一般演題(ポスター) ACP・意思決定2 座長：藤田 祝子	10:15～10:50 一般演題(ポスター) 看取り2 座長：鶴岡 亜由美	10:20～11:00 一般演題(ポスター) 精神疾患・認知症 座長：北田 志郎	10:10～11:40 在宅ケア体験フェスタ 【第1部】② 最新IT技術「拡張現実」で 「優しさ」を伝える技術」を 学ぶ、ユマニチュードの シミュレーショントレー ニング ファシリテーター： 本田 美和子 倉川 亮 中澤 篤志 伊東 美緒		10:00～17:30 企業展示 書籍販売
			11:05～11:40 一般演題(ポスター) ACP・意思決定3 座長：石川 祐輔	11:00～11:30 一般演題(ポスター) 看取り3・家族ケア 座長：黒崎 史果		11:00～12:30 認知症カフェ Café【虹色のcafé 未来みらい】		
12:00～13:00 ランチョンセミナー10 在宅筋ジストロフィー 患者の非侵襲的人工呼 吸療法 座長：戸谷 剛 演者：高橋 俊明 共催：株式会社フィリップス・ ジャパン								
13:10～14:40 ワークショップ5 The"もしバナ"カーカス ～もしバナゲーム™体験 と対話のスペース～ 座長：荒金 英樹 大森 泉 演者：大川 薫 津野 采子	13:10～14:40 ワークショップ6 倫理・利益相反委員会企画 自分の周りに臨床倫理コ ンサルテーションを開設 しよう Vol.2 座長：三浦 靖彦 植村 日奈 演者：三浦 靖彦 中村 ゆかり 長尾 式子	13:10～15:10 ハンズオンセミナー3 在宅RESCUEコース ～在宅に関わる医療介護 専門職のためのシミュレ ーションコース～ 座長：宮本 雄貴 演者：村上 成美	13:10～13:45 一般演題(ポスター) 患者と医療者のコミュニ ケーション 座長：川淵 奈三栄	13:10～13:50 一般演題(ポスター) 多職種連携1 座長：宇都宮 励子	13:10～13:45 一般演題(ポスター) 臓器不全1・フレイル・ その他 座長：諸富 伸夫	13:10～13:50 在宅ケア体験フェスタ 【第2部】1日目 第1回 企画コーディネーター： 浅川 孝司 大寺 亜由美		
★			13:55～14:35 一般演題(ポスター) ICT 座長：池島 英之	14:00～14:40 一般演題(ポスター) 多職種連携2 座長：太田 緑	13:55～14:25 一般演題(ポスター) 臓器不全2 座長：渡辺 剛	14:00～14:40 在宅ケア体験フェスタ 【第2部】1日目 第2回 企画コーディネーター： 浅川 孝司 大寺 亜由美		
14:50～16:20 ワークショップ9 看取りケア研修会～看取 りは怖くない～ 座長：安藤 仁子 地曳 典恵	14:50～16:20 ワークショップ10 倫理的検討法の紹介と事 例検討(神奈川県臨床倫理 カンファレンス) 座長：竹下 啓 長尾 式子 演者：金城 謙太郎	★ 15:20～16:20 交流会1 在宅MSW交流会 座長：西出 真悟 演者：岡江 晃児	14:45～15:25 一般演題(ポスター) 事業所運営・経営 座長：遠矢 純一郎	14:50～15:30 一般演題(ポスター) 多職種連携3 座長：富永 奈保美	14:35～15:05 一般演題(ポスター) リハビリテーション1 座長：宇田 薫	14:50～15:30 在宅ケア体験フェスタ 【第2部】1日目 第3回 企画コーディネーター： 浅川 孝司 大寺 亜由美		
★			15:35～16:10 一般演題(ポスター) 地域づくり 座長：堀越 由紀子	15:40～16:20 一般演題(ポスター) 地域包括システム 座長：片見 明美	15:15～15:50 一般演題(ポスター) リハビリテーション2 ほか 座長：山内 克哉	15:40～16:20 在宅ケア体験フェスタ 【第2部】1日目 第4回 企画コーディネーター： 浅川 孝司 大寺 亜由美		
16:30～18:00 ワークショップ13 よりよい医療・介護連携 を考える～病院SW/退院 支援看護師・ケアマネジャ ーあつまれ!!～ 座長：花井 亜紀子 演者：村上 佳代 小笠原 太 岸 純子 加藤 俊光	16:30～18:00 ワークショップ14 在宅医療×医療人類学 症例検討会 座長：井口 真紀子 事例提供者： 間所 俊介	16:30～18:00 交流会2 在宅医療インテグレー ター養成講座受講後の 活動についてみんなで 語ろう!! 座長：上田 まゆら 佐藤 杏	16:20～17:00 一般演題(ポスター) 医療安全・リスクマネジ メント・災害対策 座長：水木 麻衣子	17:00～18:00 ポスター撤去	17:00～18:00 ポスター撤去	16:30～17:10 在宅ケア体験フェスタ 【第2部】1日目 第5回 企画コーディネーター： 浅川 孝司 大寺 亜由美		
★						17:20～18:00 在宅ケア体験フェスタ 【第2部】1日目 第6回 企画コーディネーター： 浅川 孝司 大寺 亜由美		

2日目 7月21日(日)

	第1会場 2F コンベンション ホールB	第2会場 2F 国際会議室	第3会場 2F 会議室 201	第4会場 3F 会議室 301	第5会場 3F 会議室 302	第6会場 3F 会議室 303	第7会場 3F 会議室 304	第8会場 1F 会議室 103	第9会場 1F 会議室 104
8:00	8:00～8:45 ＜特別企画2 患者が“命を終えたい” と言ったとき＞ ▶ 第一部 座長：中村 明彦、日下部 明彦、 演者：中村 明彦、椎竹 日奈、 花井 亜紀子、沖田 将人	8:00～9:30 シンポジウム27 最期の1週間を見逃さない ～多職種でどうつかむ・ どう実践する・どうな ぐ～ 座長：今永 光彦 安藤 仁子 演者：久島 和洋 串間 一彦 助川 未枝保 知久 淳子 細井 崇弘 ▶★	8:00～9:30 シンポジウム28 ACPについての最近の議 論と動向、実践を考える 座長：川口 篤也 片山 陽子 演者：森 雅紀 原澤 慶太郎 中川 眞紀 笹月 桃子 ▶	8:00～9:30 シンポジウム29 4学会合同企画 プライマリ緩和ケア～緩和 ケアとプライマリ・ケ アの統合 座長：伊藤 大樹 弓野 大 演者：藤沼 康樹 田上 恵太 坂本 岳志 ▶	8:00～9:30 シンポジウム30 摂食嚥下リハビリテー ション学会合同企画 摂食嚥下リハビリテー ションを在宅に活かす 座長：井上 登太 前田 玲 演者：井上 登太 菊谷 武 永来 努 房 晴美 ▶	8:00～9:30 シンポジウム31 日本緩和医療学会合同企画 ～オピオイド持続注射を在宅 医療で広めるために何が できるか～ 座長：廣橋 猛 茅根 義和 演者：首藤 真理子 平川 未来 佐久間 詠理 石川 彩夏 ▶	8:00～9:30 シンポジウム32 日本呼吸ケア・リハビリ テーション学会合同企画 非がん性呼吸器疾患終末期 への一歩進んだ緩和ケア ～呼吸困難感に、即モルヒ ネで良いですか？～ 座長：谷口 博之 竹川 幸恵 演者：越久 仁敬 武知 由佳子 小林 千穂 前田 和成 ▶	8:00～8:40 一般演題(口演) 11 臓器不全 ほか 座長：亀井 たけし 研究 座長：吉江 悟 8:45～9:35 一般演題(口演) 12 座長：吉江 悟	8:00～9:30 シンポジウム33 家族という土台を耕すー 予防教育としての「かぞ くのがっこう*」 座長：生本 万知子 茶谷 妙子 演者：脇田 康二郎 峯尾 志穂 國井 早苗 川上 千春 ▶★
9:00	8:55～10:40 ＜特別企画2 患者が“命を終えたい” と言ったとき＞ ▶ 第二部 座長：加部 一彦 長尾 式子 演者：Wendy Johnston 武市 尚子 清水 哲郎	9:40～10:40 特別講演 3 在宅医療の黎明期を迎える 一難病訪問看護の立場か らー 座長：中島 孝 演者：川村 佐和子 ▶	9:40～10:40 特別講演 4 医療的ケアの必要な子供 たちに宿る意思をつない で～他機関・多職種連携 で就学・就労をかなえた 事例～ 座長：小野 宏志 演者：野崎 加世子 ▶	9:40～10:40 シンポジウム34 患者中心の在宅医療マネ ジメント人材をめざして 座長：荒木 庸輔 岡崎 理絵 演者：上畑 大、岡崎 理絵 村上 典由、山田 寿美 ▶	9:40～10:40 シンポジウム35▶ 日本臨床工芸士会企画 シームレスな呼吸療法を目指 して～在宅人工呼吸患者の質 を高める取り組み～ 座長：山田 紀昭、平野 恵子 演者：前田 あき、塚田 さやか 及川 秋沙、浜本 英昌 ▶	9:40～10:40 シンポジウム36▶ 在宅医療における医薬品供 給の24時間体制の評価～医 療用麻薬の供給について～ 座長：串田 一樹 白石 丈 演者：遠矢 純一郎、深田 悠花 佐々木 健、木村 雅彦 ▶	9:40～10:10 当事者講演 1▶ 難病・難病に悩む一世代を乗り 越え、可能性を追求する人生の旅 座長：一戸 由美子 演者：白根 利一 10:10～10:40 当事者講演 2▶ ALSの私が人工呼吸器を装着したわけと 在宅で安全に暮らしていくための工夫 座長：一戸 由美子 演者：松元 修一	9:40～10:40 一般演題(口演) 13 病診・病病連携 座長：井上 淑恵	9:40～10:40 特別講演 5 「アクセシリティ」とい う考え方が、より良い人 生の可能性と自由を広げる 座長：草場 鉄周 演者：高橋 宣盟 ▶★
10:00									
11:00		10:50～11:20 会員総会 ▶							
12:00	11:30～12:30 ランチョンセミナー11 取り入れたい！褥瘡治療 への局所陰圧閉鎖療法 (NPWT) 座長：木下 幹雄 演者：栗原 健、関宮 直子 共催：スミス・アンド・ ネフュー株式会社		11:30～12:30 ランチョンセミナー12 これだけは知っておき たい在宅人工呼吸ケア ～ATKパッド～ 座長：吉野 英 演者：武知 由佳子 共催：チェスト株式会社	11:30～12:30 ランチョンセミナー13 水あめの浸透圧を応用 した新しい創傷被覆材 ～ATKパッド～ 座長：小原 道子 演者：水原 章浩 共催：オカモト株式会社	11:30～12:30 ランチョンセミナー14 糖尿病患者の注射療法 に関する感染マネジメント バンドル2024 座長：三嶋 廣繁 演者：田中 永昭、堀島 広之、 松島 由実、佐川 京子 共催：エムベクタ合同会社	11:30～12:30 ランチョンセミナー15 高齢者の不眠に対する 治療戦略 座長：吉澤 孝之 演者：水上 勝義 共催：エーザイ株式会社	11:30～12:30 ランチョンセミナー16 ライソゾーム病の酵素 補充療法 座長：奥山 虎之 演者：山川 裕之 澤田 浩武 共催：サノフィ株式会社	11:30～12:30 ランチョンセミナー17 MG治療におけるあたらし い選択肢、治療の多様性 座長：石垣 康則 演者：川口 直樹 尾上 祐行 共催：ユーシービー・ジャパン 株式会社	11:30～12:30 ランチョンセミナー18 難病から発症する容体OSの いるはにほへんA技術を活用し て開発されたKOSMOSと、これ からの心不全管理～ 座長：弓野 大 演者：樫村 和平 共催：カーディナルス株式会社
13:00	12:40～13:40 ＜特別企画2 患者が“命を終えたい” と言ったとき＞ ▶ 第三部 座長：荻野 美恵子 演者：井関 徹 竹田 圭子	12:40～14:10 シンポジウム37 [きみのいのち ぼくの 時間]ミュージカルを通し ていのちについて考える 座長：中村 明彦 堤 円香	12:40～14:10 シンポジウム38 令和6年度診療報酬と介 護報酬同時改定から、ど のよう未来を描く～多 職種が考える、これか らの未来と今～ 座長：次橋 幸男 太田 博見 演者：宇都宮 励子 熊谷 夢美 藤野 泰平 安中 正和 ▶	12:40～14:10 シンポジウム39 勤務医の目指すべきキャ リア形成～総合診療・在宅 医療が望まれている超高 齢社会～ 座長：笹間 大史 石田 岳史 演者：笹間 大史 石田 岳史 木村 彰方 大石 佳能子 ▶	12:40～14:10 シンポジウム40 小児在宅医療における成 人移行について 座長：遠矢 純一郎 中村 知夫 生田 陽二 水谷 亮 鄭 東孝 ▶	12:40～14:10 シンポジウム41 日本臨床衛生検査技師会 共催企画 在宅医療に関わる現場で 活躍する臨床検査技師 座長：宮下 勉 井越 尚子 演者：石丸 理絵 奥山 啓子 佐野 由美 ▶	12:40～14:10 シンポジウム42 地域での市民啓発活動、 どうしますか？～企画 から広報、そして効果ま で～ 座長：鶴岡 優子 小林 正宜 演者：神野 真実 鶴岡 浩樹 七澤 ゆきの 桜井 隆 ▶	12:40～13:20 一般演題(口演) 14 難病 ほか 座長：栗田 竜子 13:25～14:15 一般演題(口演) 15 地域包括システム・ 地域づくり 座長：吉江 悟	12:40～14:10 シンポジウム43 あなたのまを最期に住 みたいまに変わる「超・ 地域包括ケアシステム」作 戦 座長：川邊 正和 蒲原 雄介 演者：川邊 綾香 伊藤 守 廣瀬 憲一 竹下 みちよ ▶
14:00	13:50～14:50 ＜特別企画2 患者が“命を終えたい” と言ったとき＞ ▶ 第四部 座長：小野沢 滋 演者：柳田 邦男	14:20～15:50 シンポジウム45 災害支援・受援力醸成に おける在宅医療連合学会 にできることは？ 座長：泰川 恵吾 宮本 雄気 演者：宮本 雄気 山岸 晴美 小井土 雄一 原田 奈穂子 長谷川 太郎 ▶	14:20～15:50 シンポジウム46 病院地域連携室は在宅医 療チームをどのように選 定しているのか～より フェアな病診連携を目指 して～ 座長：米本 千春 清水 政克 演者：花井 亜紀子 石川 泰延 臼井 啓子 ▶	14:20～15:50 シンポジウム47 つながろう！心不全診療 の病院・在宅連携 座長：梅野 福太郎 岡田 将 演者：湯浅 めぐみ 尾崎 直子 小池 俊光 岡田 智恵 ▶	14:20～15:50 シンポジウム48 独居認知症患者の食支援 座長：中村 幸伸 熊谷 夢美 演者：杉本 由佳 松井 由美子 榎本 淳子 高砂 裕子 ▶	14:20～15:50 シンポジウム49 データに基づく在宅医療 の臨床・経営・政策のス スメ 座長：次橋 幸男 猪原 健 演者：孫 瑜 恒石 美登里 水上 直人 ▶	14:20～15:50 シンポジウム50 福祉用具貸与・販売の選 択制 座長：服部 万里子 白木 裕子 演者：遠藤 勇樹 中山 和也 ▶	14:20～15:00 一般演題(口演) 16 がん・精神疾患・ 呼吸ケア 座長：飯森 俊介 15:05～15:55 一般演題(口演) 17 食支援・口腔嚥下 座長：井越 尚子	14:20～15:50 シンポジウム51 在宅医療・ケア提供機関の 可能性と希望 座長：正木 浩哉 片岡 今日子 演者：片岡 今日子 櫻田 勉 楠本 拓生 藤瀬 美佐 ▶
15:00	14:55～15:55 大会長講演 座長：石垣 泰則 演者：荻野 美恵子								
16:00	16:00～17:30 映像&講演 2 進行肺がんの息子に伴走 した2年半を振り返って 座長：荻野 美恵子 田上 恵太 演者：関本 雅子	16:00～17:30 シンポジウム53 アジアのACPの制度と実 際の取り組み 座長：余 尚儒 森 雅紀 演者：葉 依琳 Raymond Ng Han Lip 小川 朝生 ▶	16:00～17:30 シンポジウム54 Hospital at Homeの実 現に向けた取り組み 座長：伊藤 大樹 弓野 大 演者：伊藤 大樹 吉田 伸 近藤 敬太 David Levine 大内 啓 ▶	16:00～17:30 シンポジウム55 慢性呼吸器疾患に対する やさしい、基礎からの包 括的な在宅ケア～苦手と思 わないで！こうすれば効 果が感じられますよ～ 座長：平松 哲夫 田中 弥生 演者：吉澤 孝之 新 智美 平林 大輔 前田 玲 ▶	16:00～17:30 シンポジウム56 こうする！こうやる！精 神科×在宅医療 座長：守上 佳樹 山田 寿美 演者：成本 迅 平原 佐斗司 内田 直樹 柳澤 完哉 ▶	16:00～17:30 シンポジウム57 褥瘡予防のための寝たき りから自立への支援 座長：塚田 邦夫 内藤 亜由美 演者：塚田 邦夫 小川 豊美 森島 勝美 島川 弘美 ▶	16:00～17:30 シンポジウム58 在宅医療における特定行 為研修の役割と今後につ いて 座長：尾崎 章子 演者：初村 恵 篠原 おおる 佐藤 文俊 太田 秀樹 阿部 智子 ▶	16:00～16:40 一般演題(口演) 18 災害対策・褥瘡ケア 座長：安達 昌子 16:45～17:25 一般演題(口演) 19 人材育成・教育・ 職種別 座長：野正 佳奈 ▶	16:00～17:30 ワークショップ20 在宅医療・ケア提供機関の BCP～シミュレーション 訓練をやってみよう！～ 座長：山岸 晴美 古屋 聡 演者：山岸 晴美 古屋 聡 坪井 基浩 ▶★
17:00	17:30～17:40 閉会式 ▶								
18:00									

※教育講演はWeb開催(オンデマンド配信)のみとなり、現地会場での発表はございません。
※ワークショップ・交流集会・ハンズオンセミナー・一般演題(口演・ポスター)・ランチョンセミナー・スポンサードシンポジウムについては、オンデマンドでの配信はございません。

総合案内

プログラム

開会式

大会長講演

代表理事講演

特別企画1

特別企画2

特別講演

映像&講演

当事者講演

教育講演

シンポジウム

ワークショップ

ハンズオンセミナー

交流集会

指導医大会

在宅NPWT認定教育制度 OSCEハンズオン講習会

スポンサードシンポジウム

ランチョンセミナー

一般演題（口演）

一般演題（ポスター）

レイトブレイキングセッション

閉会式

開会式

開会式

7月20日（土）8:10～8:20 第1会場「コンベンションホールB」

大会長講演

大会長講演

7月21日（日）14:55～15:55 第1会場「コンベンションホールB」

座長 石垣 泰則 医療法人社団悠輝会 コーラルクリニック／日本在宅医療連合学会代表理事

PS-1 開拓者たれ

荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター国際医療者教育学／国際医療福祉大学医学部脳神経内科学

代表理事講演

代表理事講演 在宅医療の学問分野を確立し発展させるためにできること

7月20日（土）8:50～9:20 第1会場「コンベンションホールB」

座長 蘆野 吉和 山形県庄内保健所

CL-1 在宅医療の学問分野を確立し発展させるためにできること

石垣 泰則 医療法人社団悠輝会 コーラルクリニック／日本在宅医療連合学会代表理事

特別企画1 今後の日本と在宅医療

基調講演1 今後の日本と在宅医療

7月20日（土）9:30～10:30 第1会場「コンベンションホールB」

座長 石垣 泰則 医療法人社団悠輝会 コーラルクリニック／日本在宅医療連合学会代表理事

SP1-1 今後の日本と在宅医療

鈴木 康裕 国際医療福祉大学学長

基調講演2 高齢社会における在宅医療の考え方

7月20日（土）10:40～11:40 第1会場「コンベンションホールB」

座長 谷水 正人 南松山病院

SP1-2 高齢社会における在宅医療の考え方

松田 晋哉 産業医科大学公衆衛生学教室 教授

基調講演3 住み慣れた街で、最期まで生きて逝く ケアタウン小平チームの取り組み

7月20日（土）13:10～14:10 第1会場「コンベンションホールB」

座長 川越 正平 あおぞら診療所

SP1-3 住み慣れた街で、最期まで生きて逝く ケアタウン小平チームの取り組み

山崎 章郎 医療法人社団悠翔会ケアタウン小平クリニック

指定発言1 訪問看護の展望

7月20日（土）14:20～15:20 第1会場「コンベンションホールB」

座長 木下 朋雄 和光ホームケアクリニック

SP1-4-1 生涯、訪問看護に従事できる人材育成

平原 優美 日本訪問看護財団

SP1-4-2 在宅における質の高いケア提供に向けてー訪問看護師の確保と活躍推進ー

田母神裕美 公益社団法人日本看護協会

SP1-4-3 訪問看護事業の発展

高砂 裕子 （一社）全国訪問看護事業協会

指定発言2 在宅医療の歴史と地域医療の課題から展望する在宅医療の未来

7月20日（土）15:30～16:30 第1会場「コンベンションホールB」

座長 鶴岡 優子 つるかめ診療所

SP1-5 在宅医療の歴史と地域医療の課題から展望する在宅医療の未来

平原佐斗司 東京ふれあい医療生協 梶原診療所／日本在宅医療連合学会副代表理事

特別企画2 患者が“命を終えたい”と言ったとき

特別企画2「患者が“命を終えたい”と言ったとき」 第一部

7月21日（日）8:00～8:45 第1会場「コンベンションホールB」

座長 中村 明澄 向日葵クリニック

座長 日下部明彦 横浜市立大学 総合診療医学

SP2-1-1 「生きている意味がない」 suffering（苦悩）にどう向き合うか？

中村 明澄 向日葵クリニック

SP2-1-2 「あなたとは死んだ方がましに話してるんだよね」～死を思う人との対話から～

植竹 日奈 NPO法人ケ・セラ

SP2-1-3 家族からの相談 ～母が安楽死を希望している～

花井亜紀子 国立精神・神経医療研究センター病院

SP2-1-4 「もう透析は終わりにしたい」の患者の声に医療者はどう向き合うべきか？

沖田 将人 みらい在宅クリニック

特別企画2「患者が“命を終えたい”と言ったとき」 第二部

7月21日（日）8:55～10:40 第1会場「コンベンションホールB」

座長 加部 一彦 埼玉医科大学総合医療センター
座長 長尾 式子 北里大学看護学部

- SP2-2-1 **Medical Assistance in Dying in Canada**
Wendy Johnston University of Alberta
- SP2-2-2 **“命を終えたい”患者への対応と法的問題**
武市 尚子 札幌フロンティア法律事務所／千葉大学客員准教授
- SP2-2-3 **「終わりにしたい」という発話の理解と対応の倫理**
清水 哲郎 東北大学 名誉教授／岩手保健医療大学 客員教授

特別企画2「患者が“命を終えたい”と言ったとき」 第三部

7月21日（日）12:40～13:40 第1会場「コンベンションホールB」

座長 荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター国際医療者教育学／国際医療福祉大学医学部脳神経内科学

- SP2-3-1 **井関さんの発表について 抄録にかえてご紹介**
井関 徹
- SP2-3-2 **ALSのトータルペインと死ぬ権利について**
- 当事者として医師として -
竹田 主子 東京メディカルラボ

特別企画2「患者が“命を終えたい”と言ったとき」 第四部

7月21日（日）13:50～14:50 第1会場「コンベンションホールB」

座長 小野沢 滋 みその生活支援クリニック

- SP2-4 **迫る死、究極の「生き方」の発見 ～深い対話への期待～**
柳田 邦男 ノンフィクション作家・評論家

特別講演

特別講演1 人を幸せにする為のAIとの相互作用

継

7月20日（土）9:00～10:00 第7会場「会議室304」

座長 村口 正樹 日本医療デザインセンター／有限会社ブレインパートナー
座長 水上 直人 さつきホームクリニック

- SL1-1 **人を幸せにする為のAIとの相互作用**
窪田 望 株式会社Creator's NEXT 代表取締役
北城 雅照 ものづくり医療センター 医院長

特別講演2

皆で力を合わせれば道は拓ける！障害児を授かってから世界・宇宙に展開するまで
～革新的口腔ケア製品で健康寿命延伸と介護負担低減、障害者支援に挑むプロジェクトの軌跡

含

7月20日（土）16:40～17:40 第1会場「コンベンションホールB」

座長 白髭 豊 白髭内科医院

SL2-1

皆で力を合わせれば道は拓ける！障害児を授かってから世界・宇宙に展開するまで
～革新的口腔ケア製品で健康寿命延伸と介護負担低減、障害者支援に挑むプロジェクトの軌跡

手島 大輔 株式会社トライフ代表取締役

特別講演3

在宅医療の黎明期を辿る -難病訪問看護の立場から-

紡

7月21日（日）9:40～10:40 第2会場「国際会議室」

座長 中島 孝 独立行政法人国立病院機構新潟病院

SL3-1

在宅医療の黎明期を辿る -難病訪問看護の立場から-

川村佐和子 東京都医学総合研究所

特別講演4

医療的ケアの必要な子供たちに宿る意思をつないで
～他機関・多職種連携で就学・就労をかなえた事例～

含

7月21日（日）9:40～10:40 第3会場「会議室201」

座長 小野 宏志 坂の上ファミリークリニック

SL4-1

医療的ケアの必要な子供たちに宿る意思をつないで
～他機関・多職種連携で就学・就労をかなえた事例～

野崎加世子 日本訪問看護認定・在宅看護師協議会 監事

特別講演5

「アクセシビリティ」という考え方が、より良い人生の可能性と自由を広げる

含

7月21日（日）9:40～10:40 第9会場「会議室104」

座長 草場 鉄周 医療法人北海道家庭医療学センター

SL5-1

「アクセシビリティ」という考え方が、より良い人生の可能性と自由を広げる

高橋 宜盟 一般社団法人結ライフコミュニケーション研究所／有限会社オフィス結アジア／東京慈恵会医科大学

映像&講演**映像&講演1**

映画「うちげでいきたい」から考える在宅看取り

幸

7月20日（土）10:10～11:40 第2会場「国際会議室」

座長 横山 和正 東静岡神経センター

VL1-1

映画「うちげでいきたい」から考える在宅看取り

孫 大輔 鳥取大学医学部地域医療学講座

映像&講演2 進行肺がんの息子に伴走した2年半を振り返って**継**

7月21日(日) 16:00~17:30 第1会場「コンベンションホールB」

座長 荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター国際医療者教育学／国際医療福祉大学医学部脳神経内科学

座長 田上 恵太 医療法人社団 悠翔会 くらしケアクリニック練馬

VL2-1 進行肺がんの息子に伴走した2年半を振り返って

関本 雅子 かえでホームケアクリニック

当事者講演**当事者講演1 運動ニューロン病に挑む - 逆境を乗り越え、可能性を追求する人生の旅****楽**

7月21日(日) 9:40~10:10 第7会場「会議室304」

座長 一戸由美子 むさしの丘ファミリークリニック

PC1 運動ニューロン病に挑む - 逆境を乗り越え、可能性を追求する人生の旅

白岩 利一

当事者講演2 ALSの私が人工呼吸器を装着したわけと在宅で安全に暮らしていくための工夫**幸**

7月21日(日) 10:10~10:40 第7会場「会議室304」

座長 一戸由美子 むさしの丘ファミリークリニック

PC2 松元さんの発表について 抄録にかえてご紹介

ALSの私が人工呼吸器を装着したわけと在宅で安全に暮らしていくための工夫

松元 修一

教育講演**教育講演1 自律とは****働**

オンデマンド配信のみ

座長 長尾 式子 北里大学看護学部

EL1-1 自律性の概念の医療倫理学と哲学倫理学

中澤 栄輔 東京大学

EL1-2 在宅医療における自律性

瀧本 禎之 東京大学

教育講演2 在宅現場における暴力・ハラスメントのリスクマネジメント**繋**

オンデマンド配信のみ

座長 三木 明子 関西医科大学

EL2-1 在宅現場における暴力・ハラスメントのリスクマネジメント

武 ユカリ 森ノ宮医療大学

指定発言 三浦 靖彦 岩手医療保健大学

教育講演3 災害時における通信連絡手段・電源確保と医療機器管理・搬送手段

継

オンデマンド配信のみ

座長 宮本 雄気 京都府立医科大学 救急医療学教室・医療法人双樹会 よしき往診クリニック

EL3-1 災害時における通信連絡手段・搬送手段

宮本 雄気 医療法人双樹会 よしき往診クリニック／京都府立医科大学 救急医療学教室

EL3-2 自然災害時における電源確保・医療機器などの取り扱い

浜本 英昌 医療法人鳥伝白川会 ドクターゴン鎌倉診療所 臨床工学技士

教育講演4 地域での多職種連携教育

繫

オンデマンド配信のみ

座長 井口真紀子 祐ホームクリニック大崎

EL4-1 多職種連携をどうやって学んでもらうか、その取り組みから見えてきたこと

吉村 学 宮崎大学地域包括ケア・総合診療医学講座

教育講演5 患者の日常生活から学ぶ珠玉のサイエンス：在宅医療スキルアップのための研究のすすめ

幸

オンデマンド配信のみ

座長 洪 英在 医療法人康誠会東員病院

EL5-1 患者の日常生活から学ぶ珠玉のサイエンス：在宅医療スキルアップのための研究のすすめ

黒岩 義之 医療法人社団和啓会メディクスクリニック溝の口、横浜市大名誉教授、財務省健康管理医、帝京大学溝口病院脳卒中センター長

教育講演6 多職種連携で活用できるコーチング手法とその応用
～解決志向とポジティブアプローチをベースとして～

繫

オンデマンド配信のみ

座長 田中 誠 医療法人理智会たなか往診クリニック

EL6-1 多職種連携で活用できるコーチング手法とその応用
～解決志向とポジティブアプローチをベースとして～

宮川 浩一 株式会社NextEAP／一般社団法人中小企業EAP普及推進協議会

教育講演7 勘・経験・度胸(KKD)だけに頼る運営から脱却するための、データに基づく事業所経営

継

オンデマンド配信のみ

座長 次橋 幸男 天理よろづ相談所病院

座長 猪原 健 敬崇会 猪原「食べる」総合歯科医療クリニック

EL7-1 勘・経験・度胸(KKD)だけに頼る運営から脱却するための、データ・経営理論に基づく事業所経営

大平 怜也 株式会社ケアクラフトマン

教育講演8 多職種連携においてICTをどう活用するか～導入期から看取り期まで～

繫

オンデマンド配信のみ

座長 吉川 正宏 公益財団法人 ときわ会 竹林貞吉記念クリニック

EL8-1 多職種連携においてICTをどう活用するか～導入期から看取り期まで～

岡本 雅彦 アイエムクリニック・安城

教育講演9 ケアマネジャーやかかりつけ医が病院とつながる現実と将来への提案

【繋】

オンデマンド配信のみ

座長 米本 千春 堺市立総合医療センター 患者支援センター

EL9-1 ケアマネから見た病院との連携～なぜケアマネは苦手意識を持つのか～

岸 純子 いきいき小平わくわく介護相談室

EL9-2 在宅医からみた最近の病診連携のリアル

清水 政克 医療法人社団 清水メディカルクリニック

教育講演10 異分野・異業種の視座から喪失を分かち合い多様性を包摂するコミュニティを考える

【含】

オンデマンド配信のみ

座長 荒金 英樹 一般社団法人愛生会山科病院

座長 臼井 啓子 合同会社オフィスK

EL10-1 遺品整理人から異業種・医療介護に期待すること

横尾 将臣 メモリーズ株式会社

教育講演11 在宅医が知らない地域包括ケア：遺体管理人が伝える死後に必要な処置について

【幸】

オンデマンド配信のみ

座長 新屋 洋平 一般社団法人OHS沖縄往診サポート

EL11-1 最新の地域包括ケア：エンゼルケアとグリーフケア

嘉陽 果林 株式会社おもかげ 代表取締役

教育講演12 市町村が行う在宅医療・介護連携推進事業と都道府県の連携について

【繋】

オンデマンド配信のみ

座長 新屋 洋平 一般社団法人OHS沖縄往診サポート

EL12-1 沖縄県中部地区12市町村 在宅医療・介護連携推進事業について

荒川裕紀子 一般社団法人中部地区医師会在宅医療・介護連携推進事業 在宅ゆい丸センター

教育講演13 地域包括ケアシステムにおける自費サービスの実践と拡大

【継】

オンデマンド配信のみ

座長 新屋 洋平 一般社団法人OHS沖縄往診サポート

EL13-1 地域包括ケアシステムにおける保険外サービスの実践と拡大

大城 五月 株式会社hareruya 代表取締役／おきなわ仕事と介護両立サポート協同組合 代表理事／（一社）ソーシャルリース沖縄 理事／Rich Heartプロジェクト沖縄 代表／寝起きでプライベートケア会議 代表／（一社）日本介護支援専門員協会／（一社）日本単独居宅介護支援事業所協会 ケアマネジャーを紡ぐ会／沖縄こどもホスピスのようなものプロジェクト NPO法人設立準備室

教育講演14 外国籍の患者、支援者とのコミュニケーションの方法

【繋】

オンデマンド配信のみ

座長 大北 葉子 順天堂大学

EL14-1 外国籍の患者とのコミュニケーションの方法

Pham Nguyen Quy 京都民医連中央病院

教育講演15 難病が「治療可能」な時代に向けて、在宅医療関係者に知ってほしいこと ～ここまで進んだ、遺伝子診断・ケアの最前線～

含

オンデマンド配信のみ

座長 柊中智恵子 熊本大学大学院生命科学研究部

EL15-1 「遺伝」・遺伝医療のケアは、在宅医療の中にこそある ～住み慣れた家で暮らし続けるために必要なこと～

須坂 洋子 獨協医科大学看護学部／獨協医科大学病院がんゲノム診療部門

教育講演16 明日から使える！在宅で診る心不全のポイント

繫

オンデマンド配信のみ

座長 梅野福太郎 四街道まごころクリニック

EL16-1 明日から使える！在宅で診る心不全のポイント

岡田 将 千葉大学医学部附属病院 循環器内科

教育講演17 慢性呼吸不全、在宅は看取りではなく、一発逆転の場なんです！？ ～在宅チームの力をいかに引き上げるか～

幸

オンデマンド配信のみ

座長 谷口 博之 医療法人順秀会スカイル内科

EL17-1 慢性呼吸不全、在宅は看取りではなく一発逆転の場なんです！？ ～在宅チームの力をいかに引き上げるか～

武知由佳子 医療法人社団愛友会 いきいきクリニック

教育講演18 在宅におけるせん妄マネジメントを深化する

幸

オンデマンド配信のみ

座長 濱野 淳 筑波大学 医学医療系

EL18-1 在宅におけるせん妄マネジメントを深化する

阿部 晃子 横浜市立大学附属病院緩和医療科／国立がん研究センター中央病院緩和医療科

教育講演19 デジタル技術を活用したパーキンソン病患者の在宅リハビリテーションの可能性

継

オンデマンド配信のみ

座長 大寺亜由美 国際医療福祉大学市川病院

EL19-1 デジタル技術を活用したパーキンソン病患者の在宅リハビリテーションの可能性

長城 晃一 株式会社サンウェルズ サービス開発部／順天堂大学医学部 神経学講座

教育講演20 「2025年問題」在宅医療が直面する現状

継

オンデマンド配信のみ

座長 服部万里子 服部メディカル研究所

座長 白木 裕子 株式会社フジケア

EL20-1 在宅介護現場が抱える「2025年問題」

小島 美里 NPO法人暮らしネット・えん

教育講演21 地域包括「排尿ケア」の勘どころ

紡

オンデマンド配信のみ

座長 武知由佳子 医療法人社団愛友会いきいきクリニック

EL21-1 地域包括「排尿ケア」の勘どころ

長谷川太郎 医療法人社団 All for Kamakura 湘南おおふなクリニック

教育講演22 慢性疾患患者さんのWell-beingを可能とするナーシング ～看護師さんって一体何をしてくれるんですか？～

幸

オンデマンド配信のみ

座長 小林 千穂 下越病院看護部

EL22-1 慢性疾患患者さんのwell-beingを可能とするナーシング ～看護師さんって一体何をしてくれるんですか？～

竹川 幸恵 大阪はびきの医療センター

教育講演23 在宅でできる嚥下機能の評価と口腔ケアの実際

継

オンデマンド配信のみ

座長 杉本 由佳 すずもと在宅医療クリニック

EL23-1 在宅療養者への口腔ケアの基本

高田 靖 高田歯科医院

教育講演24 「最期のワンスプーン」に寄り添う終末期の食支援

幸

オンデマンド配信のみ

座長 塩野崎淳子 医療法人豊生会 機能強化型認定栄養ケア・ステーション 訪問栄養サポートセンター仙台

EL24-1 「最期のワンスプーン」に寄り添う終末期の食支援

中村 育子 名寄市立大学

教育講演25 成人在宅医が小児がんを担当する時のヒントになること

楽

オンデマンド配信のみ

座長 市橋 亮一 総合在宅医療クリニック 名駅

EL25-1 成人在宅医が小児がんを担当する時のヒントになること

大隅 朋生 子ども在宅クリニックあおぞら診療所せたがや 副院長／国立成育医療研究センター小児がんセンター

教育講演26 ビジネスケアラが在宅医療に求めること ～人類史上かつてない高齢社会の出現に際して～

幸

オンデマンド配信のみ

座長 酒井 穰 株式会社チェンジウェーブグループ

EL26-1 ビジネスケアラが在宅医療に求めること ～人類史上かつてない高齢社会の出現に際して～

酒井 穰 株式会社チェンジウェーブグループ

教育講演27 地域での看取り ～看取りは日々のケアの延長線上にある～

【 緊 】

オンデマンド配信のみ

座長 地曳 典恵 東京女子医科大学附属八千代医療センター 乳腺・内分泌外科

EL27-1 地域での看取り ～看取りは日々のケアの延長線上にある～

中村 明澄 向日葵クリニック

シンポジウム

シンポジウム1 働き方改革を進めるための在宅におけるタスクシェア (職種の壁を打ち破るためのワーキンググループ活動報告)

【 緊 】

7月20日(土) 8:30～10:00 第2会場「国際会議室」

座長 谷水 正人 南松山病院

座長 平原 優美 日本訪問看護財団

S1-1 特定行為研修修了看護師が関わるタスクシェア

井田 奈央 有限会社ビハーラ 訪問看護ステーション ワークスタッフ鶴の木

S1-2 在宅医療における管理栄養士の役割

渡部 弥生 医療法人社団 ユニメディコ

S1-3 在宅療養支援診療所のタスクシェアへの取り組み

鬼澤 信之 医療法人あんず会 杏クリニック

S1-4 タスクシェアに関わる今後の職種の壁を打ち破るためのWGとしての取り組み

谷水 正人 社会医療法人仁友会南松山病院

シンポジウム2 看取りに慣れない、在宅緩和ケアの質をたかめる努力をする

【 幸 】

7月20日(土) 8:30～10:00 第3会場「会議室201」

座長 田中 誠 たなか往診クリニック

座長 川口美喜子 札幌保健医療大学

S2-1 多職種連携で在宅緩和ケアの質は高まるのか？

清水 政克 医療法人社団 清水メディカルクリニック

S2-2 何をする／しないことが質の高い看護になるのか 個々の文脈で考える

宮田 乃有 恵仁会なごみ訪問看護ステーション

S2-3 在宅緩和ケアの質を高めるために、薬剤師として必要なこと

宇都宮励子 一般社団法人 大阪ファルマプラン

S2-4 クリニックにおける多職種連携の早期栄養ケア介入による緩和ケアの取り組み

彦坂 陽子 医療法人社団莉生会 メディケアクリニック石神井

シンポジウム3 在宅医療インテグレーター 活動報告

【 緊 】

7月20日(土) 8:30～10:00 第6会場「会議室303」

座長 杉浦 真 安城更生病院

座長 石原 由花 野崎クリニック

S3-1 急性期病院の医師の立場から

杉浦 真 安城更生病院

S3-2 在宅医療インテグレーター機能を意識した相談援助

田巻 憲史 帯広協会病院

S3-3 診療同行看護師としてインテグレーター役割を考える

湊 由美香 四街道まごころクリニック

S3-4 在宅医療インテグレーター 活動報告
～介護支援専門員の立場より～

相田 里香 青い鳥

繋

シンポジウム4 日本在宅医療事務連絡会合同企画

うまくいっている在支診・在支病で活躍する事務たち ～縁の下の力持ち～

7月20日（土）8:30～10:00 第11会場「会議室102A」

座長 岡崎 理絵 祐ホームクリニック千石

座長 大西 肇 一般社団法人日本在宅医療事務連絡会 理事（医療法人社団まごころ 事務長）

S4-1 事務から事務長へ。事務職のキャリアパスを考える。

浅沼 裕子 一般社団法人日本在宅医療事務連絡会 理事（医療法人社団実幸会 いらはら診療所 事務長）

S4-2 レセプトだけではない！事務職のできることに。医師・看護師ら専門職にその職務を全うしてもらうために。

若塚 彩 医療法人社団まごころ 事務主任

S4-3 在宅療養支援診療所における事務長の役割と経営について
～これからの診療所経営『医経分離』という考え方～

小玉 直人 医療法人社団CMC コールメディカルクリニック広島 事務長

S4-4 事務職があつての病院在宅。

事務職の力で、医師は診療に専念できる

岩淵 康雄 医療法人社団愛信会理事長・院長

繋

シンポジウム5 安心して嚥下障害呼吸不全の方が過ごせる地域づくりの取り組み

～医療、介護、非営利組織を活用して～

7月20日（土）10:10～11:40 第3会場「会議室201」

座長 井上 登太 みえ呼吸嚥下リハビリクリニック

座長 前田 玲 帯広中央病院栄養科

S5-1 呼吸不全、嚥下障害に対する私たちの関わり

井上 登太 みえ呼吸嚥下リハビリクリニック／（株）グリーントウン呼吸嚥下ケアプランニング／NPOグリーントウン呼吸嚥下研究グループ／畿内会 岡波病院呼吸器科／岡谷会 おかたに病院呼吸器科

S5-2 リハビリテーション部・総務部・ボランティアの立場から

鈴木 典子 みえ呼吸嚥下リハビリクリニック／NPOグリーントウン呼吸嚥下研究グループ

S5-3 看護部・栄養課の立場から

藤澤 ゆみ みえ呼吸嚥下リハビリクリニック／NPOグリーントウン呼吸嚥下研究グループ

S5-4 介護職として嚥下障害呼吸不全に對してできること

松田幸二郎 （株）グリーントウン呼吸嚥下ケアプランニング

S5-5 医療、介護非営利組織を活用して

酒井 直樹 岡谷会 おかたに病院／NPO法人 グリーントウン呼吸嚥下研究グループ

S5-6 安心して嚥下障害呼吸不全の方が過ごせる地域づくりの取り組み

～医療、介護非営利組織を活用して～ 機能強化型栄養ケアステーションからふるの役割

房 晴美 羽衣国際大学人間生活学部食物栄養学科非常勤講師／特定非営利活動法人はみんぐ南河内／機能強化型認定栄養ケアステーションからふる

シンポジウム6 在宅現場における医療安全・リスクマネジメント

7月20日（土）10:10～11:40 第4会場「会議室301」

座長 三浦 靖彦 岩手保健医療大学 看護学部
座長 武 ユカリ 森ノ宮医療大学 看護学部 看護学科 在宅看護学

- S6-1 **医療安全・リスクマネジメントの基本**
渡邊 幸子 白岡中央総合病院 医療安全管理課
- S6-2 **リスクマネジメントの観点からの在宅医療・ケア提供機関のBCP**
山岸 暁美 慶応大学医学部 衛生学公衆衛生学教室／コミュニティヘルス研究機構／Disester
Community-Ccare Assistance Team (DC-CAT)
- S6-3 **在宅現場における暴力・ハラスメントと予防策**
三木 明子 関西医科大学看護学部・看護学研究科
- S6-4 **医療安全・リスクマネジメントとしての臨床倫理**
三浦 靖彦 岩手保健医療大学 看護学部

シンポジウム7 24時間対応の工夫 ～在宅ならではの空気感をどのようにシェアし、教育に組み込んでいるか～

7月20日（土）10:10～11:40 第5会場「会議室302」

座長 洪 英在 東員病院

- S7-1 **中～小規模のクリニック同士の往診業務連携の一例**
矢部 千鶴 津ファミリークリニック
- S7-2 **24時間対応の工夫～在宅ならではの空気感をどのようにシェアし、教育に組み込んでいるか～**
豊田 理恵 医療法人おひさま会（サポート：荒 隆紀 医療法人おひさま会）
- S7-3 **24時間対応の工夫：訪問看護の立場から**
吉江 悟 訪問看護ステーションビュートゾルフ柏／一般社団法人Neighborhood Care／東京大学高齢社会総合研究機構／筑波大学ヘルスサービス開発研究センター／慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室
- S7-4 **利用者の生活を切れ目なく支えるケアマネジャーとしての現状と課題**
三浦 祐子 松戸市在宅医療・介護連携支援センター／ケアプラン佑

シンポジウム8 在宅医療コーディネーターセッション

7月20日（土）10:10～11:40 第6会場「会議室303」

座長 斎川 克之 新潟市医師会
座長 服部 美加 新潟県医師会

- S8-1 **東京都豊島区における在宅医療相談窓口・多職種連携拠点の取り組み**
中辻 康博 豊島区在宅医療相談窓口・多職種連携拠点
- S8-2 **在宅医療コーディネーターの実践、病院の立場から**
菊池 涼子 北上市在宅医療介護連携支援センター
- S8-3 **地域包括支援センターの立場から**
坂村 美枝 日南町地域包括支援センター
- 指定発言 **在宅医療コーディネーターに期待される役割と求められる機能**
川越 雅弘 株式会社日本医療総合研究所／社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター

シンポジウム9 「在宅血液透析」が気になるすべての人へ在宅医療とのクロストーク

7月20日（土）10:10～11:40 第7会場「会議室304」

座長 宮下 美子 名古屋記念財団ホスピスグループ腎透析事業部
座長 河原崎宏雄 帝京大学医学部附属溝口病院内科

S9-1 よくわかる在宅血液透析

原 正樹 医療法人社団 東京透析フロンティア

S9-2 在宅血液透析における看護師の役割

種田 美和 医療法人社団 大誠会

S9-3 多職種連携の視点から考える在宅血液透析

高橋 初 医療法人 新都市医療研究会「君津」会 総合腎臓病センター 玄々堂君津病院 臨床工学科

S9-4 在宅血液透析が気になるすべての人へのメッセージ

中原 美穂 東京透析フロンティア 池袋駅北口クリニック

シンポジウム10 異業種の視座から“喪失”を分かちあい多様性を包摂するコミュニティを考える

7月20日（土）10:10～11:40 第9会場「会議室104」

座長 大川 薫 亀田総合病院
座長 上村久美子 居宅介護支援事業所万年青

S10-1 認知症になったとしても活躍できる社会をつくる

平井万紀子 まあいいかlaboきょうと

S10-2 「失わないで続ける」ことの支援～自分の声（マイボイス）と楽器の音色（マイマリンバ）を例に～

本間 武蔵 2003年都立神経病院リハビリテーション科作業療法

S10-3 ペットロス現場から獣医療におけるACP普及に向けて

下司 睦子 専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー（獣医師）／獣医保険ソーシャルワーク協会／ヒトと動物の関係学会

S10-4 遺骨が鳴らす警鐘

今、なぜ自治体の終活支援が必要なのか

北見 万幸 横須賀市 民生局

S10-5 医療からの視点だけでは喪失を分かちあうことが難しい

岡山 容子 医療法人みのり会 おかやま在宅クリニック

シンポジウム11 意思決定支援にも役立つ！地域で活用する現状確認ツールIMADOKO

7月20日（土）10:10～11:40 第10会場「会議室105」

座長 大井 裕子 小金井ファミリークリニック
座長 菊谷 武 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

S11-1 どう活用する？現状確認ツールIMADOKO

大井 裕子 小金井ファミリークリニック

S11-2 訪問看護ステーションで現状確認ツールIMADOKOを取り入れた理由

中村 恵 AGO株式会社みのり訪問看護ステーション

S11-3 在宅専門クリニックで活用するIMADOKOについて

中村 幸伸 つばさクリニック

S11-4 終末期患者に対する歯科治療、摂食指導、口腔衛生管理におけるIMADOKOの活用

菊谷 武 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

シンポジウム12 在宅障害者のよりよい生活のための「主体性の支え方」

幸

7月20日（土）10:10～11:40 第11会場「会議室102A」

座長 川手 信行 昭和大学医学部リハビリテーション医学講座
座長 齋藤 薫 川崎市社会福祉事業団 れいんぼう川崎

- S12-1 障害のある人の長期的な改善につながる主体性
和田 真一 医療法人社団あおい會 森山リハビリテーションクリニック／昭和大学医学部 リハビリテーション医学講座
- S12-2 「今の自分」を受け入れ、納得して前に進んでいくための主体性回復支援
武田 陽香 品川区立心身障害者福祉会館 自立訓練事業
- S12-3 主体性を支える訪問リハビリテーション
糸井 孝文 社会福祉法人聖テレジア会 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院
- S12-4 自分らしい社会参加スタイルの再構築に伴走する
～中途障害者への主体性を尊重した生活期リハビリテーション～
浦 雄司 川崎市社会福祉事業団 れいんぼう川崎

シンポジウム13 令和6年能登半島地震 災害関連死をブロックする！！

繫

7月20日（土）13:10～14:40 第3会場「会議室201」

座長 古屋 聡 山梨市立牧丘病院
座長 山岸 暁美 慶応義塾大学 医学部 衛生学公衆衛生学教室／コミュニティヘルス研究機構

- S13-1 災害医療、災害関連死を防ぐために、一開業医ができることと思うこと
井上 登太 みえ呼吸嚥下リハビリクリニック／（株）グリーントウン呼吸嚥下ケアプランニング／NPOグリーントウン呼吸嚥下研究グループ／畿内会 岡波総合病院呼吸器科／岡谷会 おかたに病院呼吸器科
- S13-2 歯科の立場から考える～東日本大震災の経験を生かして～
一瀬 浩隆 医療法人ENGAGE あい訪問歯科クリニック
- S13-3 災害関連死をブロックする！！～たべるを支援する～
小川 豊美 株式会社とよみ
- S13-4 今を生き抜くために今までがあった
～被災者として、支援者として～
中村 悦子 訪問看護ステーションみなぎ

シンポジウム14 ICTを用いた多職種連携の現状と課題 ～診療報酬改定でICTの利用は広まるか？～

繫

7月20日（土）13:10～14:40 第5会場「会議室302」

座長 土屋 淳郎 土屋医院
座長 宮下 勉 杏クリニック

- S14-1 多職種連携におけるICTの利用と診療報酬算定可能な利用法
土屋 淳郎 医療法人社団創成会土屋医院
- S14-2 訪問看護師からみた多職種連携におけるICT連携の現状と課題
鵜飼亜由美 株式会社淳風 訪問看護ステーション仁
- S14-3 診療所事務からみた多職種連携におけるICT連携の現状と課題
水上 直人 さつきホームクリニック
- S14-4 介護支援専門員からみた多職種連携におけるICT連携の現状と課題
上村久美子 医療法人橘会 居宅介護支援事業所万年青

シンポジウム15 在宅医療の研究を推進するために

7月20日（土）13:10～14:40 第6会場「会議室303」

座長 梅垣 宏行 名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学
座長 山中 崇 東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座

- S15-1 「皆で力を合わせて」研究の宝島へ：在宅医療の研究を推進するために
服部ゆかり 東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座
- S15-2 在宅医療の研究を推進するために～いちクリニック在宅医の経験～
宮武 寛知 オレンジホームケアクリニック
- S15-3 在宅医療研究で求められるエビデンスとコホート研究の課題～ONEHOME研究での取り組み
渡邊 一久 名古屋大学医学部附属病院 老年内科／名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学
- S15-4 在宅医療の研究を推進するために：看護の立場から
野口麻衣子 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科 在宅・緩和ケア看護学

シンポジウム16 一歩先の家族支援 ～家族療法の視点から在宅医療を考える～

7月20日（土）13:10～14:40 第7会場「会議室304」

座長 吉川 正宏 竹林貞吉記念クリニック
座長 久島 和洋 ドクターゴン鎌倉診療所

- S16-1 在宅医療の現場で役立つ家族療法/家族志向のケアの理論
宮本 侑達 ひまわりクリニック／名古屋大学大学院医学系研究科総合診療医学
- S16-2 在宅医療で役立つ家族療法の視点・技法
山田 宇以 聖路加国際病院
- S16-3 在宅で行う家族療法/家族志向のケアの実践
富田 詩織 多摩ファミリークリニック
- S16-4 多職種連携で行う家族志向のケア
久保田 希 河北ファミリークリニック南阿佐谷

シンポジウム17 在宅医療・介護関連施策におけるデータ分析：国・都道府県・市町村の各階層から考える

7月20日（土）13:10～14:40 第9会場「会議室104」

座長 新屋 洋平 OHS沖縄往診サポート
座長 長嶺由衣子 厚生労働省老健局老人保健課

- S17-1 データ分析において求められること～数値を読む前に、考え方と方針を確認しよう～
埴岡 健一 国際医療福祉大学大学院
- S17-2 自治体における匿名医療保険等関連情報（NDB）利活用の現状と展望
鈴木 里彩 厚生労働省保険局医療介護連携政策課保険データ企画室
- S17-3 在宅医療介護連携推進事業における介護保険総合データベース（介護DB）の利活用と展望
長嶺由衣子 厚生労働省老健局老人保健課
- S17-4 沖縄県における在宅医療・介護連携支援事業でのデータ分析について（市町村支援も含めて）
國吉 徹也 TKインサイト

シンポジウム18 千葉県医師会合同企画 「ときどき入院ほぼ在宅」を医師会の視点で考える

紡

7月20日（土）14:50～16:20 第2会場「国際会議室」

座長 和田 浩明 千葉県医師会 理事
座長 松岡かおり 千葉県医師会 理事

- S18-1 星野 大和 松戸市医師会・ほしの在宅ケアクリニック
S18-2 児玉 泰治 児玉メディカルクリニック／銚子市医師会
S18-3 鴫田 純一 香取郡市医師会／鴫田医院
S18-4 土居 良康 医療法人社団ディーオーアイ 土居内科医院／船橋市医師会
S18-5 古賀 友之 柏市医師会

シンポジウム19 在宅医療での口腔機能リハビリテーションにおける多職種協業

繋

7月20日（土）14:50～16:20 第4会場「会議室301」

座長 安部 能成 医療法人心の郷グループ 穂波の郷クリニック
座長 染谷 明子 富山医療生活協同組合 本部

- S19-1 地域での在宅口腔機能リハビリテーションにおける在宅医の役割
清水 政克 医療法人社団 清水メディカルクリニック
S19-2 在宅における口腔機能リハビリテーションの現在～管理栄養士の立場から～
武原佳恵子 医療法人栄知会 小野歯科医院
S19-3 在宅における口腔機能リハビリテーションを多職種協働で上手に進めるコツ
猪原 健 猪原「食べる」総合歯科医療クリニック
S19-4 在宅ケアにおける口腔機能リハビリテーション
小島 香 浜松医科大学 健康社会医学講座／こじまデンタルクリニック

シンポジウム20 AIを活用した組織運営と在宅医療領域での活用事例

継

7月20日（土）14:50～16:20 第5会場「会議室302」

座長 門田耕一郎 重工記念長崎病院 内科
座長 内田 直樹 医療法人すずらん会たろうクリニック

- S20-1 医療DXの第一歩：在宅医療と大学病院でのAI・デジタルツール活用
木村 翔一 福岡歯科大学総合医学講座耳鼻咽喉科学分野／福岡大学医学部耳鼻咽喉科学教室／すずらん会たろうクリニック
S20-2 AIとともに何をしよう？～小児科医の多角的AI活用例～
植田 由依 国際医療福祉大学 成田病院 小児科
S20-3 褥瘡診療サポートBot～とこさば～の開発
伊藤 天大 医療法人賛永会 さつきホームクリニック

シンポジウム21 在宅医療のケアとアウトカムを評価するZEVIUS研究の追加調査：結果と意義

継

7月20日（土）14:50～16:20 第6会場「会議室303」

座長 栗田 宜明 福島県立医科大学
座長 白髭 豊 白髭内科医院

- S21-1 余命わずかな在宅患者は果たして幸せだったのか？
在宅患者のQOLと希望に関する前向きコホート研究（ZEVIUS追跡調査）
安中 正和 安中外科・脳神経外科医院

- S21-2 在宅主治医の質と在宅死の関連性についての検討（ZEVIUS研究追跡調査）
林 伸宇 医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック平和台／福島県立医科大学
- S21-3 在宅患者の同居家族構成、介護体制と在宅死との関連：ZEVIUS研究
飯田 英和 医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック／福島県立医科大学 大学院医学研究科 臨床疫学分
野／千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター
- S21-4 在宅主治医は患者の生命予後を正確に予測できていたか？（ZEVIUS研究追跡調査）
次橋 幸男 天理よろづ相談所病院白川分院

シンポジウム22 身寄りのない人を取り巻く倫理的課題

幸

7月20日（土）16:30～18:00 第2会場「国際会議室」

- 座長 植竹 日奈 NPO法人ケ・セラ
座長 佐藤もも子 長野県社会福祉会

- S22-1 「身寄り問題にアプローチするガイドブック」から考える
地域社会で「医療の方針の決定に関すること」の課題を共有する意味
佐藤もも子 長野県社会福祉会
- S22-2 急性期病院における身寄りのない人の医療同意
杉浦 真 安城更生病院
- S22-3 身寄りのない人の権利を守るために法律でできること、できないこと
高岡 香 横浜エルム法律事務所
- S22-4 ひとり暮らし、身寄りのない人を取り巻く倫理的課題の解決のための協働について
植竹 日奈 NPO法人ケ・セラ

シンポジウム23 日本睡眠学会共同企画 在宅高齢者の睡眠を考える

幸

7月20日（土）16:30～18:00 第3会場「会議室201」

- 座長 内村 直尚 久留米大学
座長 吉澤 孝之 要町病院

- S23-1 高齢者の睡眠と睡眠衛生
岩下 正幸 東京慈恵会医科大学精神医学講座／東京慈恵会医科大学附属柏病院 精神神経科
- S23-2 高齢者の睡眠関連呼吸障害
青木 康弘 医療法人康曜会ブラーナクリニック
- S23-3 神経疾患と睡眠障害
鈴木 圭輔 獨協医科大学脳神経内科
- S23-4 不眠診療と睡眠薬の適正使用
内村 直尚 久留米大学

シンポジウム24 症例から学ぶ褥瘡ケアの基本：創傷治癒・圧迫とずれ・栄養

紡

7月20日（土）16:30～18:00 第4会場「会議室301」

- 座長 蘆野 吉和 山形県庄内保健所
座長 清野 美砂 けやき通り訪問看護ステーション

- S24-1 在宅褥瘡ケアに必要な創傷治癒の知識
木下 幹雄 TOWN訪問診療所
- S24-2 症例から学ぶ褥瘡ケアの基本：圧迫とずれ
清野 美砂 けやき通り訪問看護ステーション

S24-3 「痩せて骨ばっている」「食事回数が減った」在宅患者に対する訪問栄養食事指導の効果

真井 睦子 栗山赤十字病院医療技術部栄養課

S24-4 様々な問題を持つ症例の紹介

荒谷亜希子 岩手県立一戸病院 在宅医療科

シンポジウム25 日本在宅医療事務連絡会合同企画

継

2024年度トリプル改定と現場での対応について

7月20日(土) 16:30～18:00 第5会場「会議室302」

座長 石塚 秀俊 一般社団法人日本在宅医療事務連絡会／IQVIAソリューションズ ジャパン合同会社

座長 浅沼 裕子 いらはら診療所

S25-1 令和6年度トリプル改定で何が大きく変わったのか？改めて検証する

石塚 秀俊 一般社団法人日本在宅医療事務連絡会／IQVIAソリューションズ ジャパン合同会社

S25-2 2024年診療報酬改定：在宅療養支援病院のあり方としての「コミュニティ&コミュニティホスピタル（CCH）」

大石佳能子 株式会社メディヴァ

S25-3 在宅診療の報酬改定と現場での対応について

石塚 美絵 めぐみ在宅クリニック

S25-4 訪問看護の報酬改定と現場での対応について

大竹 尊典 公益財団法人日本訪問看護財団

シンポジウム26 在宅診療薬剤師の可能性

繋

7月20日(土) 16:30～18:00 第7会場「会議室304」

座長 大須賀悠子 関医院

座長 行田 泰明 わたクリニック船堀

S26-1 在宅診療薬剤師の存在意義を考える

餅原 弘樹 医療法人社団いぶきの森 のぞみの花クリニック

S26-2 これからの在宅診療薬剤師と病院薬剤師の連携について考える

城山 亮輔 東京大学医学部附属病院 薬剤部

S26-3 診療所に薬剤師がいる面白さ

～在宅診療薬剤師のいる小さなクリニックの日常

篠田 裕美 医療法人社団フィーカ 関医院

S26-4 薬局薬剤師の立場からみた在宅診療薬剤師の重要性～自身が在宅診療薬剤師を経験したことで～

今城 宏文 ツマシナ薬局

シンポジウム27 最期の1週間を見逃さない～多職種でどうつかむ・どう実践する・どうつなぐ～

繋

7月21日(日) 8:00～9:30 第2会場「国際会議室」

座長 今永 光彦 奏診療所

座長 安藤 仁子 向日葵ナースステーション／NPO法人やちけあ

S27-1 終末期に搬送となった事例から終末期ケアを学ぶ

久島 和洋 ドクターゴン鎌倉診療所

S27-2 ターミナル期における訪問看護師の役割と連携

串間 一彦 ひなた訪問看護ステーション

S27-3 ターミナルになっても床ずれを作らないために「床ずれ危険度チェック表」の活用

助川未枝保 ジャルダンカトレアいすみ

S27-4 SNSを活用した緩和ケア専門医、緩和ケア認定看護師との連携、離れていても大丈夫！介護士として安心なケアの提供ができる

知久 淳子 株式会社ヴィーナス グランツこむぎ

S27-5 臨終期の予後予測：最新エビデンスと在宅ケアの実践

細井 崇弘 ファミリークリニックさくらの森

働

シンポジウム28 ACPについての最近の議論と動向、実践を考える

7月21日（日）8:00～9:30 第3会場「会議室201」

座長 川口 篤也 函館稜北病院

座長 片山 陽子 香川県立保健医療大学

S28-1 ACP～最近の議論も含めた概説

森 雅紀 聖隷三方原病院緩和支援診療科

S28-2 在宅医療におけるACPの実践と課題

原澤慶太郎 医療法人社団はな

S28-3 診療所でのACPの実践と課題～看護師の立場から考える～

中川 真紀 社会福祉法人知恵の光会フロムワン附属診療所

S28-4 小児ACPが提示する課題

笹月 桃子 早稲田大学人間科学学術院

プログラム

紡

シンポジウム29 日本プライマリケア連合学会・日本緩和医療学会・ 日本緩和医療薬学会・日本在宅医療連合学会 合同企画 プライマリ緩和ケア ～緩和ケアとプライマリ・ケアの統合

7月21日（日）8:00～9:30 第4会場「会議室301」

座長 伊藤 大樹 あおばクリニック

座長 弓野 大 医療法人社団ゆみの

S29-1 緩和ケアと卓越したジェネラリスト診療

藤沼 康樹 生協浮間診療所

S29-2 専門的緩和ケアがプライマリケア/在宅医療に果たす役割について

田上 恵太 医療法人社団 悠翔会 くらしケアクリニック練馬／東北大学大学院 医学系研究科 緩和医療学分野／KISA2隊/K2プロジェクト／よしき往診クリニック

S29-3 保険薬局薬剤師はプライマリ緩和ケアの担い手となりえるのか

坂本 岳志 （有）サンメディカル

繋

シンポジウム30 摂食嚥下リハビリテーション学会合同企画 摂食嚥下リハビリテーションを在宅に活かす

7月21日（日）8:00～9:30 第5会場「会議室302」

座長 井上 登太 みえ呼吸嚥下リハビリクリニック

座長 前田 玲 帯広中央病院栄養科

S30-1 摂食嚥下障害と誤嚥性肺炎への対応

井上 登太 みえ呼吸嚥下リハビリクリニック／（株）グリーンタウン呼吸嚥下ケアプランニング／NPOグリーンタウン呼吸嚥下研究グループ／畿内会 岡波総合病院 呼吸器科／岡谷会 おかたに病院 呼吸器科

S30-2 在宅療養患者の食べるを支える、食べられないを支える

菊谷 武 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

S30-3 言語聴覚士の立場で摂食嚥下リハビリテーションを在宅に活かす

永来 努 株式会社コンパス

S30-4 摂食嚥下リハビリテーションを在宅に活かす

～管理栄養士による食支援・栄養管理の必要性和今後の課題～

房 晴美 羽衣国際大学人間生活部食物栄養学科非常勤講師／特定非営利活動法人はみんぐ南河内／機能強化型認定栄養ケアステーションからふる

シンポジウム31 日本緩和医療学会合同企画

紡

～オピオイド持続注射を在宅医療で広めるために何ができるか～

7月21日（日）8:00～9:30 第6会場「会議室303」

座長 廣橋 猛 永寿総合病院 がん診療支援・緩和ケアセンター

座長 茅根 義和 大森赤十字病院 緩和ケア内科

S31-1 オピオイド持続注射を在宅で広めるための課題と必要な方策

首藤真理子 みなとホームケアクリニック

S31-2 オピオイド持続注射を在宅医療で広めるために訪問看護師の立場からできること

平川 未来 訪問看護ステーション タック

S31-3 在宅医療におけるオピオイド持続注射投与の必要性を考える～在支診療剤師の立場から～

佐久間詠理 医療法人社団淳友会 わたホームクリニック

S31-4 病院緩和ケア医が在宅オピオイド持続注射普及のためにできること

石川 彩夏 国立がん研究センター中央病院 緩和医療科

シンポジウム32 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会共同企画

幸

非がん性呼吸器疾患終末期への一歩進んだ緩和ケア

—呼吸困難感に、即モルヒネで良いですか？—

7月21日（日）8:00～9:30 第7会場「会議室304」

座長 谷口 博之 スカイル内科

座長 竹川 幸恵 大阪はびきの医療センター

S32-1 呼吸困難感の病態生理—わかりやすく、簡単な呼吸困難の説明—

越久 仁敬 おく医院／兵庫医科大学神経生理部門

S32-2 呼吸困難感をどうマネジメントするか？

武知由佳子 医療法人社団愛友会 いきいきクリニック

S32-3 呼吸困難に対する看護ケア

小林 千穂 社会医療法人新潟勤労者医療協会 下越病院

S32-4 呼吸困難感への呼吸リハビリテーション

前田 和成 ぼると訪問看護ステーション

シンポジウム33 家族という土台を耕す —予防教育としての「かぞくのがっこう®」

幸

7月21日（日）8:00～9:30 第9会場「会議室104」

座長 生本万知子 おひさまクリニック

座長 茶谷 妙子 京都府訪問看護総合支援センター

S33-1 男性の家事参加と結婚満足度

脇田康二郎 沖縄県立中部病院

S33-2 医療的ケア児とその家族にとっての「かぞくのがっこう®」

峯尾 志穂 医療的ケアのある重症心身障害児を育てる当事者家族

S33-3 支援者にとっての「家族のがっこう」

國居 早苗 桜新町アーバンクリニック・在宅医療部／桜新町ナースケア・ステーション

S33-4 予防教育「かぞくのがっこう®」を研究者の視点から考察する

川上 千春 聖路加国際大学大学院

楽

シンポジウム34 患者中心の在宅医療マネジメント人材をめざして

7月21日（日）9:40～10:40 第4会場「会議室301」

座長 荒木 庸輔 特定医療法人新生病院
座長 岡崎 理絵 祐ホームクリニック千石

S34-1 繋がりを大切に、感謝を忘れない

上畑 大 医療法人つばさ つばさクリニック

S34-2 在宅療養支援診療所薬剤師を兼務する事務長の働き方

岡崎 理絵 医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック千石

S34-3 医療マネジメント人材に求められる「患者視点の戦略策定力」と「伴走型の組織マネジメント力」

村上 典由 医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック

S34-4 在宅医療を支えるチームの一員として

山田 寿美 医療法人双樹会 よしき往診クリニック

幸

シンポジウム35 日本臨床工学技士会企画

シームレスな呼吸療法を目指して ～在宅人工呼吸患者の質を高める取り組み～

7月21日（日）9:40～10:40 第5会場「会議室302」

座長 山田 紀昭 済生会横浜市東部病院 TQMセンター
座長 平野 恵子 JA広島総合病院 臨床工学科

S35-1 シームレスな呼吸療法を実現するために臨床工学技士に求めること

前田 あき 社会福祉法人三篠会 重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎看護部

S35-2 治療の質を高めるための取り組み～人工呼吸器のより良い設定をみ出すために～

塚田さやか 公立陶生病院 臨床工学部

S35-3 生活の質を高める取り組み～より良いデバイス選定やご家族の負担軽減のために～

及川 秋沙 独立行政法人国立病院機構 岩手病院 臨床工学室

S35-4 安全性の質を高める取り組み～想定外のトラブルにどう対応するか～

浜本 英昌 医療法人鳥伝白川会 ドクターゴン鎌倉診療所 臨床工学技士

継

シンポジウム36 在宅医療における医薬品供給の24時間体制の評価 ～医療用麻薬の供給について～

7月21日（日）9:40～10:40 第6会場「会議室303」

座長 串田 一樹 昭和薬科大学
座長 白石 丈也 けや木薬局

S36-1 在宅医の立場で考える医薬品供給の24時間体制の現状と課題

遠矢純一郎 桜新町アーバンクリニック

S36-2 訪問看護ステーションからみた医薬品供給への課題と現状

深田 悠花 なな－の訪問看護ステーション/大阪大学大学院医学系研究科/OMORO

S36-3 医療用麻薬の供給と薬局24時間体制

佐々木 健 メディブレイス365薬局

S36-4 あけぼの薬局における医療用麻薬の供給と疼痛管理

木村 雅彦 あけぼの薬局

シンポジウム37 「きみのいのち ぼくの時間」ミュージカルを通していのちについて考える

含

7月21日（日）12:40～14:10 第2会場「国際会議室」

座長 中村 明澄 向日葵クリニック

座長 堤 円香 メディカルホームKuKuRu／NPO法人キャトル・リーフ

シンポジウム38 令和6年度診療報酬と介護報酬同時改定から、どのような未来を描く～多職種が考える、これからの未来と今～

繋

7月21日（日）12:40～14:10 第3会場「会議室201」

座長 次橋 幸男 天理よろづ相談所病院 白川分院 在宅世話どりセンター

座長 太田 博見 医療法人仁慈会 太田歯科医院

S38-1 調剤報酬改定を受けて、薬局の未来はどう変わるのか～質の高い在宅業務を担う薬局として～
宇都宮励子 大阪ファルマプラン

S38-2 診療報酬改定から管理栄養士が考える、これからの未来のために取り組むべきことは
熊谷 琴美 愛知学院大学健康科学部健康栄養学科

S38-3 訪問看護師からみた改定と、これからの未来
藤野 泰平 株式会社デザインケア/みんなのかかりつけ訪問看護ステーション

S38-4 保険委員会活動の意義と令和6年度診療報酬改定の総括
安中 正和 医療法人安中外科・脳神経外科医院

シンポジウム39 勤務医の目指すべきキャリア形成 ～総合診療・在宅医が望まれている超高齢社会～

楽

7月21日（日）12:40～14:10 第4会場「会議室301」

座長 笹岡 大史 春日部在宅診療所ウエルネス

座長 石田 岳史 東京医科歯科大学総合診療科

S39-1 社会的ニーズに沿った働き方改革の成功体験
～大学病院循環器内科部長から、老健施設長、在宅診療所院長への転身～
笹岡 大史 医療法人忠恕 春日部在宅診療所ウエルネス

S39-2 超高齢社会における総合診療専門医の育成と多職種連携の構築
石田 岳史 東京医科歯科大学総合診療科

S39-3 基礎研究者から在宅医へのキャリアチェンジ
木村 彰方 東京医科歯科大学／医療法人忠恕 春日部在宅診療所ウエルネス

S39-4 コミュニティ&コミュニティホスピタル（CCH）が提供する総合診療医のキャリア・オプション
大石佳能子 株式会社メディヴァ

シンポジウム40 小児在宅医療における成人移行について

紡

7月21日（日）12:40～14:10 第5会場「会議室302」

座長 遠矢純一郎 桜新町アーバンクリニック

座長 中村 知夫 国立成育医療センター 医療連携・患者支援センター 在宅医療支援室

S40-1 地域における小児期発症の慢性疾患を持つ成人患者に対する医療ネットワークの構築に向けての話し合い通じて見えてきたもの
中村 知夫 国立成育医療センター 医療連携患者支援センター 在宅医療支援室室長

S40-2 重症心身障害児の成人移行支援における医療連携体制の構築

生田 陽二 東小金井小児神経・脳神経内科クリニック

S40-3 成人在宅診療所における小児患者の成人移行の課題

水谷 亮 医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック

S40-4 小児在宅医療における成人移行について

鄭 東孝 国立病院機構東京医療センター 総合内科科長

繋

シンポジウム41 日本臨床衛生検査技師会共催企画

在宅医療に関わる現場で活躍する臨床検査技師

7月21日(日) 12:40~14:10 第6会場「会議室303」

座長 宮下 勉 杏クリニック

座長 井越 尚子 女子栄養大学栄養学部保健栄養学科

S41-1 在宅医療における睡眠医療の実際と臨床検査技師の役割

石丸 理絵 医療法人RESM RESM新横浜 睡眠・呼吸メディカルケアクリニック

S41-2 コロナ禍の保健所での臨床検査技師の働き
～サービス付き高齢者住宅等への関わり～

奥山 啓子 栃木県南健康福祉センター

S41-3 臨床検査技師によるエコーを用いた便秘評価

佐野 由美

含

シンポジウム42 地域での市民啓発活動、どうしてますか？～企画から広報、そして効果まで～

7月21日(日) 12:40~14:10 第7会場「会議室304」

座長 鶴岡 優子 つるかめ診療所

座長 小林 正宜 葛西医院

S42-1 世田谷区 在宅医療・介護連携推進事業における4年間のACP普及啓発の取り組み

神野 真実 株式会社メディヴァ

S42-2 映画を活用したACPの啓発活動

鶴岡 浩樹 日本社会事業大学専門職大学院福祉マネジメント研究科／つるかめ診療所

S42-3 多職種で挑戦するKISA2隊流地域活動～誰もが柱になれるポジティブな仕掛け～

七澤ゆきの KISA2隊大阪 おく・内科在宅クリニック

S42-4 劇団ザイタク “ピンコロ”

～延命治療の中止・非開始・そして... 答えのない問いを市民と考えるために～

桜井 隆 さくらいクリニック

繋

シンポジウム43 あなたのまちを最期に住みたいまちに変える「超・地域包括ケアシステム」作戦

7月21日(日) 12:40~14:10 第9会場「会議室104」

座長 川邊 正和 東大阪プロジェクト／かわベクリニック

座長 蒲原 雄介 日本医療デザインセンター／医療ライター

S43-1 川邊 綾香 東大阪プロジェクト／医療法人 綾正会かわベクリニック 看護師

S43-2 伊藤 守 医療法人つながる いとうまもる診療所 院長

S43-3 廣瀬 憲一 医療法人社団 守成会 理事長

S43-4 竹下みちよ 訪問看護ステーション ここな 管理者・看護師

シンポジウム44 日本在宅医療事務連絡会合同企画 在宅医療DX最前線

継

7月21日（日）12:40～14:10 第11会場「会議室102A」

座長 石塚 美絵 めぐみ在宅クリニック
座長 堀部 秀夫 医療法人社団ゆみの

- S44-1 佐賀市介護予防DX ―データを活用した介護予防の推進―
菅 祐亮 佐賀市 政策推進部 DX推進課
- S44-2 在宅と外来のミックスによるDX化の課題と解決の方向性
毛塚 牧人 株式会社レイヤード
- S44-3 北海道名寄市の「地域における多職種連携のためのICT活用」
橋本いづみ 名寄市健康福祉部こども・高齢者支援室地域包括支援センター
- S44-4 地域診療所における入院ゼロを目指したテレナーシングDXの推進
田中 勇樹 医療法人社団ゆみの

シンポジウム45 災害支援・受援力醸成において在宅医療連合学会にできることは？

継

7月21日（日）14:20～15:50 第2会場「国際会議室」

座長 泰川 恵吾 ドクターゴン診療所
座長 宮本 雄気 よしき往診クリニック／京都府立医科大学 救急医療学教室

- S45-1 在宅医療・介護領域における災害時の全体像と課題
宮本 雄気 医療法人双樹会よしき往診クリニック／京都府立医科大学 救急医療学教室
- S45-2 サージキャパシティをどのように担保していくか？
～増大する医療・ケアニーズに対する外部支援の活用と地域BCPのススメ～
山岸 暁美 慶應義塾大学医学部衛生学 公衆衛生学教室／コミュニティヘルス研究機構／Disester
Community-Ccare Assistance Team (DC-CAT)
- S45-3 災害時に在宅患者をどう守るか？
～地域連携BCPの必要性～
小井土雄一 国立病院機構本部 DMAT事務局
- S45-4 災害医療のすきまを埋めたい：在宅医療で描く災害支援の新しい地図
原田奈穂子 岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学域／岡山大学医学部保健学科基礎看護学領域
- S45-5 あなたは被災者を傷つけていませんか？
(AMDA避難所支援からJMAT災害派遣で頂いた気づき)
長谷川太郎 湘南おおふなクリニック

シンポジウム46 病院地域連携室は在宅医療チームをどのように選定しているのか ～よりフェアな病診連携を目指して～

繋

7月21日（日）14:20～15:50 第3会場「会議室201」

座長 米本 千春 堺市立総合医療センター患者支援センター
座長 清水 政克 清水メディカルクリニック

- S46-1 神経難病におけるヒトをつなぐ支援の重要性
花井亜紀子 国立精神・神経医療研究センター病院 医療連携福祉相談部
- S46-2 高度急性期病院における退院支援の工夫と視点
石川 泰延 千葉大学医学部附属病院
- S46-3 地域から見た病院の在宅チーム選定のリアル
～そこに連携はあるのか？介護支援専門員の立場から～
臼井 啓子 合同会社オフィスK

シンポジウム47 つなごう！心不全診療の病院-在宅連携

7月21日（日）14:20～15:50 第4会場「会議室301」

座長 梅野福太郎 四街道まごころクリニック
座長 岡田 将 千葉大学医学部附属病院 循環器内科

- S47-1 心不全患者への病院-在宅連携 看護師の立場から
患者のちょっとした変化に気づき、心不全悪化の早期発見と介入の重要性
湯浅めぐみ 千葉県循環器病センター
- S47-2 高齢心不全利用者への訪問看護師の支援内容と課題
尾崎 直子 訪問看護ステーションかがやき
- S47-3 病院-在宅連携による基幹病院としてのリハビリテーションの役割
小池 俊光 千葉大学医学部附属病院 リハビリテーション科
- S47-4 “したい暮らし”の実現に向けた病院との連携による在宅心臓リハビリテーションの実際
岡田 智恵 なごみの陽訪問看護ステーション

シンポジウム48 独居認知症患者の食支援

7月21日（日）14:20～15:50 第5会場「会議室302」

座長 中村 幸伸 つばさクリニック
座長 熊谷 琴美 愛知学院大学健康科学部

- S48-1 独居認知症患者の食支援～在宅医の立場から～
杉本 由佳 すぎもと在宅医療クリニック
- S48-2 独居認知症利用者の食支援 関係機関との連携 ～ケアマネジャーの立場から～
松井由美子 なごやかハウス希望ヶ丘
- S48-3 独居認知症高齢者の食支援
～地域包括支援センター看護師の視点から～
榎本 淳子 玉名市包括支援センター
- S48-4 訪問看護師による独居認知症患者の食支援の実際
高砂 裕子 （一社）南区医師会訪問看護ステーション

シンポジウム49 データに基づく在宅医療の臨床・経営・政策のススメ

7月21日（日）14:20～15:50 第6会場「会議室303」

座長 次橋 幸男 天理よろづ相談所病院 白川分院 在宅世話どりセンター
座長 猪原 健 猪原〔食べる〕総合歯科 医療クリニック

- S49-1 NDBからとらえた現在、これからのチーム在宅医療
孫 瑜 筑波大学医学医療系 地域医療教育学/ヘルスサービスリサーチ分野
- S49-2 NDBからみる歯科医療・口腔保健ニーズ
恒石美登里 （公社）日本歯科医師会 日本歯科総合研究機構
- S49-3 高齢福祉計画等のオープンデータを活用した診療所経営戦略
水上 直人 さつきホームクリニック

シンポジウム50 福祉用具貸与・販売の選択制

働

7月21日（日）14:20～15:50 第7会場「会議室304」

座長 服部万里子 服部メディカル研究所
座長 白木 裕子 株式会社フジケア

S50-1 問われる、福祉用具専門相談員の専門性

遠藤 勇樹 （株）アイランドケア モモ・トータルケアサービス

S50-2 中山 和也 東基 城南営業所

シンポジウム51 在宅腹膜透析で広がる可能性と希望

幸

7月21日（日）14:20～15:50 第9会場「会議室104」

座長 正木 浩哉 正木医院
座長 片岡今日子 日本財団在宅看護センターひまわり

S51-1 やってみよう！腹膜透析

～「その人らしく生きる」を支える訪問看護の役割～

片岡今日子 日本財団在宅看護センターひまわり

S51-2 腹膜透析導入病院の試み～様々な形の腹膜透析～

櫻田 勉 聖マリアンナ医科大学病院 腎臓・高血圧内科

S51-3 在宅での腹膜透析管理と緩和ケアの実践

楠本 拓生 楠本内科医院

S51-4 慢性腎臓病患者さんの希望と在宅透析の重要性

～自分らしく治療と暮らすために～

雁瀬 美佐 NPO法人 腎臓サポート協会

シンポジウム52 在宅医療の場で遭遇する「遺伝の問題」に気づき、逃げないために

幸

7月21日（日）14:20～15:50 第10会場「会議室105」

座長 安中 正和 安中外科・脳神経外科医院
座長 中山 優季 東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター

S52-1 遺伝子診断・治療と在宅医療の接点での課題と悩み

安中 正和 医療法人安中外科・脳神経外科医院

S52-2 遺伝性疾患に対する診断と治療の現状 2024

竹内 千仙 東京慈恵会医科大学附属病院遺伝診療部

S52-3 遺伝カウンセリングについて

佐々木元子 お茶の水女子大学大学院遺伝カウンセリングコース/領域

シンポジウム53 アジアのACPの制度と実際の取り組み

働

7月21日（日）16:00～17:30 第2会場「国際会議室」

座長 余 尚儒 台湾在宅医療学会
座長 森 雅紀 聖隷三方原病院

S53-1 Navigating End-of-Life Decision Making: The Role of ACP in Taiwan's Home Healthcare Landscape.

葉 依琳 Associate Professor. Department of Social Work. Tunghai University, Taiwan

- S53-2 **Advance Care Planning in Singapore; Conversations, Systems and Cultures**
 Raymond Ng Han Lip Palliative and Supportive Care Woodlands Health Campus/The Graduate
 Diploma of Palliative Medicine (National University of Singapore)/
 The National Advance Care Planning Steering Committee

- S53-3 **事前指示とACPIに関するわが国の現状と課題 論点整理の必要性**
 小川 朝生 国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科/国立がん研究センター 先端医療開発センター
 精神腫瘍学開発分野

シンポジウム54 Hospital at Homeの実現に向けた取り組み

幸

7月21日(日) 16:00~17:30 第3会場「会議室201」

座長 伊藤 大樹 あおばクリニック
 座長 弓野 大 医療法人社団ゆみの

- S54-1 伊藤 大樹 あおばクリニック
 S54-2 吉田 伸 飯塚病院 総合診療科/額田病院 総合診療科
 S54-3 近藤 敬太 豊田地域医療センター 総合診療科 在宅医療支援センター
 S54-4 David Levine Division of General Internal Medicine and Primary Care, Brigham and Women's Hospital
 S54-5 大内 啓 ハーバード大学メディカルスクール 救急部

シンポジウム55 慢性呼吸器疾患に対するやさしい、基礎からの包括的在宅ケア ~苦手と思わないで! こうすれば効果が感じられますよ~

繋

7月21日(日) 16:00~17:30 第4会場「会議室301」

座長 平松 哲夫 平松内科・呼吸器内科 小牧ぜんそく睡眠リハビリクリニック
 座長 田中 弥生 関東学院大学栄養学部管理栄養学科

- S55-1 **薬物療法 ~薬は効いていますか?~**
 吉澤 孝之 医療法人社団愛語会 要町病院
 S55-2 **2. 酸素 HFNC NPPV ~次の一手をどうしますか?~**
 新 智美 草加内科呼吸ケアクリニック 看護部
 S55-3 **呼吸リハビリテーション~どうしたら苦しくなく効果的に動けるか?~**
 平林 大輔 マリオス小林内科クリニックリハビリテーション科
 S55-4 **栄養ケア ~どうやって栄養を摂りましょうか?~**
 前田 玲 帯広中央病院栄養科

シンポジウム56 こうする! こうやる! 精神科×在宅医療

継

7月21日(日) 16:00~17:30 第5会場「会議室302」

座長 守上 佳樹 KISA2隊
 座長 山田 寿美 よしき往診クリニック

- S56-1 **在宅診療における精神科診療の実践**
 成本 迅 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学
 S56-2 **在宅医が動く 精神科× 在宅医療**
 平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所
 S56-3 **精神科専門医が動く精神科×在宅医療**
 内田 直樹 医療法人すすらん会たろうクリニック

S56-4 **メディカルコーディネーターが動く精神科×在宅医療**

柳澤 克哉 よしき往診クリニック

シンポジウム57 褥瘡予防のための寝たきりから自立への支援

幸

7月21日（日）16:00～17:30 第6会場「会議室303」

座長 塚田 邦夫 高岡駅南クリニック

座長 内藤亜由美 湘南医療大学保健医療学部看護学科

S57-1 **褥瘡発症は寝たきり対策が重要**

塚田 邦夫 高岡駅南クリニック

S57-2 **褥瘡予防と栄養と自立支援～たべる幸せへ～**

小川 豊美 株式会社とよみ

S57-3 **医療・介護の連携と病院・施設・在宅における移動・移乗・歩行に注目し、介護人材不足、要介護者増加、財政負担増大に対し新しい介護リフトの使い方を提案する。**

森島 勝美 株式会社モリトー

S57-4 **寝たきりから自立へ；人はなぜ生きているのか**

島川 弘美 笑顔の暮らしサポートオフィスとぅーり

シンポジウム58 在宅医療における特定行為研修の役割と今後について

継

7月21日（日）16:00～17:30 第7会場「会議室304」

座長 尾崎 章子 東北大学大学院医学系研究科老年・在宅看護学分野

S58-1 初村 恵 厚生労働省医政局看護課

S58-2 篠原かおる ピュア・ハート 訪問看護ステーション・青い空／看多機・マリーゴールド

S58-3 佐藤 文俊 ケアプロ在宅医療株式会社

S58-4 太田 秀樹 医療法人アスミス

S58-5 阿部 智子 株式会社けせら

ワークショップ

ワークショップ1 地域の実情に応じた在宅医療・介護連携とは ～成果と課題、今後の展望～

紡

7月20日（土）8:30～10:00 第5会場「会議室302」

座長 久保田健太郎 千葉市在宅医療・介護連携支援センター

座長 吉江 悟 Neighborhood Care

WS1-1 **「地域の実情」に応じた体制整備に何が必要か？**

三原 岳 ニッセイ基礎研究所

WS1-2 **船橋市における在宅医療・介護連携～これまでの取り組みと課題～**

佐々木ゆかり 一般社団法人 船橋市医師会 船橋市在宅医療支援拠点 ふなぼーと

WS1-3 **小規模自治体における在宅医療・介護連携の推進
～地域包括支援センターの立場から～**

平野 香 多古町保健福祉課

ワークショップ2

在宅医療介護関係者必見！明日から使える在宅医療データ分析入門：
エクセルを用いた身近なデータ・公開データの分析を学びましょう

7月20日（土）8:30～10:00 第9会場「会議室104」

座長 次橋 幸男 天理よろづ相談所病院 白川分院 在宅世話どりセンター
座長 猪原 健 猪原〔食べる〕総合歯科 医療クリニック

WS2-1 明日から使える在宅医療データ分析入門

次橋 幸男 天理よろづ相談所病院 白川分院 在宅世話どりセンター

ファシリテーター 次橋 幸男 公益財団法人天理よろづ相談所 企画情報室／白川分院在宅世話どりセンター

ファシリテーター 猪原 健 猪原〔食べる〕総合歯科 医療クリニック 院長（歯科医師）

ファシリテーター 前田 浩幸 猪原〔食べる〕総合歯科 医療クリニック 医療情報技師

ファシリテーター 水上 直人 医療法人賛永会さつきホームクリニック 統括マネジャー

ファシリテーター 村口 正樹 株式会社グランシエル 経営顧問

ワークショップ3

在宅における看取り時の立ち居振る舞いについて考えませんか？

7月20日（土）8:30～10:00 第10会場「会議室105」

座長 大屋 清文 ピースホームケアクリニック京都

ファシリテーター 上林 五月 市立大津市民病院 在宅診療センター

ファシリテーター 田畑 幸利 徳之島徳洲会病院 訪問看護事業所

ファシリテーター 采野 優 京都大学大学院 医学研究科 腫瘍内科学講座

ファシリテーター 田上 恵太 悠翔会くらしケアクリニック練馬

ファシリテーター 中西 貴大 ファミリーケアクリニック吉祥寺

ファシリテーター 大森 崇史 福岡ハートネット病院

ファシリテーター 松本 朋樹 松本内科・眼科

ファシリテーター 岡本宗一郎 うぐいす在宅診療所

ワークショップ4

多世代の価値観を理解し、世代間の架け橋となるには

7月20日（土）13:10～14:40 第4会場「会議室301」

座長・ファシリテーター 江口幸士郎 今立内科クリニック

座長・ファシリテーター 日下部明彦 横浜市立大学 総合診療医学

座長・ファシリテーター 洪 英在 東員病院

次世代委員会メンバーとその仲間

ワークショップ5

The “もしバナ” サーカス！ ～もしバナゲーム™体験と対話のスペース～

7月20日（土）13:10～14:40 第10会場「会議室105」

座長 荒金 英樹 愛生会山科病院

座長 大森 泉 クローバースマイル訪問看護ステーション

WS5-1 もしバナゲーム体験 - 喪失への没入と対話が接続する未来 -

大川 薫 亀田総合病院

WS5-2 MM（もしバナマイスター）として考えること

津野 采子 ハート介護サービス東住吉

ファシリテーター 蔵本 浩一 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 疼痛緩和ケア科

ファシリテーター 堤 俊太 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 救命救急科

ワークショップ6 倫理・利益相反委員会企画

繋

「自分の周りに臨床倫理コンサルテーションを開設しよう Vol.2」

7月20日（土）13:10～14:40 第11会場「会議室102A」

座長 三浦 靖彦 岩手保健医療大学 看護学部

座長 植竹 日奈 NPO法人ケ・セラ

三浦 靖彦 岩手保健医療大学

中村ゆかり 調布東山病院

長尾 式子 北里大学看護学部

ファシリテーター 三浦 靖彦 岩手保健医療大学

ファシリテーター 植竹 日奈 NPO法人ケ・セラ

ファシリテーター 今村 昌幹 めちぐすい診療所

ファシリテーター 門田耕一郎 重工記念長崎病院 総合診療科

ファシリテーター 白髭 豊 白髭内科医院

ファシリテーター 大橋 英司 大橋内科胃腸科

ワークショップ7 千葉県介護支援専門員協議会 災害対策委員会企画

繋

緊急企画：被災地からの生の声

BCPは活かされたのか？能登半島地震の実情を踏まえて、私たちが今できること、実務の点検

7月20日（土）14:50～16:20 第7会場「会議室304」

講師 水上 直彦 特別養護老人ホームこすもす 施設長／石川県介護支援専門員協議会 副会長

千葉県介護支援専門員協議会 災害対策委員

ワークショップ8 症例から学ぶ小児がんと看取り

楽

7月20日（土）14:50～16:20 第9会場「会議室104」

座長 市橋 亮一 総合在宅医療クリニック 名駅

座長 大隅 朋生 子ども在宅クリニックあおぞら診療所せたがや

紅谷 浩之 医療法人社団オレンジ

宮本 雄気 医療法人双樹会 よしき往診クリニック

ワークショップ9 看取りケア研修会 ～看取りは怖くない～

繋

7月20日（土）14:50～16:20 第10会場「会議室105」

座長 安藤 仁子 向日葵ナースステーション／NPO法人やちけあ

座長 地曳 典恵 東京医科大学八千代医療センター 乳腺外科・内分泌外科

ファシリテーター 富川由美子 東京女子医科大学八千代医療センター 患者支援センター（医療福祉相談）・NPO法人やちけあ

ファシリテーター 中村 明澄 医療法人社団澄乃会 向日葵クリニック・NPO法人やちけあ

ワークショップ10 倫理的検討法の紹介と事例検討(神奈川臨床倫理カンファレンス)

含

7月20日(土) 14:50~16:20 第11会場「会議室102A」

座長 竹下 啓 東海大学医学部医療倫理学領域
座長 長尾 式子 北里大学看護学部

WS10-1 金城謙太郎 金城医院／帝京大学大学院公衆衛生学研究科

ワークショップ11 多職種で実践するACP

働

7月20日(土) 16:30~18:00 第6会場「会議室303」

座長 片山 陽子 香川県立保健医療大学

モデレーター 西川 満則 社会福祉法人愛光園老人保健施設相生施設長

ワークショップ12 90分でスピード開発！医療×テクノロジーの扉を開く体験講座(要PC)

継

7月20日(土) 16:30~18:00 第9会場「会議室104」

座長 門田耕一郎 重工記念長崎病院 総合診療科
座長 水上 直人 さつきホームクリニック

WS12-1 90分でスピード開発！医療×テクノロジーの扉を開く体験講座(要PC)

林 千秋 ものづくり医療センター／足立慶友整形外科

ファシリテーター 北城 雅照 ものづくり医療センター 医院長

ファシリテーター 木村 翔一 福岡歯科大学総合医学講座耳鼻咽喉科学分野

ファシリテーター 植田 由依 国際医療福祉大学成田病院小児科

ファシリテーター 伊藤 天大 医療法人賛永会 さつきホームクリニック

ファシリテーター 内田 直樹 医療法人すずらん会 たろうクリニック

ワークショップ13 よりよい医療・介護連携を考える ～病院SW/退院支援看護師・ケアマネジャーあつまれ！！～

繋

7月20日(土) 16:30~18:00 第10会場「会議室105」

座長 花井亜紀子 国立精神・神経医療研究センター病院 医療連携福祉相談部

WS13-1 医療と介護は別物か？

村上 佳代 社会医療法人 生長会 ベルピアノ病院 地域連携・在宅療養支援センター

WS13-2 何のために連携するのか ～急性期病院ソーシャルワーカーの立場から～

小笠原 太 独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 医療福祉相談室

WS13-3 ケアマネジャーが苦手とする医療との連携を考える

岸 純子 いきいき小平わくわく介護相談室

WS13-4 よりよい医療・介護連携を考える

加藤 俊光 ケアプラン夢／吉野内科・神経内科医院

ファシリテーター 清水 政克 医療法人社団 清水メディカルクリニック

ファシリテーター 米本 千春 堺市立総合医療センター 患者支援センター

【ワークショップ14】在宅医療×医療人類学 症例検討会

7月20日（土）16:30～18:00 第11会場「会議室102A」

座長 井口真紀子 祐ホームクリニック大崎

事例提供者 間所 俊介 祐ホームクリニック吾妻橋

ファシリテーター 照山 絢子 筑波大学

ファシリテーター 堀口佐知子 テンプル大学ジャパンキャンパス

ファシリテーター 倉田 誠 東京医科大学医学部医学科

ファシリテーター 濱 雄亮 東京交通短期大学 運輸科

ファシリテーター 大戸 朋子 東京医科大学

ファシリテーター 奥 知久 おく内科・在宅クリニック

ファシリテーター 密山 要用 総合在宅医療クリニックみの

ファシリテーター 鈴木佳奈子 4UrSMILE

ファシリテーター 川口 篤也 函館稜北病院

ファシリテーター 平田 節子 総合在宅医療クリニック

【ワークショップ15】職種別ミーティング ～顔見知りになって、日ごろの悩みを相談しよう～

7月21日（日）8:00～9:30 第11会場「会議室102A」

座長 望月 弘彦 相模女子大学 栄養科学部 管理栄養学会

座長 鶴岡 優子 つるかめ診療所

1. 医師・その他

ファシリテーター 望月 弘彦 相模女子大学 栄養科学部 管理栄養学会

ファシリテーター 鶴岡 優子 つるかめ診療所

2. 歯科関連

ファシリテーター 小島 香 こじまデンタルクリニック

ファシリテーター 篠原 弓月 全国在宅療養支援歯科診療所連絡会理事／口腔栄養サポートチーム レインボー

3. 看護師

ファシリテーター 平原 優美 日本訪問看護財団

ファシリテーター 吉田 千文 前聖路加国際大学

4. 薬剤師

ファシリテーター 串田 一樹 昭和薬科大学

ファシリテーター 宇都宮励子 一般社団法人大阪ファルマプラン

5. 管理栄養士

ファシリテーター 塩野崎淳子 むらた日帰り外科手術WOCクリニック

ファシリテーター 熊谷 琴美 愛知学院大学 心身科学部 健康栄養学科

6. リハビリ療法士

ファシリテーター 安部 能成 医療法人心の郷グループ 穂波の郷クリニック

ファシリテーター 染谷 明子 富山医療生活協同組合 本部

7. ケアマネ・MSW・介護職

ファシリテーター 上村久美子 医療法人橘会 居宅介護支援事業所万年青

ファシリテーター 臼井 啓子 オフィスK

8. 臨床検査技師・臨床工学技士・事務職

ファシリテーター 宮下 勉 杏クリニック

ファシリテーター 水上 直人 さつきホームクリニック

ワークショップ16 玄関からの気づき ～玄関診断学のすすめ～

含

7月21日(日) 9:40～10:40 第10会場「会議室105」

座長 角 允博 ふれあいファミリークリニック

座長 宇藤 直人 健生クリニック

ワークショップ17 マンガとイラストで考えるACP

楽

7月21日(日) 9:40～10:40 第11会場「会議室102A」

座長 堀場 恵子 元・まちの診療所つるがおか

WS17-1 小林 由美 株式会社カムカム

ワークショップ18 病院から在宅・施設への栄養情報提供

繋

7月21日(日) 12:40～14:10 第10会場「会議室105」

座長 丸山 道生 田無病院

座長 塩野崎淳子 訪問栄養サポートセンター仙台

WS18-1 在宅栄養管理における情報連携の現状と課題

岡田 晋吾 北美原クリニック

WS18-2 在宅療養を支える栄養・口腔の情報共有の重要性

菊谷 武 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

WS18-3 栄養情報は病院と在宅を繋ぐ鍵

高橋 瑞保 合同会社訪問栄養ステーションえん

WS18-4 病院から在宅・施設への栄養情報連携の取組みと推進

田中 弥生 関東学院大学

ワークショップ19 ゼロからの在宅医療 ～みんなでつくるround-table conference～

継

7月21日(日) 14:20～15:50 第11会場「会議室102A」

ファシリテーター代表 西郡 棕也 大分県立病院

ファシリテーター代表 田中 宏昌 北里大学病院

ファシリテーター代表 松岡 沙耶 国際医療福祉大学医学科4年

ファシリテーター代表 橋本 康史 国立病院機構 長崎医療センター

ファシリテーター 長澤 岳 北里大学医学部

ファシリテーター 長谷川みゆ 北里大学医学部

ファシリテーター 添田良々華 北里大学医学部

ファシリテーター 米谷 僚子 滋賀医科大学医学部附属病院 初期研修医

ワークショップ20 在宅医療・ケア提供機関のBCP～シミュレーション訓練をやってみよう！～

継

7月21日（日）16:00～17:30 第9会場「会議室104」

座長 山岸 暁美 慶應義塾大学 医学部 衛生学公衆衛生学教室／コミュニティヘルス研究機構
座長 古屋 聡 山梨市立牧丘病院

- WS20-1 山岸 暁美 慶應義塾大学医学部衛生学 公衆衛生学教室／コミュニティヘルス研究機構／
Disaster Community-Care Assistance Team (DC-CAT)
- WS20-2 古屋 聡 牧丘病院
- WS20-3 坪井 基浩 さいたま赤十字病院 高度救命救急センター／東北大学災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野

ワークショップ21 地域医療に貢献する栄養ケアの質の向上を目指して ～予防から始まる療養者と家族や多職種らと共にする笑い、泣きながらの実践～

幸

7月21日（日）16:00～17:30 第10会場「会議室105」

座長 山中 崇 東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座
座長 宇都宮励子 大阪ファルマプラン

- WS21-1 頼りにされる地域活動の取り組みの紹介～薬局から～
根本ひろ美 ねもと薬局グループ
- WS21-2 地域医療を支える訪問看護師の栄養ケア
清水奈穂美 佛教大学保健医療技術学部看護学科
- WS21-3 管理栄養士の地域医療に根差した予防から在宅医療の場までシームレスにつなげる活動について
川口美喜子 札幌保健医療大学／大妻女子大学

ワークショップ22 NANIMONになりたい？～医師のキャリアカードゲーム・キャリアチャート体験 を通じて16パターンのキャリアから在宅医の先のキャリアを考えよう～

含

7月21日（日）16:00～17:30 第11会場「会議室102A」

座長 田上 佑輔 医療法人社団やまと
座長 林 祥史 北原国際病院
座長 鹿角 契 中外製薬株式会社

ファシリテーター 川越 美咲 医療法人社団やまと

ファシリテーター 菊地 玲 医療法人社団やまと

ハンズオンセミナー

ハンズオンセミナー1 日本ポイントオブケア超音波学会合同企画

紡

在宅エコー「いろはにほへと」ハンズオンセミナー

7月20日（土）8:30～10:00 第12会場「会議室202」

座長 井上 淑恵 悠翔会 在宅クリニック品川
座長 古屋 聡 山梨市立牧丘病院

- HS1-1 在宅エコー「いろはにほへと」ハンズオンセミナー
～日本ポイントオブケア超音波学会合同企画～
植村 和平 奥尻町国民健康保険病院 総合診療科
- HS1-2 宮本 雄気 医療法人双樹会よしき往診クリニック・京都府立医科大学 救急医療学教室

ハンズオンセミナー2 日本ポイントオブケア超音波学会合同企画

【繋】

みんなと一歩差をつけるっ！多職種向けPOCUSハンズオンセミナー

7月20日（土）10:10～11:40 第12会場「会議室202」

座長 井上 淑恵 悠翔会 在宅クリニック品川
座長 古屋 聡 山梨市立牧丘病院

HS2-1 みんなと一歩差をつけるっ！多職種向けPOCUSハンズオンセミナー
～日本ポイントオブケア超音波学会合同企画～

植村 和平 奥尻町国民健康保険病院 総合診療科

HS2-2 宮本 雄気 医療法人双樹会よしき往診クリニック・京都府立医科大学 救急医療学教室

ハンズオンセミナー3 在宅RESCUEコース ～在宅に関わる医療介護専門職のためのシミュレーションコース～

【繋】

7月20日（土）13:10～15:10 第12会場「会議室202」

座長 宮本 雄気 よしき往診クリニック／京都府立医科大学 救急医療学教室

HS3-1 村上 成美 医療法人社団都会 渡辺西賀茂診療所

交流集会

交流集会1 在宅MSW交流会

【繋】

7月20日（土）15:20～16:20 第12会場「会議室202」

座長 西出 真悟 オレンジホームケアクリニック

EM1-1 岡江 晃児 在宅医療ソーシャルワーカー盛り上げ隊 副隊長・事務局

交流集会2 在宅医療インテグレーター養成講座受講後の活動についてみんなで語ろう！！

【紡】

7月20日（土）16:30～18:00 第12会場「会議室202」

司会 上田まゆら 医療法人社団 青い鳥会

司会 佐藤 杏 成育医療研究センター

交流集会3 診療同行看護師の集い～診療同行看護師ってなんだろう？を語ろう

【含】

7月21日（日）8:00～9:20 第12会場「会議室202」

座長 手渡 和子 独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター

座長 湊 由美香 四街道まごころクリニック

交流集会4 看看連携を考えるケース検討会 ～地域包括支援センターが中心となって 在宅療養を支えた事例を手掛かりに～

【繋】

7月21日（日）9:40～10:40 第12会場「会議室202」

座長 中野 敦史 千葉市立青葉病院

座長 吉田 千文 前聖路加国際大学

EM4-1 宮腰 彩乃 千葉市あんしんケアセンター幕張

EM4-2 佐藤 富子 元まくり訪問看護ステーション

ファシリテーター 千葉市の看看連携を考える会 中心となっているメンバー

吉田 千文	前聖路加国際大学
中野 敦史	千葉市立青葉病院
山崎 潤子	緑が丘訪問看護ステーション
症司美佐子	宮野木訪問看護ステーション
奥村恵美子	最成病院
島村 敦子	東邦大学健康科学部
菅谷 綾子	東邦大学健康科学部
雑賀 真紀	さいが居宅介護支援事業所
南山千佳子	井上記念病院訪問看護ステーション
野崎 満巳	あいず訪問看護ステーション
吉田 愛子	Contrea株式会社
清水真之介	OA総研
臼井 智子	千葉大学

交流集会5 在支診薬剤師という働き方

紡

7月21日（日）16:30～17:30 第12会場「会議室202」

座長 串田 一樹 昭和薬科大学

EM5-1	餅原 弘樹	医療法人社団いぶきの森 のぞみの花クリニック
EM5-2	大須賀悠子	医療法人社団フィーカ
EM5-3	佐久間詠理	医療法人社団淳友会 わたホームクリニック
EM5-4	天川 雅彦	緩和ケア診療所・いっぽ 連携室

指導医大会

指導医大会

継

7月21日（日）8:00～9:30 第10会場「会議室105」

座長 開田 脩平 みらい在宅クリニック
座長 竹田 亮平 東戸塚みどり在宅クリニック

AD-1	在宅医療研修プログラムに人を集めるコツとその運営について		
	近藤 敬太	豊田地域医療センター 総合診療科	在宅医療支援センター長／藤田医科大学 連携地域医療学
	千田 修平	豊田地域医療センター 総合診療科	

在宅NPWT認定教育制度 OSCEハンズオン講習会

在宅NPWT認定教育制度 OSCEハンズオン講習会

繋

7月21日（日）13:00～16:00 第12会場「会議室202」

座長 木下 幹雄 TOWN訪問診療所

木下 幹雄	医療法人社団心愛会 TOWN訪問診療所
栗原 健	くりはら皮フ形成外科

内藤亜由美 湘南医療大学保健医療学部看護学科
間宮 直子 大阪府済生会吹田病院

スポンサードシンポジウム

スポンサードシンポジウム1

笹川保健財団の在宅看護支援
～日本財団在宅看護センターネットワーク10年の経過から～

幸

7月20日（土）8:30～10:00 第4会場「会議室301」

座長 喜多 悦子 笹川保健財団

座長 沼崎美津子 一般財団法人脳神経疾患研究所／看護小規模多機能型居宅介護事業所（共生型）在宅看護センター
結の学校／南東北福島訪問看護センター結

- | | | | |
|-------|-------|--------------------|---------|
| SS1-1 | 馬場美代子 | 看護小規模多機能型居宅介護 | びりーぶ |
| SS1-2 | 丸山美智子 | 幹はうす | |
| SS1-3 | 磯野 祐子 | 地域まるごとケアステーション川崎 | |
| SS1-4 | 小六真千子 | 訪問看護・リハビリテーションセンター | ななかまど中央 |
| SS1-5 | 儀間真由美 | 在宅看護センターはなはな | |
| SS1-6 | 赤瀬 佳代 | 訪問看護ステーション晴 | |
| 指定発言 | 石原 美和 | 神奈川県立保健福祉大学 | |

共催：笹川保健財団

スポンサードシンポジウム2

Nursing Skillで変わる!! 患者様の人生
ーシームレスなより良いナーシングで患者様のwell-beingを支援しようー

7月20日（土）13:10～14:40 第2会場「国際会議室」

座長 武知由佳子 いきいきクリニック 理事長・院長

座長 竹川 幸恵 大阪はびきの医療センター 慢性疾患看護専門看護師

- | | | |
|-------|---------------------------------------|-----------------------------|
| SS2-1 | 明日から生かせる！呼吸の観察とアセスメント～見方が分かれば、ケアが変わる！ | |
| | 鬼塚真紀子 | 大阪はびきの医療センター 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 |
| SS2-2 | 息切れとともに暮らすことにどう関わるか | |
| | 今戸美奈子 | 高槻赤十字病院 慢性疾患看護専門看護師 |
| SS2-3 | 病棟・在宅とともに紡ぐ看護外来のあり方 | |
| | 渡部 妙子 | 大阪はびきの医療センター 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 |
| SS2-4 | アドバンス・ケア・プランニングの道しるべ～シームレスな支援を目指して～ | |
| | 竹川 幸恵 | 大阪はびきの医療センター 慢性疾患看護専門看護師 |

共催：株式会社星医療酸器

スポンサードシンポジウム3

患者安全へ紡ぐ希望の光になるか？
～経鼻栄養チューブ誤挿入による医療事故ゼロを目指した「生体透過光」による位置確認～

7月20日（土）14:50～16:20 第3会場「会議室201」

座長 鈴木 裕 国際医療福祉大学
座長 中島 朋子 東久留米白十字訪問看護ステーション

- SS3-1 タムガイド（生体透過光を用いた新規経鼻胃管留置確認デバイス）で在宅での胃管留置をより安全に
～有用性と使用Point～
高橋 潤次 国際医療福祉大学
- SS3-2 在宅領域における経鼻栄養チューブの位置確認方法について
泰川 恵吾 医療法人 鳥伝白川会 ドクターゴン診療所
- SS3-3 小児在宅患者へのタムガイドの使用経験
松本 務 あおぞら診療所高知潮江
- SS3-4 タムガイドを使用した経鼻経管栄養チューブ挿入の有効性に関する調査
井口 朋子 富家病院 看護部長

共催：株式会社大塚製薬工場

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー1

患者満足度の最大化を目指したボツリヌス療法

7月20日（土）12:00～13:00 第1会場「コンベンションホールB」

座長 石垣 泰則 医療法人社団悠輝会 コーラルクリニック 院長

- LS1-1 在宅におけるボツリヌス療法について
石垣 泰則 医療法人社団悠輝会 コーラルクリニック 院長
- LS1-2 在宅におけるボツリヌス療法を用いた痙攣治療の実際
藤原 俊之 順天堂大学大学院医学研究科 リハビリテーション医学 主任教授

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

ランチョンセミナー2

変わり始めた神経免疫疾患の治療とケア

7月20日（土）12:00～13:00 第2会場「国際会議室」

座長 荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部 医学教育統括センター 教授
国際医療福祉大学医学部 脳神経内科学 教授

- LS2-1 新薬登場で変わった神経難病の治療：MG/NMOSDを中心に
横山 和正 東静岡神経センター 院長
- LS2-2 神経難病患者を対象とした看護外来の設置と有用性
～MS/NMOSD患者との関わりから～
西山 和子 医療法人セレス さっぽろ神経内科病院 理事

共催：アレクシオンファーマ合同会社 メディカルアフェアーズ本部

ランチョンセミナー3

7月20日(土) 12:00～13:00 第3会場「会議室201」

座長 吉澤 孝之 医療法人社団愛語会 要町病院 院長

LS3-1 在宅ケアに役立つ呼吸リハビリテーションーその心得と基本手技ー

千住 秀明 びわこリハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部 学部長・教授

共催：帝人ヘルスケア株式会社

ランチョンセミナー4 在宅医療におけるCOVID-19ワクチンのこれから

7月20日(土) 12:00～13:00 第4会場「会議室301」

座長 蘆野 吉和 山形県庄内保健所 所長

LS4-1 COVID-19ワクチンの最新情報

池松 秀之 日本臨床内科医会インフルエンザ研究班 リサーチディレクター
株式会社リチエルカクリニカ 代表取締役

LS4-2 高齢者に求められるワクチン接種 感染症に強い地域社会を目指して

高山 義浩 沖縄県立中部病院 感染症内科・地域ケア科 副部長

共催：ファイザー株式会社 メディカルアフェアーズ

ランチョンセミナー5 高齢者の皮膚疾患

7月20日(土) 12:00～13:00 第5会場「会議室302」

座長 秋下 雅弘 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター センター長

LS5-1 高齢者の帯状疱疹～治療のポイントと注意点について

白濱 茂穂 聖隷三方原病院 社福 皮膚科

LS5-2 地域の中の医療のためにできること

根本利恵子 日南市立中部病院 皮膚科 皮膚科医長

共催：マルホ株式会社

ランチョンセミナー6 在宅医療における医療DXの取組

7月20日(土) 12:00～13:00 第6会場「会議室303」

座長 高瀬 義昌 医療法人社団至高会 たかせクリニック 院長

LS6-1 港北ニュータウン診療所で行っている医療DXへの取組

神山 一行 医療法人社団神星会 港北ニュータウン診療所 院長

共催：株式会社ネエチア

ランチョンセミナー7 在宅医療における腹膜透析でのリモートマネジメントの活用

7月20日(土) 12:00～13:00 第7会場「会議室304」

座長 河原崎宏雄 帝京大学医学部附属溝口病院 第4内科 准教授

LS7-1 「最期まで在宅！」を叶える腹膜透析と連携のコツ

岡 英明 松山赤十字病院 腎臓内科 部長

LS7-2 「最期まで自分らしく住み慣れた場所で生きたい」透析患者の思いに添う在宅療養を支える看護

片岡 美和 衣山クリニック 在宅療養支援室 主任

共催：株式会社ヴァンティブ

ランチョンセミナー8

7月20日（土）12:00～13:00 第8会場「会議室103」

座長 原 正樹 医療法人社団東京透析フロンティア 理事長

LS8-1 在宅血液透析の推進～どこで治療するかを選ぶ時代～

政金 生人 医療法人社団清永会 矢吹病院 院長

共催：日機装株式会社

ランチョンセミナー9

7月20日（土）12:00～13:00 第9会場「会議室104」

座長 吉澤 明孝 医療法人社団愛語会 要町病院 副院長／要町ホームケアクリニック 院長

LS9-1 在宅医療における高齢者・認知症患者の不眠や精神症状にはまず漢方薬を

田上 真次 医療法人社団澄鈴会 箕面神経サナトリウム 院長

大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 招聘教授

共催：株式会社ツムラ

ランチョンセミナー10

7月20日（土）12:00～13:00 第10会場「会議室105」

座長 戸田 剛 医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所うえの 院長

LS10-1 在宅筋ジストロフィー患者の非侵襲的人工呼吸療法

高橋 俊明 仙台西多賀病院 脳神経内科 内科系診療部長

共催：株式会社フィリップス・ジャパン

ランチョンセミナー11

取り入れたい！褥瘡治療への局所陰圧閉鎖療法(NPWT)
～適応症例と認定教育制度のご案内～

7月21日（日）11:30～12:30 第1会場「コンベンションホールB」

座長 木下 幹雄 TOWN訪問診療所 理事長

LS11-1 在宅NPWTへの期待と課題

栗原 健 くりはら皮フ形成外科 院長

LS11-2 看護者・介護者に伝えたいNPWTケアのポイント

間宮 直子 大阪府済生会吹田病院 副看護部長 皮膚・排泄ケア特定認定看護師

共催：スミス・アンド・ネフュー株式会社

ランチョンセミナー12

7月21日（日）11:30～12:30 第3会場「会議室201」

座長 吉野 英 医療法人社団芳英会 吉野内科・神経内科医院 院長

LS12-1 これだけは知っておきたい 在宅人工呼吸ケア

武知由佳子 医療法人社団愛友会 いきいきクリニック 院長

共催：チェスト株式会社

ランチョンセミナー13 水あめの浸透圧を応用した新しい創傷被覆材 ～ATKパッド～

7月21日（日）11:30～12:30 第4会場「会議室301」

座長 小原 道子 帝京平成大学 薬学部 薬学科 教授

LS13-1 新しい浸透圧吸水性創傷被覆材～ATKパッドの創傷への使用と有効性

水原 章浩 医療法人三和会 東鷺宮病院 院長

共催：オカモト株式会社

ランチョンセミナー14 糖尿病患者の注射療法に関する感染マネジメントバンドル2024

7月21日（日）11:30～12:30 第5会場「会議室302」

座長 三嶋 廣繁 愛知医科大学医学部 臨床感染症学講座 教授

LS14-1 最新の糖尿病治療の動向

田中 永昭 国家公務員共済組合連合 枚方公済病院 内分泌代謝内科 部長

LS14-2 糖尿病治療における針刺し・切創について

國島 広之 聖マリアンナ医科大学 感染症学講座 教授

LS14-3 糖尿病患者の注射療法に関する感染マネジメントバンドル2024 病院・診療所版

松島 由実 社会医療法人畿内会 岡波総合病院 看護部 看護部長

LS14-4 糖尿病患者の注射療法に関する感染マネジメントバンドル2024 高齢者・介護福祉施設、在宅版

佐川 京子 山口県厚生農業協同組合連合会 周東総合病院 地域医療福祉連携室 室長

共催：エムベクタ合同会社

ランチョンセミナー15

7月21日（日）11:30～12:30 第6会場「会議室303」

座長 吉澤 孝之 要町病院 院長

LS15-1 高齢者の不眠に対する治療戦略

—高齢者の安全な薬物療法ガイドラインの改訂を踏まえて—

水上 勝義 筑波大学人間総合科学学術院 教授

共催：エーザイ株式会社

ランチョンセミナー16 ライソゾーム病の酵素補充療法

7月21日（日）11:30～12:30 第7会場「会議室304」

座長 奥山 虎之 埼玉医科大学 ゲノム医療科 希少疾患ゲノム医療推進講座 特任教授

LS16-1 ライソゾーム病における在宅酵素補充療法マニュアルの現状

山川 裕之 慶應義塾大学医学部 予防医療センター／循環器内科 専任講師

LS16-2 在宅酵素補充療法診療の実際～ムコ多糖症Ⅱ型の1例～

澤田 浩武 宮崎大学医学部附属病院 小児科

共催：サノフィ株式会社

ランチョンセミナー17 MG治療におけるあたらしい選択肢、治療の多様性

7月21日(日) 11:30~12:30 第8会場「会議室103」

座長 石垣 泰則 医療法人社団悠輝会 コーラルクリニック 院長

LS17-1 神経疾患の在宅医療とクリニック診療

川口 直樹 脳神経内科千葉 同和会神経研究所 所長

LS17-2 分子標的薬からみた神経難病における2025年問題 ~重症筋無力症の場合~

尾上 祐行 獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経内科 准教授

共催：ユーシービージャパン株式会社

ランチョンセミナー18

7月21日(日) 11:30~12:30 第9会場「会議室104」

座長 弓野 大 医療法人社団ゆみの ゆみのハートクリニック 理事長・統括院長

LS18-1 離島から発信する在宅POCUSのいろはにほへと

~AI技術を活用して開発されたKOSMOSと、これからの心不全管理~

植村 和平 奥尻町国民健康保険病院 医長

共催：カーディナルヘルス株式会社

ランチョンセミナー19

7月21日(日) 11:30~12:30 第10会場「会議室105」

座長 荻野美恵子 国際医療福祉大学市川病院 脳神経内科部長 神経難病センター長

LS19-1 パーキンソン病の在宅医療

織茂 智之 上用賀世田谷通りクリニック 院長

共催：アッヴィ合同会社

一般演題(口演)

一般演題(口演)1

優秀演題

7月20日(土) 8:30~9:30 第8会場「会議室103」

座長 三浦 久幸 国立長寿医療研究センター

座長 飯島 勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構

O-1-1 訪問診療導入患者における終末期の療養希望場所に関する意思決定能力について

野々垣 禅 JA愛知厚生連 海南病院 老年内科

O-1-2 在宅患者の救急受診をより正確に予測する

大野 孝生 みどり訪問クリニック

O-1-3 全国の在宅医療に関わる心不全療養指導士ネットワークの設立 ~地域から心不全パンデミックを抑えるための活動の一步~

白川 大樹 訪問看護ステーション立花畑

O-1-4 経鼻胃管先端位置確認システム(タムガイド)の特徴と適応、使用上の注意点

安藤 美晴 倉敷北病院 看護部/バード訪問看護ステーション

O-1-5 小児の非がん疾患の在宅看取りの検討

水谷 亮 さいわいこどもクリニック 在宅診療部

O-1-6 当薬局における特定保健医療材料の乖離率調査

二村 直行 クルミ薬局2号店

一般演題(口演)2

準優秀演題

7月20日(土) 9:35~10:05 第8会場「会議室103」

座長 三浦 久幸 国立長寿医療研究センター

座長 飯島 勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構

O-1-7 在宅医療クリニック病床運営における医療型短期入所導入の有用性

志田原智広 医療法人ゆうの森 たんぽぽクリニック

O-1-8 「身寄りのない人の権利擁護支援に関するガイドライン ~地域でくらすための入所・入院時等のそなえ~」
~支援関係者へ活用のための研修について~

近藤 芳江 APLE(株) 居宅介護支援ハートサービス近藤/名古屋市介護サービス事業者連絡研究会

O-1-9 当院における神経難病患者のレスパイト入院の実態について

太田 泰介 医療法人葡萄の木ぶどうの木クリニック

一般演題(口演)3

医療安全・リスクマネジメント

7月20日(土) 10:10~10:50 第8会場「会議室103」

座長 水木麻衣子 東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座

O-1-10 在宅医療における注射製剤とPCAポンプに関するインシデント実態調査

石川 彩夏 国立がん研究センター中央病院 緩和医療科

O-1-11 在宅血液透析を安全に運用するための取り組み

中釜 祥吾 医療法人社団 東京透析フロンティア 臨床工学部

O-1-12 在宅医療感染サーベイランス~悠翔会19クリニックにおける2022年調査報告~

池邊 太一 悠翔会在宅クリニック春日部/医療法人社団悠翔会

一般演題(口演)4

医療・ケアの質・評価

7月20日(土) 10:55~11:35 第8会場「会議室103」

座長 山中 崇 東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座

O-1-14 非がん高齢在宅患者に対する急性期病院におけるレスパイト入院利用と患者生存期間、在宅療養期間との関係：
後ろ向き観察研究

後藤 友子 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター病院

O-1-15 患者経験価値(PX)を用いた在宅医療の質の地域間比較

岩谷 健志 縁・在宅クリニック

O-1-16 柏市における在宅医療の質の評価~本人と家族の意向に沿った多職種連携の推進の実現に向けて~

松倉 聡 柏市医師会/おおたかの森病院

O-1-17 在宅医療の質指標を経時的に示すことでの診療マネジメントへの影響

石井 洋介 医療法人社団うちの診療所

一般演題(口演)5

ICT・事業所運営・経営

7月20日(土) 13:10～13:50 第8会場「会議室103」

座長 中村 幸伸 つばさクリニック岡山

- O-1-18 在宅医療におけるオンライン診療の当院実績と活用法の考察
真船 太一 医療法人社団 平郁会 みんなの日立クリニック
- O-1-19 検査画像サポートソリューションを在宅診療に利用した運用効果
～在宅と画像診断が繋がるクラウド型連携システムへの工夫～
小野寺 敦 (医) 一心会 初富保健病院
- O-1-20 訪問看護認定看護師の視点から担った地域に根差した訪問診療クリニック運営・経営管理の活動報告
～運営計画書を主軸とした組織運営～
須田 敏枝 医療法人結 結ファミリークリニック
- O-1-21 オンライン診療現場におけるPOCUS活用のための概念実証
千葉 裕 桔梗ヶ原病院

一般演題(口演)6

多職種連携

7月20日(土) 13:55～14:45 第8会場「会議室103」

座長 駒田 雄一 駒田医院

- O-1-22 「食べる」を支えるために医科と歯科、管理栄養士との連携
遠藤 光史 メディケアクリニック石神井公園／東京医科大学病院緩和医療部
- O-1-23 支援者への拒否の強い認知症患者を支える多職種連携における看護の役割
大町 直子 東神戸訪問看護ステーションあじさい
- O-1-24 地域で腹膜透析患者を支えるための課題の検討～多職種へのアンケート調査より～
塚田三佐緒 医療法人社団 豊済会 下落合クリニック
- O-1-25 訪問看護ステーションにおけるスマートフォンタッチメント型医療機器「Smart Eye Camera」を使用した
眼科との遠隔連携
三浦 翔 医療法人 慶眼会 横浜けいあい眼科 和田町院／森重訪問看護ステーション
- O-1-26 ポストコロナ時代に向けた地域包括ケアシステムの機能強化に関する検討
～新型コロナウイルス感染症の遷延下の多職種の連携・協働をもとに～
畑 吉節未 関西国際大学

一般演題(口演)7

保険制度・医療制度

7月20日(土) 14:50～15:30 第8会場「会議室103」

座長 田城 孝雄 放送大学大学院

- O-1-27 当院訪問診療における無料低額診療事業の取り組み
細尾真奈美 京都民医連あすかい病院
- O-1-28 人工呼吸器を使用する18トリソミーの医療的ケア児が公立保育園に入園するための体験保育時に行った訪問看護師
同行の成果と今後の課題
小鷹 康代 ソフィアメディ訪問看護ステーション香芝
- O-1-29 病院入院から在宅医療に移る患者に変わらぬ医療の質を提供するために
富岡 節子 医療創生大学 看護学部 看護学科
- O-1-30 保険請求業務に薬剤師が関与することの考察
能勢 悠介 医療法人双樹会よき往診クリニック

一般演題(口演)8

ACP・意思決定 ほか

7月20日(土) 15:35~16:25 第8会場「会議室103」

座長 竹田 幸彦 ひだまり診療所

- O-1-31 横浜市民の人生最終段階の医療ケア等への意識調査～「もしも手帳」は人生会議に繋がるか?～
日下部明彦 横浜市立大学 総合診療医学／横浜市医師会
- O-1-32 医療者によるベッドサイドでの楽器演奏の効果についての報告
長野 宏昭 いきがい在宅クリニック
- O-1-33 死に対峙する患者に対して、死の先輩として寄り添うターミナルケア
～宗教家との同行訪問の体験を通して、死に向きあう患者へのアプローチを考える～
中田賢一郎 医療法人社団さくらライフ さくらライフ錦糸クリニック
- O-1-34 病診連携と在宅でのACPが患者と家族が培った強い絆を尊重し在宅看取りに重要であった重症高血圧症・重度精神運動発達遅滞・難治性てんかんのオーバーエイジの一例
戸谷 剛 医療法人財団はるたか会／あおぞら診療所うえの
- O-1-35 キーパーソン不在で意思表示困難な患者の意思決定支援
～患者のライフストーリーを知り、多職種で関わった3症例～
早川 未来 東邦大学医療センター佐倉病院

一般演題(口演)9

看取り

7月20日(土) 16:30~17:10 第8会場「会議室103」

座長 児玉麻衣子 オレンジホームケアクリニック／福井大学

- O-1-36 在宅医に老衰と死亡診断された患者への輸液施行に関する調査
今永 光彦 奏診療所
- O-1-37 『住み慣れた島で最期まで』を支える瀬戸内海島嶼部での在宅看取りの実例
～遠隔死亡診断補助を行った事例を通して～
黒崎 亜耶 Nurse and Craft株式会社
- O-1-38 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行前後における在宅医療診療所での在宅看取り率の変化について
林 伸宇 医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック
- O-1-39 当クリニックにおける終末期在宅がん患者に対する口腔管理
坂詰 智仁 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

一般演題(口演)10

看取り・家族ケア

7月20日(土) 17:15~17:55 第8会場「会議室103」

座長 齋藤 慶子 医療法人社団ゆみの

- O-1-40 在宅看取り患者での排尿管理の検討
太田 章三 M&T総合クリニック福室
- O-1-41 コロナ禍でのグリーフケア実践
～グリーフレターを送付してみよう～
神田 久美 つばさクリニック
- O-1-42 “最期の時は自宅”を選んだ難病患者のQOD向上のための在宅レスパイト
竹川 康代 スターク訪問看護ステーション板橋徳丸
- O-1-43 本当の想いはどこに 一家族を通して本人を支える～
内田 和子 松井介護支援事務所

一般演題(口演)11

臓器不全 ほか

7月21日(日) 8:00~8:40 第8会場「会議室103」

座長 亀井たけし けんせいホームケアクリニック

- 0-2-1 当院の在宅血液透析における自己穿刺の訓練方法について
川畑 勝 医療法人社団東京透析フロンティア 看護部
- 0-2-2 訪問診療を受ける心不全患者の在宅入院に関する後ろ向き調査の検討
相川 幸生 静岡ホームクリニック
- 0-2-3 訪問診療で腹膜透析を管理して経験した合併症対応の実際
緒方 彩人 訪問診療わっしょいクリニック
- 0-2-4 在宅でもできる！フレイル予防とつながりづくりを目的とした公認町民体操「赤ふん坊や体操」のオンライン化
井階 友貴 福井大学医学部地域プライマリケア講座

一般演題(口演)12

研究

7月21日(日) 8:45~9:35 第8会場「会議室103」

座長 吉江 悟 Neighborhood Care

- 0-2-5 入退院を契機とした自宅または施設等における高齢者の医療介護導入時の特徴
～大規模DPCデータを用いた全国調査～
桜澤 邦男 東北大学大学院 医学系研究科 公共健康医学講座 医療管理学分野
- 0-2-6 管理栄養士による居宅療養管理指導の算定件数増加を目指した取り組み
廣瀬 明子 ヒカリノ診療所
- 0-2-7 担がん患者の訪問診療導入後の予後の検討
壁谷 悠介 医療法人社団さんりつ会そうわクリニック
- 0-2-8 ダブルケア経験者の負担感と必要な支援についての検討
堀 智子 藍野大学医療保健学部看護学科
- 0-2-9 COVID-19流行下における在宅医療を受けたがん患者の死亡場所の変化と関連要因
-神奈川県後期高齢者医療制度の大規模レセプトデータを用いたコホート研究
江頭 勇紀 神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーション研究科

一般演題(口演)13

病診・病病連携

7月21日(日) 9:40~10:40 第8会場「会議室103」

座長 井上 淑恵 在宅クリニック品川

- 0-2-10 地域の在宅医が非常勤医師として行う急性期病院での在宅支援外来の役割～コロナ禍を迎えて
福本 和彦 磐田在宅医療クリニック／磐田市立総合病院
- 0-2-11 重症心身障がい児・者の成人移行医療における病診・病病連携推進への取り組み
～「静岡市重症心身障がい児等移行医療連携カンファレンス」の経験より～
佐々木玲聡 静岡市静岡医師会／佐々木ハートクリニック
- 0-2-12 画像ファイリング機能付きポータブル細隙灯顕微鏡を利用した眼科遠隔診療連携
眞川 昌大 医療法人社団ひなた ひなた在宅クリニック
- 0-2-13 シームレスな連携のための在宅療養支援診療所に勤務する看護師の役割検討
—新規依頼相談から初回訪問に至るまでの実態調査から—
山中 香織 要町ホームケアクリニック

- 0-2-14 医学的情報に加えて、想いやナラティブに関する情報を病診間で繋ぐことで、短期間に踏み込んだ支援ができ、
終末期患者と家族の生活と人生の質向上につながる
八森 淳 医療法人MoLead つながるクリニック

- 0-2-15 山梨県在宅医療アドバイザー事業を活用した在宅医療の連携の取り組み
椎野 優樹 株式会社メディヴァ

一般演題(口演)14

難病 ほか

7月21日(日) 12:40～13:20 第8会場「会議室103」

座長 栗田 竜子 いずみの森クリニック

- 0-2-16 自らの体験から学んだ在宅医療における脳神経内科医の役割：315名の自験例の検討から
黒岩 義之 医療法人社団和啓会メディクスクリニック溝の口
- 0-2-17 長期在宅人工呼吸器装着における重大インシデントの分析と対応
鈴木 欣宏 医療法人結 結ファミリークリニック
- 0-2-18 視線入力装置の適応困難だった上肢型筋萎縮性側索硬化症患者が、装着型マウスを導入しiPadを使用できた事例
古谷 由佳 コールメディカルクリニック広島
- 0-2-19 ムコ多糖症Ⅱ型患者の在宅医療における酵素補充療法についての現状と課題
澁谷 泰介 医療法人社団ユニメディコ

一般演題(口演)15

地域包括システム・地域づくり

7月21日(日) 13:25～14:15 第8会場「会議室103」

座長 吉江 悟 Neighborhood Care

- 0-2-20 在宅ホスピス活動による遺族及びスタッフの変容の探求
二ノ坂保喜 にのさかクリニック
- 0-2-21 在宅医不在の地方中核都市での訪問診療－在宅療養支援診療所立ち上げ後1年7ヵ月間の報告－
永野 修 茂原すみれ訪問クリニック
- 0-2-22 大学と自治体が協働で運営する地域ケア会議の実践報告
～視察対応を振り返り、運営の工夫を言語化する～
池田 寛 藤田医科大学 地域包括ケア中核センター／豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし／藤田
医科大学 居宅介護支援事業所／藤田医科大学病院 医療連携福祉相談部
- 0-2-23 地域密着型通所介護と放課後等デイサービスの共生型施設での取り組み
小林真理子 株式会社アール・エヌ・シー／訪問看護ステーションRNC
- 0-2-24 地域医療の中で在宅医療を担う有床診療所の存在意義
平野 美幸 医療法人社団奏 上井草在宅支援診療所

一般演題(口演)16

がん・精神疾患・呼吸ケア

7月21日(日) 14:20～15:00 第8会場「会議室103」

座長 飯森 俊介 いろはホームケアクリニック

- 0-2-25 訪問看護における呼吸器疾患看護認定看護師の役割と今後の課題
－在宅ハイフローセラピーの導入から関わった1症例－
前川 典子 おれんじ訪問看護ステーション
- 0-2-26 オープンダイアログ等の「対話の力」を重視した訪問診療における実践経過報告(続報)
～実践前後のGAF尺度を活用した心身機能の推移比較について～
松岡 邦彦 茶屋町在宅診療所

0-2-27 在宅進行がん患者におけるポリファーマシーと潜在的不適切処方の実態

舩本 祥一 つくばセントラル病院総合診療科／筑波大学医学医療系

0-2-28 在宅療養中の終末期がん患者の食欲不振への対応と経口摂取量の変化の調査

大井 裕子 小金井ファミリークリニック／日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

一般演題(口演)17

食支援・口腔嚥下

7月21日(日) 15:05～15:55 第8会場「会議室103」

座長 井越 尚子 女子栄養大学

0-2-29 在宅療養を行う高度肥満の血友病A患者に対して訪問栄養食事指導による減量指導が有効だった一例

三輪 花蓮 社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会吹田病院 栄養科

0-2-30 歯科訪問診療で摂食嚥下リハビリテーションを実施した要介護高齢者の1年間の経口摂取度の推移

小森 彩加 東京医科歯科大学

0-2-31 グルコーストランスポーター1欠損症に対する胃瘻からのケトン食投与における在宅療養支援診療所の管理栄養士の関わり

伊藤里衣子 医療法人社団まごころ

0-2-32 医師の初診開始後、早期に居宅療養管理指導で管理栄養士が訪問した取り組みの報告

彦坂 陽子 メディケアクリニック石神井公園

一般演題(口演)18

災害対策・褥瘡ケア

7月21日(日) 16:00～16:40 第8会場「会議室103」

座長 安達 昌子 さくら醫院

0-2-34 個別避難計画の立案が可能なスマートフォンアプリの開発

中井 寿雄 高知県立大学看護学部

0-2-35 在宅での創傷デブリードマンに対する皮膚・排泄ケア特定認定看護師の取り組み

藤平 舞 医療法人社団威風会栗山中央病院

0-2-36 医師会と災害拠点病院が協同して行う地域BCPの取り組み～平成30年豪雨災害を経験して～

中村 幸伸 つばさクリニック／倉敷市連合医師会

0-2-37 在宅訪問栄養指導における管理栄養士からみた多職種褥瘡ラウンドでの課題と対策

青木栄理香 医療法人社団ユニメディコ

一般演題(口演)19

人材育成・教育・職種別

7月21日(日) 16:45～17:25 第8会場「会議室103」

座長 野正 佳余 大阪急性期・総合医療センター 大阪難病医療情報センター

0-2-38 在宅療養支援診療所におけるソーシャルワーカーの配置実態：2021年度勇美財団助成研究（1）

西岡 大輔 大阪医科薬科大学医学研究支援センター医療統計室／南丹市国民健康保険美山林健センター診療所／日本医療ソーシャルワーカー協会

0-2-39 在宅療養支援診療所における連携実務者のキャリア・ラダー活用の取り組み

高橋由利子 医療法人社団鉄祐会 直轄部企画室

0-2-40 メディカルコーディネーター（MC）の「できる感」はどうなっているのか？

田中 裕子 医療法人双樹会よしき往診クリニック

0-2-41 在宅療養支援診療所におけるソーシャルワーカーの業務実態：2021年度勇美財団助成研究（2）

上田まゆら （医社）青い鳥会 上田クリニック 在宅総合相談室／日本医療ソーシャルワーカー協会

一般演題(ポスター)

一般演題(ポスター)

ACP・意思決定1

7月20日(土) 9:35~10:15 ポスター会場1「コンベンションホールA」

座長 日下部明彦 横浜市立大学 総合診療医学

- P-1-1 横浜市の「もしも手帳」を用いたACPの試み
木川 李穂 医療法人社団鴻鵠会 睦町クリニック
- P-1-2 考え話し合う機会づくり「人生ガチャ」によるACPの取り組み
森山 沙希 周東総合病院
- P-1-3 病院と在宅医療介護がONE TEAMで振り返るデスカンファレンスの取り組み
三枝 正彦 医療法人社団やまぶき訪問クリニック
- P-1-4 世田谷区における専門職向けACP普及啓発活動「ギャガヤ会議」
神野 真実 株式会社メディアヴァ
- P-1-5 介護職が意思決定支援に取り組むために
～意思決定支援ガイドラインeラーニングを用いた研修～
ワーファ純子 こすもす訪問看護ステーション／柏市訪問看護ステーション連絡会
- P-1-6 当院における認知症患者への意思決定支援の現状
稲野 聖子 市立池田病院
- P-1-7 代理意思決定者への意思決定支援
入江 貴子 富山医療生活協同組合 富山協立病院
- P-1-8 緩和ケア病棟と在宅診療所にて「事前指示書」を共有し病診連携をおこなった取り組み
辻川 昭仁 医療法人社団仁真会 辻川ホームクリニック

一般演題(ポスター)

ACP・意思決定2

7月20日(土) 10:25~10:55 ポスター会場1「コンベンションホールA」

座長 藤田 祝子 ふじた医院

- P-1-9 長期生存する転移・再発乳がん患者の意思決定支援
～ずっと生きていたいA氏の気持ちに添って支える～
荻原 修代 株式会社GCI 訪問看護ステーション芍薬
- P-1-10 在宅医療の普及を目指して ～THPの役割とアプローチ～
中村 健吾 医療法人 楠本内科医院 在宅支援部
- P-1-11 薬剤師が関わるACPとはどのようなものか？
～ナラティブとエビデンスの間で薬物治療の方向性を考える～
高野 純一 日本調剤西新橋薬局
- P-1-12 意思表示できない子どものACP
～議論を重ねて在宅看取りを行った先天性代謝異常症の一例～
石渡 久子 医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所うえの／医療法人財団はるたか会 子ども在宅クリニックあおぞら診療所せたがや
- P-1-13 地域の中でともに生きる 緩和ケアの果たす役割とつなぐ縁
武田 寿彦 医療法人心の郷 穂波の郷クリニック
- P-1-14 高齢非がん患者における在宅看取りに影響を及ぼす要因
山田 寿美 医療法人双樹会よしき往診クリニック

一般演題(ポスター)

ACP・意思決定3

7月20日(土) 11:05~11:40 ポスター会場1「コンベンションホールA」

座長 石川 祐輔 在宅ケアクリニック杉並南部

- P-1-15 **気持ちの変化を尊重し、終末期の意思決定支援を行った一例**
志村 通子 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名メディカルプラザ
- P-1-16 **要請に基づかない往診で早期発見し、心筋梗塞から救命し得た独居症例**
福原 慧 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 医歯学専攻 全人的医療開発学講座 総合診療医学分野／東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻／医療法人社団 平郁会府中みどりクリニック
- P-1-17 **特別養護老人ホームからの退去・夫と共に地域の中で生きる道**
吉田 香織 医療法人 心の郷 居宅介護支援事業所 ここに幸あり
- P-1-18 **実父の看取りを通じて協働の意思決定を考える**
青木 達人 社会医療法人文殊会亀田病院
- P-1-19 **療養者の選択を尊重し見守る看護の実践を通して**
栃村 久美 株式会社ヴィーナス 訪問看護ヴィーナス高根沢
- P-1-20 **生きる希望を支える旅行支援
～奇跡を見せたいという患者の希望に寄り添って～**
大野 栄司 総合在宅医療クリニック
- P-1-21 **本人と家族ともに意思決定が困難と思われるケースの療養場所の選択への支援**
安藤 仁子 医療法人社団澄乃会 向日葵ナースステーション

一般演題(ポスター)

看取り1

7月20日(土) 9:35~10:05 ポスター会場2「コンベンションホールA」

座長 堤 直也 医療法人社団青い鳥会 上田クリニック

- P-1-22 **当院における在宅看取りを行った活動の報告**
清水 聡子 医療法人信愛会 しんあいクリニック
- P-1-23 **終末期がん患者における訪問リハビリテーション開始時Barthel Indexと生命予後の関係性**
生川 乃右 いしが在宅ケアクリニック
- P-1-24 **Watanabe indexを用いた在宅療養中の終末期患者の生命予後期間予測**
片見 明美 訪問看護ヴィーナス高根沢／桜美林大学老年学総合研究所連携研究員
- P-1-26 **終末期がん患者の在宅看取り達成率について
院内訪問看護と院外訪問看護ステーションの比較**
林 佑哉 医療法人双樹会 よしき往診クリニック
- P-1-27 **介護施設で働く介護職の看取りケアに対する意識とそれに影響を及ぼす要因についての文献検討**
土屋 彩夏 東洋英和女学院大学大学院／和洋女子大学

一般演題(ポスター)

看取り2

7月20日(土) 10:15~10:50 ポスター会場2「コンベンションホールA」

座長 鵜飼亜由美 訪問看護ステーション仁

- P-1-28 **糖尿病合併大腸がん終末期独居患者の在宅看取りの1例**
鶴田 淳 渡辺胃腸科外科病院

- P-1-29 自室に閉じこもることを望んだがん患者の看取り支援
～最期まで自分らしさを貫いた患者からの学び～
松田 智子 医療法人おひさま会 おひさまクリニック ファミリーナース室
- P-1-30 在宅医療における有床診療所の役割
—終末期入院患者様が抱く不安解消のための多職種連携—
野中 洋平 医療法人社団和啓会 メディクスクリニック溝の口
- P-1-31 終末期患者の望みを叶えるために私たちができること
衣川 涼子 医療法人社団そよかぜ
- P-1-32 訪問介護員でも、独居高齢者を穏やかにご自宅で看取ることができる
津野 采子 ハート介護サービス東住吉
- P-1-33 人生会議で明らかになったそれぞれの思い
大場恵利香 富山医療生活協同組合 富山協立病院
- P-1-34 独居高齢者の看取りの経験
安田 冬彦 安田花園クリニック

一般演題(ポスター)

看取り3・家族ケア

7月20日(土) 11:00～11:30 ポスター会場2「コンベンションホールA」

座長 黒崎 史果 菅間在宅診療所

- P-1-35 【数値に依らない判断】 そこにある価値 制度では手の届かないところをサポートするために
「自費サービス」と「有償ボランティア」を組合わせて「全人的ケア」を実現
高橋佳代子 一般社団法人看取りケアはごろも はごろもケアステーション
- P-1-36 手紙を活用したグリーフケア
鈴木 忠広 生協ふたば診療所
- P-1-37 わずかな時間しか関わられなかった患者家族に対するグリーフケアの経験～継続した支援の必要性～
奥田 瑠里 つばさクリニック
- P-1-38 看取られた在宅死と看取られなかった在宅死-在宅医と警察医の経験-
山際健太郎 津在宅ケア診療所
- P-1-39 ビジネスケアラーを支えるケア
(予測される自責の念を最小限にとどめる取り組み)
大島 文子 医療法人 和啓会 メディクスクリニック溝口 病棟看護師
- P-1-40 在宅看取りの質向上に向けた葬儀学習会の取り組み
西山めぐみ SOUシニアケア株式会社

一般演題(ポスター)

保険制度・医療制度・事業所経営・経営

7月20日(土) 9:35～10:10 ポスター会場3「コンベンションホールA」

座長 北西 史直 トータルファミリーケア北西医院

- P-1-41 在宅移行後からでも間に合う労災障害補償年金・障害年金の申請について
太田 敦 医療法人あおい空おおた在宅クリニック
- P-1-42 豊田加茂医師会会員の意識調査(2023年度調査)と医師会活動
柴原 弘明 一般社団法人 豊田加茂医師会
- P-1-43 独居生活者に対する在宅での看取りの現状と取り組み
草永 真志 医療法人ゆうの森 たんぽぽクリニック
- P-1-44 在宅療養支援診療所における女性医師の採用とキャリア支援の事例
堀田 豊 医療法人みどり訪問クリニック

- P-1-45 訪問看護事業所管理者対象の「経営安定のヒントを得る交流会」の成果と課題
小松 妙子 西武文理大学看護学部
- P-1-46 在宅クリニックにおけるアフターコロナの臨床的検討
薄 亮太 東戸塚みどり在宅クリニック
- P-1-47 『在宅医療の二階建てシステム』導入について
梁木 理史 村尾在宅クリニック／東京女子医科大学病院麻酔科学教室

一般演題(ポスター)

精神疾患・認知症

7月20日(土) 10:20～11:00 ポスター会場3「コンベンションホールA」

座長 北田 志郎 大東文化大学

- P-1-48 精神科訪問看護ステーション職員が感じるストレス要因の検討と対応
山下 洋二 こころのホームクリニック世田谷
- P-1-49 精神障害者同士の夫婦の育児支援への精神科訪問看護の活用
小六真千子 訪問看護・リハビリテーションセンター ななかまど中央
- P-1-50 軽度認知症(MCI)患者への適切な対応に関する理解度調査～属性の違いにおける検討～
中俣 恵美 関西福祉科学大学
- P-1-51 訪問診療における精神科医の役割：3症例の検討
市村 篤 医療法人和啓会 メディクスクリニック溝の口
- P-1-52 精神科訪問看護における、多職種による認知行動療法(CBT)の実践
高野かさね こころのホームクリニック世田谷
- P-1-53 在宅医療の導入により、向精神薬を無投薬もしくは低用量投与で症状の改善を得た、高齢患者の症例報告
平 貴之 医療法人社団リカバリー こころのホームクリニック世田谷
- P-1-54 持続性注射薬で治療されている2型糖尿病合併統合失調症患者への精神科訪問看護の経験
—30分で、何ができるか？
近藤 健治 医療法人社団さくらライフ さくらライフ錦糸クリニック
- P-1-55 在宅で行ったリチウム中毒管理の一例
大関 理宏 一般社団法人ポローニア おおぜき医院

一般演題(ポスター)

多職種連携1

7月20日(土) 13:10～13:50 ポスター会場2「コンベンションホールA」

座長 宇都宮励子 大阪ファルマプラン

- P-1-57 転職2年目の在宅診療PAが行った活動報告とその考察
～異業種(中高一貫校国語教師2年／大企業向け研修営業5年)出身による多職種連携の軌跡～
白川 大晃 医療法人双樹会守上クリニック 在宅診療部
- P-1-58 居宅療養管理指導による処方の一元管理で院内処方の禁忌薬を回避、通院先調整に介入した事例
～かかりつけ薬局の意義～
武田 浪弘 株式会社フレディ タカノ薬局
- P-1-59 在宅療養者の処方の適正化について～在宅医と薬局薬剤師の連携～
森元 将郎 みんなの訪問薬局
- P-1-60 訪問リハビリテーションにおける失語症の利用者に対し多職種での介入によりQOL向上に繋がった1例
-症例の意向を踏まえた援助-
樋尾 佑介 いしが在宅ケアクリニック
- P-1-61 在宅リハビリ活動を踏まえた多職種連携勉強会の試み
安部 能成 穂波の郷クリニック

P-1-62 「チーム医療連携」における事務の役割

畑中 絵里 茶屋町在宅診療所

P-1-63 看護師とリハビリ職による複数名訪問看護でハイリスクな状況でもリハビリテーションを継続して行えた活動～複数名訪問看護制度の可能性を拡げるチャレンジングな取り組み～

星野真二郎 ケアプロ在宅医療株式会社

P-1-64 メディカルカンファレンス参加による保険薬剤師と多職種、保険薬剤師と保険薬剤師の繋がりについて

齋藤進太郎 有限会社健康堂薬局

一般演題(ポスター)

多職種連携2

7月20日(土) 14:00～14:40 ポスター会場2「コンベンションホールA」

座長 太田 緑 みどりの風訪問看護ステーション

P-1-65 在宅輸血における訪問診療と訪問看護間の連携

加藤 直美 医療法人 社団 すまいる おれんじ訪問看護ステーション

P-1-66 A在宅療養支援診療所と訪問看護ステーションの相互体験研修の試み

榛葉 汐里 悠翔会在宅クリニック新橋

P-1-67 困難事例への対応

梅木 倫子 嶋田病院

P-1-68 不登校児童に対する在宅訪問加療における多職種連携について

岩崎 千聖 医療法人社団ユニメディコ 藤が丘こころのクリニック

P-1-69 三位一体(訪問診療・訪問看護・ケアマネジャー)のチーム力を高めるデスカンファレンスと医師の役割

栗林 泰子 社会医療法人河北医療財団あいクリニック

P-1-70 訪問看護事業所との情報共有に関する取り組み～アンケート調査結果を受けて取り組んだこと～

小泉 知子 つばさクリニック岡山

P-1-71 山間地域における療養支援のためのがん相談支援センターの取り組み

石原奈津希 社会医療法人緑社会 金田病院 地域医療連携室

P-1-72 「今週の〇〇さん15分」訪問診療同行看護師主体で症例カンファレンス

大塚美智子 あさのクリニック

一般演題(ポスター)

多職種連携3

7月20日(土) 14:50～15:30 ポスター会場2「コンベンションホールA」

座長 富永奈保美 国際医療福祉大学市川病院 脳神経内科

P-1-73 在宅総合ケアセンター設立とその活用

荒井佐由美 医療法人信愛会 しんあいクリニック

P-1-74 チームで在宅緩和医療に取り組むための「顔の見える小さな会」

中村 千賀 医療法人優幸会

P-1-75 在宅医療専門クリニック内外の多職種協働による患者およびその家族への包括的サルコペニア・フレイル対策の活動報告

田鎖 志瑞 医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック新宿

P-1-76 在宅診療における他事業所との連携効率化アプリの開発参加

山東 健一 メディクス東灘クリニック

P-1-77 居宅療養管理指導に関する問題点を回避するための取り組み

江藤 萌 医療法人博愛会 額田病院

- P-1-78 モルヒネ持続皮下注射の導入の経験が乏しい診療所でのトラブルとその後の改善についての報告
久保田紗英 さいわい診療所
- P-1-79 オンラインでの「顔の見える関係会議」実施経験
石橋 正樹 東洋眼科・胃腸内科外科／柏市医師会
- P-1-80 在宅医療へ移行する慢性呼吸器疾患患者に対する情報提供方法の改善活動（第1報）
赤星しいな 要町病院

一般演題(ポスター)

患者と医療者のコミュニケーション

7月20日（土）13:10～13:45 ポスター会場1「コンベンションホールA」

座長 川渕奈三栄 医療法人社団ナラティブホーム ものがたり診療所

- P-1-81 在宅でのスティグマに配慮したコミュニケーション
武田 幸大 医療法人 川崎病院
- P-1-82 訪問診療導入時に知りたいこと、伝えたいこと：アンケート調査により今後の契約にいかすには
長田 美智 広瀬病院在宅診療部
- P-1-83 訪問診療前の導入面談における訪問診療看護師の役割
阿部 奈緒 医療法人社団やまぶき訪問クリニック
- P-1-85 本人とご家族の葛藤をかかわる職種がそれぞれがプロとしてつながり続けることで、入退院を繰り返しながら
独居在宅生活を続ける一例
中島 徳志 湊仁会定山溪病院 診療部
- P-1-86 高齢再生不良性貧血患者に対して在宅終末期ケアを行った一例
稻生 真夕 ゆずりは訪問診療所

一般演題(ポスター)

ICT

7月20日（土）13:55～14:35 ポスター会場1「コンベンションホールA」

座長 池島 英之 なないろクリニック

- P-1-88 RPA（Robotic process automation）を用いた業務自動化の促進がもたらした医療スタッフの意識変化と
業務効率化の実践報告
木村 卓二 オリーブ在宅クリニック
- P-1-89 スマートグラスを用いた訪問診療医と訪問看護師のスマートな連携
前島 理 ひまわり往診クリニック
- P-1-90 「DX（デジタルトランスフォーメーション）で進化（深化）する在宅医療」
～患者ニーズに応える在宅療養支援診療所を目指して～
小早川 節 波乗りクリニック
- P-1-91 認知症高齢者の在宅生活を支えるための取り組みとしてICT機器を活用した生活モニタリングを実施した例につ
いて
小川 健太 医療法人社団プラタナス 松原アーバンクリニック
- P-1-92 DXの推進における事務業務自動化への取り組みと、その効果について
諸見里 透 ゆずりは訪問診療所
- P-1-93 訪問診療における「医療介護専用コミュニケーションツール」の活用
～スタッフ間連携と機動性をどう確保するか？～
梅谷 薫 訪問診療ネットワーク・向小金クリニック
- P-1-94 在宅人工呼吸療法における臨床工学技士の介入評価
肥田 泰幸 東都大学

- P-1-95 訪問診療を行うクリニックで同行アシスタント事務と看護師がロボティックプロセスオートメーション（以下RPA）を取り入れた活動報告
野木森知香 医療法人結 結ファミリークリニック

一般演題(ポスター)

事業所運営・経営

7月20日（土）14:45～15:25 ポスター会場1「コンベンションホールA」

座長 遠矢純一郎 桜新町アーバンクリニック

- P-1-96 常勤医師負担軽減のため夜間休日往診代行サービスを導入した経験
中村 幸生 優幸会 中村クリニック
- P-1-97 非常勤医師の多い訪問診療所でコメディカルが担う役割について
浅野 慶彦 医療法人社団和啓会／メディクス松戸クリニック
- P-1-98 在宅診療所内の心理的安全性を高める取り組みについて。
佐々木将人 医療法人社団 おうちの診療所
- P-1-99 在宅医の夜間バックアップ体制に求められる役割
ー在宅医療患者への救急往診と一般患者への救急往診の比較ー
中尾 亮太 株式会社当直連携基盤
- P-1-100 在宅医の働き方改革～オンコール代行サービス導入後の変化～
二ノ坂建史 にのさかクリニック
- P-1-101 訪問診療に関するデータ管理システムの構築
平澤津裕美 医療法人社団 東山会 調布東山病院
- P-1-102 在宅医療の普及と持続可能な提供のために
当院の開業支援の変遷と事業継続性のための広域大規模医療法人との提携
岩野 歩 医療法人) やまとコールメディカル福岡 コールメディカルクリニック福岡
- P-1-103 事務部門の時間外削減の取り組み報告
光永 充士 医療法人社団東山会 調布東山病院

一般演題(ポスター)

地域づくり

7月20日（土）15:35～16:10 ポスター会場1「コンベンションホールA」

座長 堀越由紀子 星槎大学

- P-1-104 行田市とりハビリ専門職で協働した介護予防の取り組みが始まった
～高齢者でもいつの日か支え手になるまちづくりに向けて第3報～
富田 昌延 医療法人社団清幸会 行田中央総合病院 リハビリテーション科
- P-1-105 医師会主催「在宅医養成研修」について有用性の考察
竹田 亮平 東戸塚みどり在宅クリニック
- P-1-106 お互いを知ることからはじめる 田舎ではじめた医療介護連携
林 誠也 さんむ医療センター 総合診療科
- P-1-107 地域小学校全学年に年1回、折れない心を育てるいのちの授業を実施している取り組み
一氏 慈人 きいれ浜田クリニック
- P-1-108 つなぎ人が繋ぐものは何か
～社会的処方におけるMSWの役割～
菊池麻衣子 一般財団法人 岩手済生会 中津川病院 地域医療連携室
- P-1-109 多職種連携・協働の醍醐味であった、杉並区医師会による「すぎなみフェスタ2023」出展報告
山口 優美 まごころクリニック／杉並区医師会

P-1-110 しなやかで強い地域のために、学び場としてのクリニック待合室の可能性

前田 淳子 医療法人社団なつみ会まえたクリニック

一般演題(ポスター)

医療安全・リスクマネジメント・災害対策

7月20日(土) 16:20~17:00 ポスター会場1「コンベンションホールA」

座長 水木麻衣子 東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座

P-1-111 患者家族からの診療等に関する要求への対応に難渋するハラスメントの1例

泉本 浩史 メディクス草加クリニック

P-1-112 在宅における下肢末梢動脈疾患のDiagnostic Errorに関する症例報告

松島 和樹 医療法人川崎病院／神戸総合診療・家庭医療専門医プログラム

P-1-113 看護小規模多機能型居宅介護事業所におけるインシデント・アクシデント事例の共有と検討システム改革の取り組み

河野 政子 まちのナースステーション八千代／地域包括ケアコンサルティングあるす

P-1-114 災害時における患者搬送時の車種の検討 ～院内災害訓練の経験を通して～

菅原 信行 医療法人双樹会 よしき往診クリニック

P-1-115 多職種連携ツールを活用した在宅療養患者の災害時個別避難計画の情報共有

東 桂司 医療法人もみじ ホームケアクリニックもみじ

P-1-116 在宅療養支援診療所における事業継続計画(BCP)策定の取組み
ー災害シミュレーションや局所災害の経験から有事対応力を強化するー

藤本 翠 医療法人社団 清水メディカルクリニック

P-1-117 在宅医療・ケア提供者の安全を確保するための合同ワーキンググループの設立

高添明日香 医療法人桜花会 あすか在宅クリニック

P-1-118 柏市における地域BCPの取り組み

古賀 友之 のぞみの花クリニック／柏市医師会

一般演題(ポスター)

地域包括システム

7月20日(土) 15:40~16:20 ポスター会場2「コンベンションホールA」

座長 片見 明美 株式会社ヴィーナス

P-1-121 第2回川口市地域包括ケア学会の開催報告

竹中 健智 川口市医師会

P-1-122 千葉県看多機連絡協議会設立の活動報告

山崎 佳子 株式会社やさしい手 看多機かえりえ南佐津間

P-1-123 在宅医療介護連携推進支援事業の入退院支援における豊田加茂医師会在宅相談ステーションの取り組み

兼松富美子 (一社)豊田加茂医師会

P-1-124 都市部の病院との併診を望んだ独居高齢がん患者の終末期を多職種支援で行った1事例

松宮 泉 一般社団法人我孫子医師会

P-1-125 地域住民が「在宅医療」に関心を持ち、選択肢のひとつとなるために ー柏モデルの取り組みー

織田 暁寿 医療法人社団あかつき ホームクリニック柏

P-1-126 A島在宅利用者への本島訪問看護ステーションによる活動支援

大湾 朝成 あさひ訪問看護ステーション

P-1-128 山梨県における在宅医療の普及・推進の取組み
ー山梨県在宅医療アドバイザー事業の活動と考察ー

山戸 啓佑 株式会社メディヴァ

一般演題(ポスター)

臓器不全1・フレイル・その他

7月20日(土) 13:10~13:45 ポスター会場3「コンベンションホールA」

座長 諸富 伸夫 新百合ヶ丘総合病院

- P-1-131 訪問診療を行っている患家の家族のCOVID-19後のADL低下に対し包括的ケアを行って良好な経過を得た2症例の検討
間所 俊介 鉄祐会 祐ホームクリニック
- P-1-132 長期間の在宅医療の後に自宅で看取った超高齢者の胆嚢炎の一例
有田 圭介 埼玉協同病院／小田内科クリニック
- P-1-133 タブレット型心臓超音波検査を在宅患者へ実施した結果について
坂田 鋼治 彩り在宅クリニック
- P-1-134 カテコラミンと人工呼吸器依存で自宅退院となったStage D心不全の一例：在宅における心不全終末期ケアの要点と課題
世戸 博之 ひのでクリニック
- P-1-135 在宅でドブタミン持続点滴を行った末期心不全患者2例
儀間 義勝 ゆずりは訪問診療所
- P-1-136 在宅医療の場で急変予兆の察知方法について
齋藤 威 医療社団法人フィーカ 関医院
- P-1-137 「CCUから自宅へ直接退院し最期の15時間後を自宅で過ごされた心不全の事例」を経験したかかりつけ医（非循環器専門医）が感じた「モヤモヤ」
清藤 千景 医療法人清藤クリニック

一般演題(ポスター)

臓器不全2

7月20日(土) 13:55~14:25 ポスター会場3「コンベンションホールA」

座長 渡辺 剛 渡辺緩和ケア・在宅クリニック

- P-1-138 在宅医療における保存的腎臓療法（CKM：conservative kidney management）について
池田 葵尚 渡辺西賀茂診療所
- P-1-139 在宅の現場での腎臓病診療と連携～日本在宅医療連合学会腎不全WG活動報告～
河原崎宏雄 帝京大学医学部附属溝口病院 第4内科
- P-1-140 腹膜透析における地域包括ケアと緩和ケアの実践～開業後7年間の軌跡～
楠本 拓生 医療法人楠本内科医院
- P-1-141 腹膜透析患者を支える訪問看護の実際～「アシステッドPD」で高齢認知症患者の希望を叶える～
片岡今日子 日本財団在宅看護センターひまわり
- P-1-142 多職種への迅速な感染管理指導やサービス調整で角化型疥癬を治療できた一例
梅沢 義貴 医療法人社団同善会 同善病院
- P-1-143 脳梗塞発症後、血液透析から腹膜透析へ移行し、在宅看取りを行った一例～退院後訪問を活用しての往診医・訪問看護との協働～
大脇 浩香 岡山済生会外来センター病院

一般演題(ポスター)

リハビリテーション1

7月20日(土) 14:35~15:05 ポスター会場3「コンベンションホールA」

座長 宇田 薫 医療法人おもと会

- P-1-144 **生活期において反張膝を認めた脳卒中片麻痺患者7例の特徴とその対応**
川手 信行 昭和大学リハビリテーション医学講座
- P-1-145 **生きた証を残すリハビリテーション
～「香典返しを作りたい」本人と家族をつないだ最期の作業活動～**
鈴木 紀子 磐田在宅医療クリニック
- P-1-146 **回復期リハビリテーションから生活期リハビリテーションへ移行後の訪問リハビリテーションの効果についての検証**
西川祐太郎 特定医療法人新生病院
- P-1-147 **在宅頸髄損傷患者に対する訪問リハビリテーションができる在宅介護者への支援とは?**
山田 莉姿 医療法人社団ユニメディコ
- P-1-148 **白内障患者のリハビリテーション：遠隔医療の可能性と効果**
新田 智裕 株式会社NITTA JAPAN
- P-1-149 **健康と要介護の間をつなぐ半歩先の支援「リハビリよろづ電話相談」**
橋本 典之 柏の葉訪問看護ステーション／かしわトータルヘルスケア協議会

一般演題(ポスター)

リハビリテーション2 ほか

7月20日(土) 15:15~15:50 ポスター会場3「コンベンションホールA」

座長 山内 克哉 浜松医科大学 リハビリテーション科

- P-1-151 **寝たきり状態から自律的に外出が可能となった40歳代脳腫瘍末期療養者へのリハビリテーションの実践と効果**
橋本英美代 しあわせ訪問看護ステーション
- P-1-152 **「宮古島市での訪問リハビリの特徴と今後の課題」
(症例を通して気づいた点)**
若林 厚史 医療法人 鳥伝白川会 訪問看護ステーションドクターゴン
- P-1-153 **在宅TPPV療養生活を楽しむ工夫 ～家族とみんなで見つけたアイデア集～**
西尾まり子 地域ケアステーション八千代・訪問看護ステーション／近畿大学病院難病患者在宅医療支援センター
- P-1-154 **住宅型有料老人ホームに入所している方がその人らしく生活することを目指した症例**
上野佑太郎 進藤医院訪問リハビリテーション
- P-1-155 **COVID-19感染後の急激なフレイル進行に対し医療保険による訪問リハビリによりADL再獲得に至ったグループホーム利用者の一症例**
藤原 将司 医療法人社団そよかぜ
- P-1-156 **癌末期患者へ訪問セラピストが関わることの意義と有用性～患者家族からの意見をもとに～**
吉岡 裕太 医療法人 鳥伝白川会 訪問看護ステーション ドクターゴン
- P-1-157 **在宅療養支援診療所における弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターの役割**
石井 佳子 エール在宅診療所

一般演題(ポスター)

人材育成・教育

7月21日(日) 9:25～10:00 ポスター会場1「コンベンションホールA」

座長 長崎 修二 在宅サポートながさきクリニック

- P-2-1 **多職種をサポートする人材育成**
助工 彰吾 悠翔会在宅クリニック新橋
- P-2-2 **当法人における初期研修医に対する地域医療研修効果**
小林あかり 医療法人社団そよかぜ
- P-2-3 **看護師によるエコーでの残尿評価、NwithD to Nのエコー研修の効果**
前原 綾 ドクターゴン診療所
- P-2-4 **特定看護師と協働し多様なニーズに応えられる訪問看護ステーションへ**
佐久本和香 医療法人社団東山会 東山訪問看護ステーション
- P-2-5 **在宅医療を通して多職種連携を学ぶための、学生実習プログラムの工夫**
郡山 晴喜 ホームクリニックみまた
- P-2-6 **T市における訪問看護師育成センターの活動報告
～5年間の活動と今後の展望～**
加納美代子 豊田地域医療センター 豊田訪問看護師育成センター
- P-2-7 **訪問看護ステーションにおける特定行為研修受講後の看護実践と活用について**
高関 左保 訪問看護ステーション上西

一般演題(ポスター)

キャリア・倫理的課題・その他

7月21日(日) 10:10～10:40 ポスター会場1「コンベンションホールA」

座長 伊藤 真美 医療法人社団 花の谷クリニック

- P-2-8 **在宅医療実習は学びの拡張性を秘めている ～在宅医療実習の質的調査から～**
崎山 隼人 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 医療人材連携教育センター
- P-2-9 **サービス付き高齢者向け住宅で発生した疥癬の集団発生の経験**
酒井 秀都 光輪クリニック
- P-2-10 **地域支援・在宅医療に携わる対人援助職の心理的問題をどう援助するのか
～ミイラ取りがミイラにならないために～**
小早川留衣 波乗りクリニック
- P-2-11 **新型コロナウイルス感染症による住宅型有料老人ホーム居住者の生活への影響**
王 迪 順天堂大学医療看護学部
- P-2-12 **知的障がい者の移行医療と終末期医療**
黒崎 史果 菅間在宅診療所

一般演題(ポスター)

研究

7月21日(日) 13:00～13:40 ポスター会場1「コンベンションホールA」

座長 杉浦 真 安城更生病院

- P-2-14 **在宅患者におけるCONUT値と身体測定値の相関**
甲賀 健史 茅ヶ崎徳洲会病院
- P-2-15 **ALS患者の心理的支援となる会話についてリハビリテーション専門職へのインタビュー調査：質的事例研究**
宮阪 美穂 えろさば訪問看護ステーション／医療法人社団まごころ

- P-2-16 介護DBオープンデータを用いた直近4か年の介護認定新規申請者数の動向
高橋 宏和 東戸塚みどり在宅クリニック
- P-2-17 自宅看取りを行った終末期がん患者における在宅酸素の使用状況
武藤 英貴 医療法人双樹会 よしき往診クリニック
- P-2-18 グループホーム入所者の救急入院状況
山田 智 中野共立病院
- P-2-19 在宅がん患者のPerformance Status-Based Palliative Prognostic Indexによる予後予測の有用性に関する検討
林 靖大 大阪鶴見ひなた内科・在宅クリニック
- P-2-20 往診せずに救急要請指示をした症例の特徴
板舩 笑果 医療法人双樹会 よしき往診クリニック
- P-2-21 高カロリー輸液中における医薬品の安定性
櫛部 周平 在宅ケア薬局

一般演題(ポスター)

医療・ケアの質・評価1

7月21日(日) 13:50~14:25 ポスター会場1「コンベンションホールA」

座長 荒井 康之 生きいき診療所・ゆうき

- P-2-22 在宅医療におけるQOL、社会的な繋がりと介護者における介護負担感との関連性：横断研究
飯田 英和 医療法人社団 鉄祐会 祐ホームクリニック
- P-2-23 機能強化型在宅療養支援診療所が実施した診療満足度調査の結果と考察
小林 真理 医療法人社団永研会 地域連携室／医療法人社団永研会 ちとせクリニック
- P-2-24 救急搬送・入院となった症例から得られた要因と改善点の考察 担当患者7名9例の調査から
川村 早紀 みどり訪問クリニック
- P-2-25 在宅療養支援診療所における皮膚科診療報告
鬼塚 君江 医療法人優幸会 中村クリニック
- P-2-26 入院時摂食嚥下指導の遵守困難性と退院後訪問リハビリテーションによる遵守率向上について
二階堂 曜 医療法人寛正会 水海道さくら病院
- P-2-27 時間外往診における「担当患者を持つ医師」と「担当患者を持たない医師」との診療内容の差異
藤谷 好紀 医療法人双樹会 よしき往診クリニック

一般演題(ポスター)

医療・ケアの質・評価2

7月21日(日) 14:35~15:10 ポスター会場1「コンベンションホールA」

座長 江口幸士郎 今立内科クリニック

- P-2-29 訪問診療患者における多剤薬剤処方の検討ー主成分分析を用いた解析ー
中島 尚登 伊勢原駅前クリニック
- P-2-30 多職種からみたサービス担当者会議
小林 優子 尼崎市医療・介護連携支援センター あまつなぎ
- P-2-31 地域高齢者フォーミュラの作成
三谷 徳昭 ミライ☆在宅委員会
- P-2-33 アルツハイマー型認知症を発症した高齢者Dubin-Johnson syndromeの1症例
野村 修三 静岡ホームクリニック
- P-2-34 医薬品の適正使用へ向けた在宅訪問専任薬剤師による初回訪問時の取り組みに関する研究
吉留 拓哉 ヤックスドラッグパティオス薬局

P-2-35 人口動態統計死亡小票の分析による在宅看取りの実態調査

大類 麻美 株式会社メディヴァ

職種別

一般演題(ポスター)

7月21日(日) 15:20～16:00 ポスター会場1「コンベンションホールA」

座長 富沢 道俊 とみざわ薬局グループ

P-2-36 社会的孤立の危機にある者への伴走型支援における福祉と医療の連携

長谷 有紗 株式会社町コム

P-2-37 在宅療養支援診療所看護師の役割とは何か。

～在宅医療を紡ぐマネジメント能力～

木橋 香苗 波乗りクリニック

P-2-38 在宅療養支援診療所を支える医療事務・クラークの取り組み

～顔の見える縁の下の力持ちを目指して～

米原 由紀 波乗りクリニック

P-2-40 診療同行看護師の働きで必要なものは？

アンケート結果から見えてきたもの

湊 由美香 医療法人社団まごころ 四街道まごころクリニック

P-2-41 ソーシャルワーカーが行う経済問題の解決のアプローチ

～段階的アプローチの仕組みと経済問題の予防的な介入について～

大友 路子 医療法人MoLead つながるクリニック

P-2-42 在宅医療ソーシャルワーカーの育成と実践ツール

～在宅訪問診療導入時クリティカルパスの試み～

村山 令 東京さんりつ会 さんりつ在宅クリニック町田

P-2-43 在宅療養支援診療所における事務の関わり

豊田 理恵 医療法人 おひさま会

一般演題(ポスター)

病診・病病連携1・その他

7月21日(日) 9:25～10:00 ポスター会場2「コンベンションホールA」

座長 谷亀 光則 望星大根クリニック

P-2-44 訪問診療と訪問歯科の連携強化

河野 桃子 医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック

P-2-45 コロナ禍における地域医療連携の課題と対応

橋本 一晃 一般社団法人松山市医師会 松山市在宅医療支援センター

P-2-46 人工呼吸器導入における地域連携～「日常」を維持する連携を考える～

堤 和美 医療法人社団やまびき訪問クリニック

P-2-47 地域と繋がり合う在宅医療

～在宅療養支援病院・総合在宅医療ネットワークの活動～

星野 拓磨 東苗穂病院

P-2-48 医師の在宅医療・入院診療への従事とMultimorbidity高齢者に対する診療アプローチの関係

木村 琢磨 東京医科歯科大学 介護・在宅医療連携システム開発学講座／東京医科歯科大学 総合診療科

P-2-49 ホスピス在住がん末期患者に対する在宅支援診療所における社会福祉士の課題

石原百合香 医療法人社団ユニメディコ

P-2-50 世田谷区における訪問歯科診療に関わる実態調査

山田 翔太 株式会社メディヴァ

7月21日(日) 10:10~10:45 ポスター会場2「コンベンションホールA」

座長 上林 孝豊 京都民医連あすかい病院

- P-2-51 地域から病院へ発信する、がん患者への在宅医療早期導入のススメ
齋木 啓子 医療法人社団悠翔会在宅クリニック新橋
- P-2-52 脳神経内科専門医が少ない地域で、パーキンソン病の診療の質を保つために必要なことは？
星野 将隆 船橋総合病院
- P-2-53 逆搬送から退院当日に在宅見取りをした症例を通じ病診共同で看取りカンファレンスを行った一例
守上 祐樹 医療法人双樹会 守上クリニック 在宅診療部
- P-2-54 短期入院でアシスト腹膜透析を導入した1例
山本 宇恭 帝京大学医学部附属溝口病院
- P-2-55 転倒リスクの高い患者への在宅退院支援事例の考察
～病院ソーシャルワーカーの立場から
守屋 美咲 藤沢湘南台病院
- P-2-56 在宅医療における精神科領域の病診連携について
徳増 孝明 医療法人社団碧水会 長谷川病院／おおぜき医院
- P-2-57 難治性ざ瘡として加療され続けるも、皮膚科医の診断加療により劇的に改善した化膿性汗腺炎
細田 亮 はもれびクリニック

7月21日(日) 13:00~13:40 ポスター会場2「コンベンションホールA」

座長 山田 剛司 株式会社ツクイ

- P-2-58 看護小規模多機能型居宅介護の関わりにより要介護5で経鼻経管栄養から経口摂取が可能となり生きる意欲へ繋げることができた事例
吉田 美佳 一般社団法人 居笑 在宅看護センター びりーぶ
- P-2-59 終末期患者の外出支援における訪問診療同行看護師の役割
菊地美希子 公益財団法人 宮城厚生協会 坂総合クリニック 在宅医療室
- P-2-60 うつ病と誤嚥性肺炎により食思とADLが低下した患者にKTBCと完全非公開型SNSを活用して多職種連携による包括的食支援を行った一例
山下ゆかり 医療法人社団永研会 ちとせデンタルクリニック
- P-2-61 在宅医療において多職種連携により改善を認めた特別養護老人ホーム入居高齢女性のドライアイの一例
西村 裕樹 医療法人慶眼会横浜けいあい眼科和田町院／株式会社OUI／慶應義塾大学医学部眼科学教室
- P-2-62 携帯型心電計を訪問看護師が使用して、在宅医との連携で患者の安心に繋がった一例
北川まゆみ みんなのかかりつけ訪問看護ステーション有松
- P-2-64 重度身体障がい者が介護保険と障害福祉サービス併用により在宅生活実現できた事例
加藤 真敏 ケアプラン夢
- P-2-65 あなたの想いを紡いでいく～多職種連携を通して～
後藤佳代子 医療法人社団夢前会 訪問看護ステーション歩歩

7月21日(日) 13:50~14:30 ポスター会場2「コンベンションホールA」

座長 小倉 和也 医療法人はちのへファミリークリニック

- P-2-66 胃ろう造設者への在宅での肺炎予防取り組み
～多職種連携による取り組み～
源 啓介 ガイア訪問看護ステーション池袋 赤羽サテライト
- P-2-67 基幹病院含めた多職種チームが機能したがん末期の在宅腹膜透析のケース
鈴木 直美 株式会社GCI 訪問看護ステーション芍薬瀬谷
- P-2-68 施設から在宅復帰できた一例～家族支援をインテグレーターとしての役割をもった関り～
杉山 洋貴 NPO法人サポートオブサポーターズ・光/訪問看護ステーションとも
- P-2-69 若年非がん患者が安心して在宅療養するための多職種連携
杉村 円 医療法人忠恕 春日部在宅診療所ウエルネス 地域連携部
- P-2-70 社会的孤立に対し医療ソーシャルワーカーがエコロジカルアプローチを実践した一症例
松井亜由美 医療法人社団ゆみの のぞみハートクリニック
- P-2-71 ～家族 それぞれの思いをかなえるために～
「9060問題に立ち向かう 多職種連携」
森川 裕美 シャローム若葉第2居宅介護支援事業所
- P-2-72 9060問題の課題と限界～prologue～
細矢 康子 株式会社わかば在宅支援センター
- P-2-73 脳波による意思伝達装置を拒みつつも最期まで意思を表現することを希求する在宅ALS療養者への支援の一例
～異色専門家が織りなした伴走型支援～
諏訪亜季子 香川県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科

7月21日(日) 14:40~15:15 ポスター会場2「コンベンションホールA」

座長 桜井 隆 さくらいクリニック

- P-2-74 SNS (Social Networking Sorvi) を利用した医療介護連携の実践
細越 巨禎 岩槻南病院
- P-2-75 在宅血液透析に対する配送問題の実態調査
竹石 康広 腎内科クリニック世田谷 臨床工学部
- P-2-76 超高齢社会課題解決のためのセミナー活動
～介護医療連携から課題解決の糸口までの道のり～
笹岡 大史 春日部在宅診療所ウエルネス 診療部
- P-2-77 居宅介護支援に従事するケアマネジャーの心不全に対する知識、介護現場での取り組みや意識に関する実態調査
佐野 容子 トーアエイヨー株式会社臨床開発部メディカルアフェアーズ課
- P-2-78 居宅介護支援に従事するケアマネジャーを対象とした心不全新規発症予防に関する啓発活動の取り組み
横井 利明 トーアエイヨー株式会社臨床開発部メディカルアフェアーズ課
- P-2-79 居宅介護支援事業所と病院・診療所・在宅療養支援診療所其々との連携手法とその取りやすさについて
豊田 基 医療法人社団永研会 ケアブランとせ
- P-2-80 地方医療圏の現況に対して地方公立病院が展開する在宅医療を中心とした医療介護連携の試み
野尻 俊介 見附市立病院

一般演題(ポスター)

排尿・排便ケア・褥瘡ケア

7月21日(日) 15:25～16:05 ポスター会場2「コンベンションホールA」

座長 杉浦 敏之 医療法人社団弘恵会杉浦医院

- P-2-81 **オーソモレキュラー治療により改善を得た超高齢者の難治性重度褥瘡の一例**
新井 正晃 汐入ぱくクリニック
- P-2-82 **下剤を使用しない脊髄損傷者の排便ケア
～脊髄損傷特化型の訪問看護・介護事業所による取り組み～**
川村 享平 訪問看護ステーションRe:Life／ヘルパーステーションRe:Life
- P-2-83 **在宅診療における肉眼的血尿に対する対応の検討**
カ石 辰也 医療法人社団ときわ練馬在宅クリニック
- P-2-84 **胃ろう漏れによるスキントラブルの治療～在宅でもできるケア方法**
水原 章浩 医療法人三和会東鷲宮病院
- P-2-85 **「在宅褥瘡ケア」～在宅褥瘡チームで関わった一例～**
花岡 千鶴 医療法人博愛会 額田病院
- P-2-86 **抗菌性創傷被覆・保護剤による治療が功を奏した褥瘡の3例**
村上 英邦 光輪会 さくらクリニック
- P-2-87 **POOマスターの「気持ちいい排便ケア」への取り組み**
尾崎美由紀 幹在宅看護センター
- P-2-88 **直腸エコー習得に向けた安価・簡便な便性状評価用ファントム作製の試み**
松原香織里 豊田地域訪問看護ステーション

一般演題(ポスター)

小児

7月21日(日) 16:15～16:50 ポスター会場2「コンベンションホールA」

座長 島崎 亮司 シティタワー診療所

- P-2-89 **「普通の高校生活を送りたい」を叶えた側頭葉膠芽腫の症例
～自転車通学の再開を通して“自分らしさ”を取り戻した高校生～**
秋澤 勇輝 在宅看護センターひまわり
- P-2-90 **小児看護の経験に乏しい訪問看護ステーションが、訪問診療と連携を取りながら自宅でお看取りができた症例**
鍋木ゆう子 在宅看護センター ひまわり
- P-2-91 **小児期発症の慢性疾患を持つ成人患者に対する地域医療ネットワークの構築に向けての話し合いで見えてきたもの**
中村 知夫 国立成育医療研究センター 総合診療部／国立成育医療研究センター 医療連携・患者支援センター
- P-2-92 **小児期に発症した医療的ケアを必要とする重度重複障がい者や小児がん経験者であるAYA世代の生涯学習
ー「生きる体験」を目指してー**
阪上 由美 大阪信愛学院大学
- P-2-93 **在日外国人家族の小児在宅医療から在宅医療の地域性・多様性を考える**
羽賀 正晴 龍生堂薬局 大久保店
- P-2-94 **小児科専門開業医と在宅医療支援診療所の連携における地域での新しい小児在宅展開の一例**
藤原 大輔 医療法人双樹会よしき往診クリニック／医療法人ふじわらクリニック
- P-2-95 **畳の上で育つこと～児童発達支援での活動を振り返る～**
白藤 美紀 一般社団法人幹らんど

一般演題(ポスター)

がん1

7月21日(日) 9:25~10:00 ポスター会場3「コンベンションホールA」

座長 小森 栄作 ももたろう往診クリニック

- P-2-96 **進行癌患者の予後予測とコロナ禍における在宅緩和ケアについて**
金丸 理人 公益財団法人 会田病院／自治医科大学 消化器一般移植外科
- P-2-97 **末期癌患者における血液データと在宅予後の予測の検討**
山根 宏昭 山根クリニック
- P-2-98 **在宅において実施した終末期がん患者に対する輸液療法についての検討**
岡田 豊 つばさクリニック
- P-2-99 **訪問活動を通して見える在宅がん緩和ケア～医薬品提供から薬局機能を考察する～**
佐々木 健 メディブレイス365訪問薬局
- P-2-100 **肺癌胸壁浸潤による難治性疼痛に対して、くも膜下ポートを造設し約3か月の自宅療養ができた症例**
佐野 広美 埼玉協同病院 緩和ケア内科
- P-2-101 **在宅でのがん終末期の緩和ケアにおける鎮静の現状と問題点**
松本 学也 医療法人萌生会 サンビレッジクリニック／旭川医療センター
- P-2-102 **24時間体制の医薬品供給と薬局間連携について
～在宅がん緩和ケアと薬局機能～**
藤田 珠理 薬局ホームケアファーマシー田無店

一般演題(ポスター)

がん2・難病1

7月21日(日) 10:10~10:50 ポスター会場3「コンベンションホールA」

座長 融 衆太 新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科

- P-2-103 **同一医療機関による連携において円滑な入退院支援を実現したニューモシスチス肺炎の一症例**
中安 一夫 医療法人博愛会 額田病院
- P-2-104 **難病疾患患者の障害受容を援助するリハスタッフとしての関わり方について**
山本 峻平 医療法人博愛会額田病院
- P-2-105 **ALS患者・家族の在宅療養を支える～病病連携、複数科及び多職種の連携の中で～**
北原 孝夫 香川医療生活協同組合 高松協同病院
- P-2-106 **専門医不在のへき地で筋萎縮性側索硬化症(ALS)の在宅療養の実践**
中桶 了太 国民健康保険 平戸市民病院／長崎大学病院 国境を越えた地域医療人支援機構
- P-2-107 **当院で経験した腸閉塞を伴う末期膵臓癌に発症した帯状疱疹に対して1日1回のアシクロビル点滴静注が有効だった一例**
細谷 真司 一般社団法人ポローニア おおぜき医院
- P-2-108 **進行速度の異なる若年型筋萎縮性側索硬化症2例への生活期での取り組み**
寺倉 隆朗 医療法人利仁会 訪問看護ステーションTenderly
- P-2-109 **癌自壊創に対して、当院でのアセスメントおよび緩和ケア対応**
清水 秀浩 医療法人光輪会 さくらクリニック
- P-2-131 **経鼻胃管先端位置確認システム「タムガイド®」の有用性**
越川 雅宏 医療法人鳥伝白川会 ドクターゴン診療所

一般演題(ポスター)

難病2 ほか

7月21日(日) 13:00~13:30 ポスター会場3「コンベンションホールA」

座長 矢崎 一雄 医療法人財団老蘇会静明館診療所

- P-2-111 在宅における関節リウマチ診療
内田 貞輔 医療法人社団貞栄会
- P-2-112 10年越しに気管カニューレからの離脱に成功した1例
國友 史雄 ドクターランド幕張 在宅医療部
- P-2-113 当院における神経難病患者のレスパイト入院の実際と意義
～機能強化型在宅支援診療所(単独型)がなせる多職種連携を通して～
永島 由規 医療法人葡萄の木ぶどうの木クリニック
- P-2-114 軟骨無形成症治療薬ボソリチド皮下注用、在宅投与における薬局薬剤師の継続的フォローについて
長谷川 寛 日本調剤株式会社 在宅医療部
- P-2-115 カンナビノイド製剤の治験を巡る在宅難治性てんかん患者と家族の体験と課題
久保 恭子 東京医療保健大学 立川看護学部
- P-2-116 ～難病の方を支えるために～
「介護保険と障害福祉サービスの利用を考える」
内海美智代 シャローム若葉第2居宅介護支援事業所

一般演題(ポスター)

緩和ケア1

7月21日(日) 13:40~14:15 ポスター会場3「コンベンションホールA」

座長 斉藤 康洋 GPクリニック自由が丘

- P-2-117 当院でオピオイド持続皮下注・静注を用いて疼痛コントロールを行った症例のまとめ
矢野 利章 医療法人信愛会 しんあいクリニック
- P-2-118 在宅における脊髄損傷患者の神経障害性疼痛に対する薬物療法の検討
熊井 惟志 みどり訪問クリニック
- P-2-119 専攻医教育を行う在宅療養支援病院における婦人科系悪性腫瘍の腹部症状の在宅管理
丸山 淳也 額田病院
- P-2-120 当院において終末期の苦痛症状に対し、ハロペリドール注射液、ジアゼパム注射液の舌下投与を行った症例群の検討
北口馨菜英 つばさ在宅クリニック西船橋
- P-2-121 終末期患者のせん妄に対してプロナンセリン貼付剤の在宅での使用経験
福田 員茂 医療法人社団双寿 ちぐさ会クリニック
- P-2-122 当院の末期がん患者における持続皮下注射実施率の変化について
柳澤 克哉 よしき往診クリニック
- P-2-123 かかりつけ薬局が在宅緩和ケアに関わるために ～オピオイド内服薬から持続皮下注まで～
今城 宏文 株式会社アイエムファルマ ツマシナ薬局

一般演題(ポスター)

緩和ケア2

7月21日(日) 14:25~14:55 ポスター会場3「コンベンションホールA」

座長 岡山 容子 医療法人みのり会 おかやま在宅クリニック

- P-2-124 緩和的放射線照射療法でQOLの向上がみられた癌末期患者の2例
森口 英男 医療法人社団いばらき会いばらき診療所みと

- P-2-125 吐き気の強いメサドンをフェンタニル貼付剤へ在宅でスイッチを試みた1例
岡本 静子 医療法人社団そよかぜ
- P-2-126 AYA世代進行再発がん患者で意思決定支援に苦慮したが、最終的に患者家族の希望通り在宅看取りを行えた事例
児玉麻衣子 オレンジホームケアクリニック／福井大学医学部附属病院緩和ケアチーム
- P-2-127 脊髄くも膜下鎮痛法を導入され自宅退院可能となった2例
篠 美和 医療法人社団守成会 広瀬病院 在宅診療部
- P-2-128 末期腎不全に対して保存的腎臓療法（conservative kidney management:CKM）を選択し最期まで在宅療養を行った患者を振り返る
長田 直美 桜新町アーバンクリニック
- P-2-129 低分化型喉頭癌の在宅緩和ケアで露出腫瘍からの出血コントロールに苦慮した症例
伊賀 勝康 勤医協苫小牧病院 在宅診療部

一般演題(ポスター)

食支援・口腔嚥下1 ほか

7月21日(日) 15:05～15:45 ポスター会場3「コンベンションホールA」

座長 田中 弥生 関東学院大学栄養学部臨床栄養学科

- P-2-132 経腸栄養剤による経管栄養患者の亜鉛、セレン、カルニチンの評価
大府 正治 和花クリニック
- P-2-133 ～栄養ケア・ステーション開設の振り返り～ 開設5年間の取り組みと実績の推移
井上 朗 東大和ホームケアクリニック
- P-2-134 高齢者に対する経鼻経管栄養の経験
柳楽 知義 さくらクリニック
- P-2-135 在宅医療センターにおける管理栄養士配置の取り組み
谷川あすさ 医療法人博愛会 額田病院
- P-2-136 在宅経腸栄養患者のセレン血中濃度の検討
杉本 由佳 すずもと在宅医療クリニック
- P-2-137 在宅PEG患者での新型低侵襲交換カテーテルの使用経験と課題—安定した在宅生活を守るために
吉野 浩之 群馬大学共同教育学部

一般演題(ポスター)

食支援・口腔嚥下2

7月21日(日) 15:55～16:35 ポスター会場3「コンベンションホールA」

座長 高田 靖 高田歯科医院／東京都豊島区歯科医師会

- P-2-139 原因不明の拒食を呈するCHARGE症候群児への歯科訪問診療
田村 文誉 日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科／日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック
- P-2-140 地域のお店と協働した訪問栄養指導で生活継続が出来た糖尿病合併症の一例
有園佐智子 きいれ浜田クリニック 管理栄養士（認定 在宅訪問管理栄養士）
- P-2-141 在宅での経腸栄養用カテーテル（胃瘻、経皮経食道胃管、経鼻胃管）交換
入江 真大 ももたろう往診クリニック／倉敷北病院 外科
- P-2-142 在宅医療における重症心身障害児（者）の栄養管理の工夫：オンラインスプレッドシートを活用した年齢別食事摂取基準や必要エネルギー量の確認
福庭 千尋 ひのでクリニック
- P-2-143 在宅医療における多職種連携での摂食嚥下対策チームの立ち上げ
小野 浩生 医療法人社団ユニメディコ サンライズファミリークリニック 摂食・嚥下チーム

- P-2-144 口腔洗口液の「不味さ」は何とかならないか？
船山 高明 医療法人顕樹会 本田歯科クリニック
- P-2-145 コロナ禍を通して見る地域食支援活動の展開～地域をつなぐための課題～
石山 寿子 国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科
- P-2-146 遷延性意識障害患者への摂食嚥下リハビリテーションを在宅にて長期的に行っている症例～インテグレーションの視点から考察する～
坂井 謙介 医療法人隼和会 坂井歯科医院

レイトブレイキングセッション

レイトブレイキングセッション

7月20日（土）8:30～9:00 第7会場「会議室304」

座長 荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部 医学教育統括センター 国際医療者教育学
国際医療福祉大学医学部 脳神経内科学

在宅人工呼吸療法30年の経験よりALSガイドラインを考察する

山本 真 大分協和病院 院長

閉会式

閉会式

7月21日（日）17:30～17:40 第1会場「コンベンションホールB」

査読者リスト

浅田 美子	株式会社大和調剤センター	片山 陽子	香川県立保健医療大学
浅野 一恵	重症心身障害児者施設つばさ静岡	加藤 寿	秩父市立病院
蘆野 吉和	庄内保健所	門田耕一郎	重工記念長崎病院
安部 能成	穂波の郷クリニック	蒲池 正顕	姫野病院
荒井 康之	生いき診療所・ゆうき	上林 孝豊	京都民医連あすかい病院
荒金 英樹	愛生会山科病院	上村久美子	居宅介護支援事業所万年青
飯森 俊介	いろはホームケアクリニック	亀井たけし	けんせいホームケアクリニック
井口真紀子	祐ホームクリニック大崎	川口 篤也	函館稜北病院
池島 英之	なないろクリニック	川口 豊	荏原ホームケアクリニック
井越 尚子	女子栄養大学	川渕奈三栄	医療法人社団ナラティブホーム ものがたり診療所
石垣 泰則	コーラルクリニック	河原崎宏雄	帝京大学医学部附属溝口病院
石原 由花	医療法人社団ユメイン 野崎クリニック	北澤 彰浩	公益財団法人伊豆保健医療センター
一ノ瀬英史	いちのせファミリークリニック	北田 志郎	大東文化大学
市原 利晃	秋田往診クリニック	木下 朋雄	和光ホームケアクリニック
井手口直子	帝京平成大学薬学部	木村 幸博	もりおか往診ホームケアクリニック
伊藤 博明	鶴巻温泉病院	日下部明彦	横浜市立大学 総合診療医学
伊藤 大樹	あおばクリニック	串田 一樹	昭和薬科大学
井上 大輔	聖路加国際病院	葛谷 雅文	名鉄病院
井上 登太	みえ呼吸嚥下リハビリクリニック	熊谷 琴美	愛知学院大学
井上 淑恵	医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック品川	栗田 竜子	いずみの森クリニック
猪原 健	猪原「食べる」総合歯科医療クリニック	黒崎 史果	菅間在宅診療所
今井 洋史	めぐみ在宅クリニック	小島 香	浜松医科大学 健康社会医学講座
今永 光彦	奏診療所	児玉麻衣子	オレンジホームケアクリニック／福井大学
今村 昌幹	ぬちぐすい診療所	五島 朋幸	ふれあい歯科ごとう
植竹 日奈	NPO法人ケ・セラ	駒田 雄一	駒田医院
鵜飼亜由美	訪問看護ステーション仁	小松 裕和	佐久総合病院地域ケア科
内田 直樹	医療法人すずらん会たろうクリニック	五味 一英	桜新町アーバンクリニック
梅垣 宏行	名古屋大学	小森 栄作	ももたろう往診クリニック
浦野 明子	豊生会元町総合クリニック	小柳 亮	新潟県医師会
江口幸士郎	今立内科クリニック	齋藤 淳	株式会社ピー・アンド・エス
遠藤 光洋	そら内科クリニック	齋藤 慶子	医療法人社団ゆみの
大河 貴久	大河歯科医院	齊藤 洋司	益田医療センター医師会病院
大北 葉子	順天堂大学国際交流センター	坂本 岳志	あけぼの薬局メディカル店
太田 緑	みどりの風訪問看護ステーション	桜井 隆	さくらいクリニック
大友 宣	医療法人財団老蘇会 静明館診療所	佐々木 淳	医療法人社団悠翔会
大橋 英司	医療法人社団 大橋内科胃腸科	佐藤 浩平	みさと在宅診療所
岡崎 俊哉	医療法人陽仁会上青木中央醫院	島崎 亮司	シティタワー診療所
小笠原貞信	社会医療法人 長崎記念病院	清水 政克	清水メディカルクリニック
岡田 孝弘	オカダ外科医院	首藤真理子	みなとホームケアクリニック
岡田 徹也	岡田医院	白石 丈也	けや木薬局
岡山 容子	医)みのり会 おかやま在宅クリニック	白髭 豊	白髭内科医院
奥山慎一郎	訪問診療クリニックやまがた	白山 宏人	大阪北ホームケアクリニック
小倉 和也	医療法人はちのへファミリークリニック	菅村 公一	桜十字熊本東病院
織田 暁寿	医療法人社団あかつき ホームクリニック柏	杉浦 敏之	医療法人社団弘恵会杉浦医院
小原 章央	渡辺西賀茂診療所	杉本 由佳	すぎもと在宅医療クリニック
梶本心太郎	かじもと内科在宅クリニック	鈴木 道明	小平すずきクリニック

鈴木 裕介	名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター	久島 和洋	ドクターゴン鎌倉診療所
瀬下 明良	牛久愛和総合病院	平原佐斗司	東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所
染谷 明子	在宅福祉総合センターきずな	廣田 勝弘	生協小野田診療所
高木 博	みぞのくちファミリークリニック	藤谷 直明	よつばファミリークリニック
高田 靖	公益社団法人 東京都豊島区歯科医師会	古屋 聡	牧丘病院
高橋 慶一	グレースホームケアクリニック伊東	古屋 裕康	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック
高本 紘尚	五藤医院	片見 明美	株式会社ヴィーナス
瀧本しおり	みさとホームケア診療所	星野 大和	ほしの在宅ケアクリニック
武 ユカリ	森ノ宮医療大学	堀越由紀子	星槎大学
竹川 幸恵	大阪はびきの医療センター	洪 英在	医療法人康誠会東員病院
竹田 幸彦	ひだまり診療所	前田 浩利	医療法人財団はるたか会
田城 孝雄	放送大学大学院	前田 玲	帯広中央病院栄養科
田中 啓太	みえ医療福祉生活協同組合いくわ診療所	松尾 英男	えびす英クリニック
田中 登美	奈良県立医科大学	丸山 道生	田無病院
田中 誠	医療法人理智会たなか往診クリニック	三浦 邦久	医療法人伯鳳会東京曳舟病院救急科
田中 弥生	関東学院大学	三浦 久幸	国立長寿医療研究センター
谷亀 光則	望星大根クリニック	三木 明子	関西医科大学
玉木 宣人	あおばおうちクリニック	水上 直人	医療法人賛永会
月永 洋介	さつきホームクリニック	水木麻衣子	東京大学大学院医学系研究科 在宅医療学講座
次橋 幸男	天理よろづ相談所 白川分院 在宅世話センター	三村 卓司	社会医療法人 緑社会 金田病院
土屋 邦洋	いろは在宅ケアクリニック	宮下 勉	医療法人社団鴻鵠会
土屋 知洋	ちひろ内科クリニック	宮本 桃世	東大和ホームケアクリニック
鶴岡 優子	つるかめ診療所	宮本 雄気	京都府立医科大学 救急医療学教室
戸井 博史	まるやま在宅クリニック	森 清	東大和ホームケアクリニック
遠矢純一郎	桜新町アーバンクリニック	諸富 伸夫	新百合ヶ丘総合病院
融 衆太	新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科	矢崎 一雄	医療法人財団老蘇会静明館診療所
中桶 了太	国民健康保険 平戸市民病院	安池 純士	医療法人社団悠翔会
長崎 修二	在宅サポートながさきクリニック	泰川 恵吾	ドクターゴン診療所
中島 孝	国立病院機構新潟病院	安中 正和	医療法人安中外科・脳神経外科医院
中田 隆文	マリオス小林内科クリニック	柳本 蔵人	鴨川市立国保病院
中谷 匡登	伏虎リハビリテーション病院	山内 克哉	浜松医科大学 リハビリテーション科
中野 一司	医療法人ナカノ会 ナカノ在宅医療クリニック	山田 純也	あおぞら診療所うえの
長野 宏昭	いきがい在宅クリニック	山田 剛司	株式会社ツクイ
中村 明澄	向日葵クリニック	山中 崇	東京大学大学院医学系研究科 在宅医療学講座
中村 幸伸	つばさクリニック	梁 広石	順天堂東京江東高齢者医療センター
柳楽 知義	さくらクリニック	弓野 大	医療法人社団ゆみの
西山 葉子	よこはまあおとクリニック	横山 和正	東静岡神経センター
野村 秀樹	あいち診療所野並	吉江 悟	一般社団法人Neighborhood Care
橋本 和憲	ひのでクリニック	吉川 正宏	竹林貞吉記念クリニック
長谷川太郎	湘南おおふなクリニック	吉澤 明孝	要町病院・要町ホームケアクリニック
長谷川 寛	日本調剤株式会社 在宅医療部	吉田 千文	前聖路加国際大学
花井亜紀子	国立精神・神経医療研究センター病院	米本 千春	堺市立総合医療センター 患者支援センター
瀧野 淳	筑波大学 医学医療系	若林 秀隆	東京女子医科大学病院リハビリテーション科
林 伸宇	祐ホームクリニック	渡辺 剛	渡辺緩和ケア・在宅クリニック
引野 雅子	医療法人社団ほくれあ会 ひきのクリニック		

協賛企業・団体一覧

第6回日本在宅医療連合学会大会の開催にあたり、下記の企業、団体より多大なるご協力とご支援を賜りました。
ここに深く感謝の意を表します。

第6回日本在宅医療連合学会大会
大会長 荻野 美恵子

ランチョンセミナー・スポンサードシンポジウム

アッヴィ合同会社	スミス・アンド・ネフュー株式会社
アレクシオンファーマ合同会社	チェスト株式会社
メディカルアフェアーズ本部	株式会社ツムラ
株式会社ヴァンティブ	帝人ヘルスケア株式会社
エーザイ株式会社	日機装株式会社
エムベクタ合同会社	株式会社ネエチア
株式会社大塚製薬工場	ファイザー株式会社 メディカルアフェアーズ
オカモト株式会社	株式会社フィリップス・ジャパン
カーディナルヘルス株式会社	株式会社星医療酸器
グラクソ・スミスクライン株式会社	マルホ株式会社
笹川保健財団	ユーシービー・ジャパン株式会社
サノフィ株式会社	

プログラム集広告・幕間広告・ホームページバナー広告掲載

アボットジャパン合同会社	株式会社当直連携基盤
アルジェクスジャパン株式会社	一般社団法人日本終末期ケア協会
株式会社医学書院	ノーベルファーマ株式会社
NTTデバイステクノ株式会社	ノバルティス ファーマ株式会社
株式会社on call	藤本製薬株式会社
協和キリン株式会社	株式会社プロアス
住友ファーマ株式会社	メディカルインフォマティクス株式会社
セコム医療システム株式会社	持田製薬株式会社
中央法規出版	ヤンセンファーマ株式会社
中外製薬株式会社	特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
テルモ株式会社	

寄付・助成

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
大西 由華

企業展示・書籍展示

アイザックス症候群りんごの会	スミス・アンド・ネフュー株式会社
アサヒグループ食品株式会社	スリーエム ヘルスケアジャパン合同会社
アボットジャパン合同会社	泉工医科工業株式会社
アルケア株式会社	チェスト株式会社
株式会社伊藤園	株式会社データシード
入江工研株式会社	株式会社東京エム・アイ商会
株式会社インボディ・ジャパン	株式会社当直連携基盤
エア・ウォーター・メディカル株式会社	トクソー技研株式会社
NTTデバイステクノ株式会社	ナック商会株式会社
株式会社エム・イー	株式会社ニチイ学館
エンブレース株式会社	株式会社ニトムズ
株式会社大塚製薬工場	一般社団法人日本ALS協会
オープン株式会社	日本シグマックス株式会社
株式会社OUI	ニュートリー株式会社
オムロン ヘルスケア株式会社	株式会社ネエチア
株式会社on call	パーカッション・ジャパン株式会社
カーブジェン株式会社	株式会社VIPグローバル
株式会社ガリバー	株式会社ヒュー・メックス
株式会社北浜製作所	ファストドクター株式会社
キッコーマンニュートリケア・ジャパン株式会社	株式会社フィリップス・ジャパン
九州メディカルサービス株式会社	フクダ電子株式会社／フクダライフテック株式会社
QT Medical, Inc.	富士フイルムメディカル株式会社
株式会社共和	株式会社プロアス
株式会社QUEEN'S	株式会社星医療酸器
株式会社クラウドクリニック	マルホ株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社	メディカルインフォマティクス株式会社
クロスログ株式会社	株式会社メルシー
三栄メディシス株式会社	USCIジャパン株式会社
SOMPO Light Vortex株式会社	ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社
GEヘルスケア・ジャパン株式会社	株式会社リサシステム
株式会社JPステート	ルミラ・ダイアクノスティクス・ジャパン株式会社
シスメックス株式会社	ワシエスメディカル株式会社

MEMO

MEMO

argenx

新発売

gMG患者さんの手に、
さらなるイノベーションを。全身型重症筋無力症※患者さんのための抗FcRn抗体フラグメント・
ヒアルロン酸分解酵素配合製剤、ヒフデュラ® 配合皮下注

※ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限る

詳しくは
製品サイトを
ご覧くださいウィフガート® & ヒフデュラ®.jp
https://www.vyvgart.jp/

抗FcRn抗体フラグメント・ヒアルロン酸分解酵素配合製剤

エフガルチギモド アルファ (遺伝子組換え) ・
ボルヒアルロニダーゼ アルファ (遺伝子組換え) 皮下注製剤

薬価基準収載

ヒフデュラ® 配合皮下注
VYVDURA® Combination Subcutaneous Injection生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品^注 注) 注意-医師等の処方箋により使用すること2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと)
本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

4. 効能又は効果

全身型重症筋無力症 (ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限る)

6. 用法及び用量

通常、成人には本剤1回5.6mL (エフガルチギモド アルファ (遺伝子組換え) として1,008mg及びボルヒアルロニダーゼ アルファ (遺伝子組換え) として11,200単位) を1週間間隔で4回皮下投与する。これを1サイクルとして、投与を繰り返す。

7. 用法及び用量に関連する注意

- 7.1 次サイクル投与の必要性は、臨床症状等に基づき、判断すること。[17.1.1、17.1.2参照]
- 7.2 本剤を投与する場合に、何らかの理由により投与が遅れた際には、あらかじめ定めた投与日から3日以内であればその時点で投与を行い、その後はあらかじめ定めた日に投与すること。あらかじめ定めた投与日から3日を超えていれば投与せず、次のあらかじめ定めた日に投与すること。

8. 重要な基本的注意

- 8.1 本剤の投与により、血中IgG濃度が低下し、感染症が生じる又は悪化するおそれがある。本剤の治療期間中及び治療終了後は定期的に血液検査を行うなど、患者の状態を十分に観察すること。また、感染症の自他覚症状に注意し、異常が認められた場合には、速やかに医療機関に相談するよう患者に指導すること。[9.1.1、11.1.1、16.8.1参照]
- 8.2 本剤の自己投与に際しては、以下の点に注意すること。
- 自己投与の適用については、医師がその妥当性を慎重に検討し、十分な教育訓練を実施した後、本剤投与による危険性と対処法について患者が理解し、自ら確実に投与できることを確認した上で、医師の管理指導の下で実施すること。
 - 使用済みの注射針及び注射器を再使用しないように患者に注意を促し、すべての器具の安全な廃棄方法に関する指導を行うこと。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

- 9.1 合併症・既往歴等のある患者
- 9.1.1 感染症のある患者
感染症を合併している場合は、感染症の治療を優先すること。感染症が増悪するおそれがある。[8.1、11.1.1参照]
- 9.1.2 肝炎ウイルスキャリアの患者
肝炎ウイルスキャリアの患者に本剤を投与する場合は、肝機能検査値や肝炎ウイルスマーカーのモニタリングを行うなど、B型肝炎ウイルスの再活性化やC型肝炎の悪化の徴候や症状の発現に注意すること。
- 9.2 腎機能障害患者
エフガルチギモド アルファ (遺伝子組換え) の血中濃度が上昇するおそれがある。[16.6.1参照]
- 9.5 妊婦
妊婦又は妊娠している可能性のある女性には治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。IgG抗体は胎盤通過性があることが知られている。本剤の投与を受けた患者からの出生児においては、母体から移行するIgG抗体が減少し、感染のリスクが高まる可能性がある。
- 9.6 授乳婦
治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。本剤のヒト乳汁中への移行は不明であるが、ヒトIgGは乳汁中に移行することが知られている。
- 9.7 小児等
小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

10. 相互作用

10.2 併用注意 (併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
人免疫グロブリン製剤 (ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン等)	これらの薬剤の治療効果が減弱する可能性がある。 これらの薬剤による治療を開始する場合、本剤のサイクル投与における最終投与から2週間後以降に投与することが望ましい。	本剤がこれらの薬剤の血中濃度を低下させる可能性がある。
抗補体 (C5) モノクローナル抗体製剤 (エクリズマブ (遺伝子組換え)、ラプリズマブ (遺伝子組換え))	本剤又は抗FcRnモノクローナル抗体製剤の治療効果が減弱する可能性がある。 抗FcRnモノクローナル抗体製剤による治療を開始する場合、本剤のサイクル投与における最終投与から2週間後以降に投与することが望ましい。	本剤を含むFcRnに結合する薬剤の血中濃度が低下する可能性がある。
血液浄化療法	本剤の治療効果が減弱する可能性があるため、併用を避けることが望ましい。	本剤による治療中に施行することにより本剤の血中濃度を低下させる可能性がある。
生ワクチン及び弱毒生ワクチン	本剤による治療中の接種を避けることが望ましい。 接種が必要な場合は本剤投与開始の少なくとも4週間前までに接種することが望ましい。 本剤による治療中の場合、最終投与から2週間以降にワクチンを投与することが望ましい。	生ワクチン又は弱毒生ワクチンによる感染症発現のリスクが増大するおそれがある。
生ワクチン及び弱毒生ワクチン以外のワクチン	ワクチンの効果が減弱する可能性がある。	本剤の作用機序により、ワクチンに対する免疫応答が得られない可能性がある。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.1 重大な副作用

11.1.1 感染症 (4.8%) [8.1、9.1.1、11.2参照]

11.1.2 ショック、アナフィラキシー (頻度不明)

11.2 その他の副作用

	5~15%未満	5%未満
一般・全身障害および投与部位の状態	注射部位紅斑、注射部位疼痛、注射部位そ痒感、注射部位発疹	疲労
神経系障害	頭痛	浮動性めまい
胃腸障害		悪心、嘔吐
臨床検査		リンパ球数減少、好中球数増加
感染症および寄生虫症		带状疱疹、尿路感染、上咽頭炎、上気道感染
皮膚および皮下組織障害		発疹

21. 承認条件

- 21.1 医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。
- 21.2 国内での投与経験が極めて限られていることから、製造販売後、一定数の症例に係るデータが収集されるまでの間は、全症例を対象に使用成績調査を実施することにより、本剤の使用患者の背景情報を把握するとともに、本剤の安全性及び有効性に関するデータを早期に収集し、本剤の適正使用に必要な措置を講じること。

24. 文献請求先及び問い合わせ先

アルジェニクスジャパン株式会社
107-0052 東京都港区赤坂二丁目5番8号 ヒューリックJP赤坂ビル
TEL: 0120-174-103

25. 保険給付上の注意

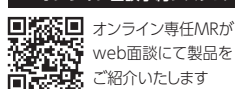
本剤は新医薬品であるため、厚生労働省告示第107号 (平成18年3月6日付) に基づき、2025年4月末日までは、投薬は1回14日分を限度とされている。

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元
アルジェニクスジャパン株式会社
東京都港区赤坂二丁目5番8号

その他の注意事項等情報等の詳細につきましては電子化された添付文書をご参照ください。電子化された添付文書の改訂には十分ご注意ください。

MRオンライン面談予約システム

オンライン専任MRが
web面談にて製品を
ご紹介いたします製造販売元
アルジェニクスジャパン株式会社
東京都港区赤坂二丁目5番8号【文献請求先及び問い合わせ先】
アルジェニクスジャパン株式会社
TEL: 0120-174-103 (フリーダイヤル)
https://www.vyvgart.jp/JP-VDJMG-24-00079
(2024年4月作成)

雑誌

訪問看護と介護のご案内

「在宅」の時代、暮らしを支える訪問看護師に、情報とパワーをお届けします。
ケアに関わる情報はもちろん、「気になるあの／あのステーションがやっていること」
を皆さんに代わって編集室が取材。明日の仕事に活かせるヒントが見つかります。



● 隔月刊(奇数月)、年6冊

通常号定価：1,650円
(本体1,500円+税10%)

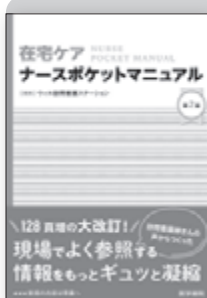
● 年間購読

冊子 9,636円(本体8,760円+税10%)
電子 9,636円(本体8,760円+税10%)
電子+冊子 12,936円(本体11,760円+税10%)

★電子版もございます／記事単位でのご購入も可能です



在宅の現場でよく参照する情報をこの1冊に“もっと”ギュッと凝縮！



在宅ケア NURSE ナースポケットマニュアル

第2版

編集 ウィル訪問看護ステーション

● A6 2024年 頁392 定価：2,200円(本体2,000円+税10%) [ISBN978-4-260-05333-4]



問題解決から希望実現へ。訪問看護実践を可視化する「希望実現モデル」誕生！

訪問看護師による在宅療養生活支援を可視化する 希望実現モデル

編著 川村佐和子

● A5 2024年 頁224 定価：3,300円(本体3,000円+税10%) [ISBN978-4-260-05337-2]



頻繁に参照する情報をその場ですぐに確認できる。コンパクトなのに即戦力となる一冊

ナース NURSE ポケットマニュアル

第2版

編集 北里大学病院看護部

● A6変型 頁148 2024年 定価：1,650円(本体1,500円+税10%) [ISBN978-4-260-05437-9]



実はそこまで難しくない！ エコーへの苦手意識を克服できる本

フィジカルアセスメントに活かす 看護のための はじめてのエコー

編集 藤井徹也／野々山孝志

● B5 頁164 2023年 定価：3,300円(本体3,000円+税10%) [ISBN978-4-260-05011-1]



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <https://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売・PR部] TEL:03-3817-5650 FAX:03-3815-7804 E-mail:sd@igaku-shoin.co.jp

夜間・休日のオンコール代行ならお任せください



夜間・休日の往診は ON CALLに お任せください!!

ON CALLでは急性期病院に従事する経験豊富なメディカルチームがサポートします

有資格者で構成された メディカルチーム



大病院勤務ながら在宅医療を志す若手医師、コールセンターや往診ディレクターには看護師などの医療従事者を配置することで、スムーズに連携、安心なサポートが可能です。

積極往診かつ スピードも速い!!



夜間・休日の患者様の急な往診依頼にも、即時にチームへの連携〜往診対応を行いますので、安心してお任せいただくことが可能です。

独自システムによる スムーズな導入を実現



ON CALLの独自システムにより、往診対応の見える化から、非常勤医師の労務管理の手間も簡潔に行うことが可能となるため、導入もスムーズに行えます。

往診対応エリア（2024年03月）

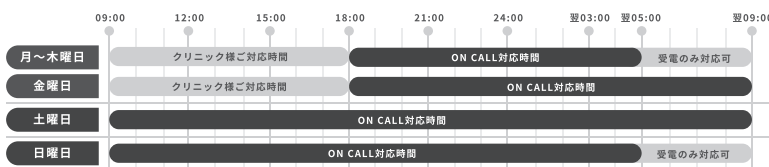
東京都内全域
神奈川県東部エリア
埼玉県南部エリア

※往診は行わず、ファーストコール
のみの場合は全国対応可能です

対応時間

平日夜間：18時～翌5時（翌日が土日・祝日の場合は翌9時まで）
土日・祝日：9時～翌9時（翌日が平日の場合は翌5時まで）

【ご利用イメージ】クリニック様のご対応時間に合わせて、ON CALLが対応致します。



サービスご利用開始までの流れ

STEP 1

ヒアリング

貴院の現状と在宅診療の課題
をお聞かせください。

STEP 2

プランのご提案

貴院の課題解決を実現する
プランをご提案いたします。

STEP 3

お申し込み

お申し込み後、貴院のオペ
レーションチームを創設しま
す。

STEP 4

お打ち合わせ

貴院担当のチームスタッフが
同席し、契約内容の確認をさ
せていただきます。

STEP 5

稼働開始

導入から運用まで担当者が継
続的にサポートいたします。

貴院のニーズにあったプランをご提案させていただきますのでお気軽にお問合せください

在宅医療機関向け、夜間休日のオンコール代行サービス

ON CALL

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 住友不動産虎ノ門タワー17階 グロース虎ノ門Room9
TEL : 03-5937-5993 FAX : 03-5937-5994

【WEBサイトでも詳しく見る】

ON CALL で検索

<https://oncall-japan.com/>



Quality time for better care

Quality time for better care は、Terumo Medical Care Solutions のブランドプロミスです。

TERUMO MEDICAL CARE SOLUTIONS

テルモの腹膜透析システム

自動で行える無菌接合装置とフェールセーフ機構※を搭載した手動接続方式のラインアップで、PDライフをサポートします。

※接続解除時、解除動作と連動し「インナークランプ」がチューブを閉塞することで液漏れを防止します。

テルモ腹膜透析システム 無菌接合装置



あわせて入れる、イージー接合。

一般的名称：腹膜灌流回路用加熱溶融接合装置
販売名：むきんイージー
医療機器届出番号 13B1X00101000088



キャプディール™ トランスファーチューブセット

カチットタイプ

一般的名称：腹膜灌流液注排用チューブ及び関連用具セット
販売名：キャプディールトランスファーチューブセット
医療機器承認番号：16200BZZ00326000
※カチッと接続は、キャプディールトランスファーチューブセットの機能です。

キャプディール™ 保護キャップセット

ウイングタイプ

一般的名称：腹膜灌流用回路及び関連用具セット
販売名：キャプディール保護キャップセット
医療機器承認番号：22400BZX00243000

テルモ腹膜透析システム 手動接続方式

CLICKSAFE™

ご使用の際は、電子添文、および取扱説明書、その他使用上の注意等をよくお読みの上、正しくお使いください。

製造販売業者 **テルモ株式会社** 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 2-44-1 www.terumo.co.jp

©テルモ株式会社 2022年4月



事務員の退職リスク
から解放されたい…

事務負担も増えて
残業代がかさんできた…

採用活動も教育も
うまくいかない…

オンコールの
電話応対が大変…

そのお悩み アウトソーシングで解決 在宅医療レセプトはお任せください!!



在宅医療支援サービス
cocomedica
Outsourcing

クリニックの働き方改革
業務効率改善に



レセ負担が増えて
やりたいことがで
きない…

今更聞けない
算定内容がある…

新しい職員に教えても
定着しない…

一般的な算定が
分からなくて不安…

お申し込み
・お問合せ

ウェブサイト・電話で直接
プロアスまでご連絡ください。
お問合わせの後、資料送付・
お見積・導入フォロー等について
ご案内させていただきます。

HP

<https://cocomedica.jp/>

MAIL

info@proas.co.jp

TEL

0120-935-454

電話受付時間
平日9:00~18:00



SaaS × BPOで医療DXを推進 クリニック開業・運営を成功に導きます

多くの在宅医療機関のコンサルティングで培ったノウハウで
総合的にサポート

SaaS
(クラウドサービス)

☑ 訪問診療専門電子カルテ
» hcmis



BPO



☑ 在宅レセプト支援サービス
在宅医療専門
» レセサポ



☑ 在宅クリニックDX支援
» Okitell365



専門コンサルティング

☑ 経営支援・承継支援
☑ 訪問診療に特化した
医師人材紹介



経営コンサルティング



在宅専科



hcmis

在宅医療用クラウド型電子カルテ

在宅医療専門医が考えた 今一番新しいカルテ

全国150以上の在宅クリニック
大手医療法人へも多数導入

無料説明会予約受付中



AI搭載で
書類自動作成

オーダーリングチェック機能で
投薬ミスや病名漏れチェック

タイムラインで患者様の
経過を瞬時に把握



メディカルインフォマティクス
株式会社



03-5733-6600



東京都千代田区丸の内二丁目1番1号 明治生命館4階

在宅医療のメディアサイト
在宅医療カレッジ



**1日あたり150円。
ペットボトル1本分のご寄付で、
途上国の子どもたちに必要な
医療を届けることができます。**



**一人の子どもとつながる"顔の見える支援"
チャイルド・スポンサーシップに参加しませんか？**

World Vision 

ご参加やご質問はフリーダイヤルまたは公式サイトまで ☎ 0120-465-009

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2ハーモニータワー3F
ワールド・ビジョンは1950年に設立され、キリスト教精神に基づき、世界約100カ国で子どもたちを支援する世界最大級の国際NGOです。

たった一度の
いのちと
歩く。



KYOWA KIRIN

私たちの志

検索

2019年7月作成

なんとかしたい。
だから、挑む。

人類の歴史にはさまざまな挑戦者がいた。どんなに失敗しても、彼らの熱意や想いが何度も立ち上がらせ、その結果、常識を打ち破り新しい世界を見せてくれた。医薬はどうだ。空を自由に飛び、宇宙にまで届く時代に、私たちの体の中には未解決の課題が山積している。私たちにはやるべきことがある。助けなければならない人がいる。だから、挑む。住友ファーマは、精神神経領域およびがん領域を重点疾患領域とし、これまで紡ぎあげてきた当社の経験と知識を最大限生かせるこれらの領域において、引き続き、医薬品、再生・細胞医薬、非医薬等の研究開発に挑み続けます。

Sumitomo Pharma
Innovation today, healthier tomorrows



詳しくはこちら

中央法規出版 新刊のご案内

在宅医療

治し支える医療の概念と実践

高齢化による疾病構造の変化に伴い、医療の概念が「治し支える医療」へと変化している中、日本の医療で今後ますます重要となる在宅医療について、その概念やあり方を体系的かつ詳細に解説する。



- 横倉義武、大島伸一、辻 哲夫、新田國夫＝監修
蘆野吉和、太田秀樹＝編集
- 定価 4,180 円（税込） B5 判・292 頁
- ISBN978-4-8058-8988-6



試し読みはこちら

医師・看護師のための

認知症プライマリケア まるごとガイド

最新知識に基づくステージアプローチ

疾患別の解説のほか、認知症高齢者の経過を「軽度」「中等度」「重度」「末期」の4ステージに分けて、各ステージで医療専門職が行うべき対応を整理した。認知症のプライマリケアに必要な知識を網羅した本格テキスト。



- 平原佐斗司、内田直樹、遠矢純一郎＝編著
- 定価 4,620 円（税込） B5 判・480 頁
- ISBN978-4-8243-0022-5



試し読みはこちら



中央法規
Chuohoki Publishing Co., Ltd.

〒110-0016 東京都台東区台東 3-29-1 • TEL.03-6387-3196（代表） • <https://www.chuohoki.co.jp/>



脊髄性筋萎縮症治療剤
劇薬、処方箋医薬品^注

薬価基準収載

エブリスディ[®]ドライシロップ60mg



リスジプラムドライシロップ

注）注意—医師等の処方箋により使用すること
® F.ホフマン・ラ・ロシュ社（スイス）登録商標

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等につきましては、電子化された添付文書をご参照ください。

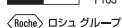
製造販売元



中外製薬株式会社
〒103-6324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

〔文献請求先及び問い合わせ先〕 メディカルインフォメーション部
TEL.0120-189-706 FAX.0120-189-705

〔販売情報提供活動に関する問い合わせ先〕
<https://www.chugai-pharm.co.jp/guideline/>



ロシュグループ

2022年5月作成

Novartis Pharma K.K.

新しい発想で医療に貢献します

ノバルティスのミッションは、より充実した、すこやかな毎日のために、
新しい発想で医療に貢献することです。

イノベーションを推進することで、治療法が確立されていない疾患にも
積極的に取り組み、新薬をより多くの患者さんにお届けします。

 NOVARTIS

ノバルティス ファーマ株式会社

<http://www.novartis.co.jp/>



薬価基準収載

低セレン血症治療剤

アセレンド[®]注100μg

ASELEND[®] INJECTION (亜セレン酸ナトリウム注射液)

劇薬、処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること)

●効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については、
電子添文をご参照ください。

 藤本製薬グループ

〔製造販売元(文献請求先及びお問い合わせ先)〕

藤本製薬株式会社

〒580-8503 大阪府松原市西大塚1丁目3番40号

TEL: 0120-225-591 FAX: 0120-116-026

URL: <http://www.fujimoto-pharm.co.jp/>

®登録商標

医療・健康ニーズに応じて、 人々の健康・福祉にいっそう貢献したい。



患者さんのために、わたしたちにできることがきっとある。
これからも医療・健康ニーズをとらえ、独創的な新薬を開発してまいります。



持田製薬株式会社

<https://www.mochida.co.jp/>



ヤンセンが目指すのは、 病が過去のものになる未来を作ることです。

世界のすべてが、私たちの研究室。

病と懸命に闘う患者さんのために、高い科学技術、独創的な知性、
世界中の力を合わせ、新しい可能性を切り拓く。

すべては、私たちの解決策を待つ、ひとつの命のために。複雑な課題にこそ挑んでいく。
新しい薬を創るだけでなく、それを最適な方法で提供する。

革新的な薬や治療法を、届ける。世界中に、私たちを待つ人がいる限り。

誰もが健やかに、いきいきと暮らす社会。

そんな「当たり前」の願いのために、自ら変化し、努力を続けます。

ヤンセンファーマ株式会社 www.janssen.com/japan www.facebook.com/JanssenJapan

janssen
PHARMACEUTICAL COMPANIES OF
Johnson & Johnson



POINT OF CARE

夜間も日中も、誰でも、 緊急の血液分析ができます

i-STAT®1 アナライザー

血液ガス、電解質、血糖、クレアチニン、BUN、ヘマトクリット、心筋トロポニン、ACT など 21 項目の検査が可能



経済性

測定カートリッジ以外の消耗品が無く、更に、必要な検査項目のみに絞ったカートリッジが選択できます

シンプルでスピーディーな操作

電源をオンにした直後に、検体を注入したカートリッジを本体に挿入。自動で測定開始し、どなたでも使用できます。結果取得までに約2分※1

大型分析装置と同等の精度

ポータブル型ながら、大型の分析装置と同等の精度※2の検査が可能です。精度管理用試薬もあります

メンテナンスフリー

検体はカートリッジ内のみを移動。アナライザー本体は暴露しないため故障を抑制、管理が容易です

院内システムとの連携

InfoHQ（オプション）で院内システムへデータを送ることが可能です

※1：トロポニン、 β -hCG は約 10 分、ACT は実測値
※2：i-STAT®1 アナライザー取扱説明書に基づく

アボットジャパン合同会社 ポイント・オブ・ケア事業部
〒108-6305 東京都港区三田3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館
TEL.0120-03-1441（受付時間 平日9:00-17:00）
医療機器：12B1X00001000020 POC202307-03M



全国の在宅医療クリニックの
声から生まれた

在宅医療業務を
とことん効率化する
 クラウド型電子カルテです



**多職種間
情報連携機能**

モバカルネットのチャット機能により、セキュアに手軽にPCやスマホで情報共有。多職種間、医療機関間でも、4段階の連携強度で情報共有をリアルタイムに行うことができます。

**どこでもかんたん
カルテ・文書入力**

タブレット端末、ノートパソコン、スマートフォンなどお好きな端末で、時間、場所を問わずご利用いただけます。電波が届かない場所でも、基本的な情報の閲覧、入力が可能です。

**医療費 + 介護費
請求書・収納管理**

患者様の医療費と介護費を合算した請求書・領収書を印刷できます。お支払い状況の管理や、全銀協フォーマットによる引落システムとの連携、自動発送サービスとの連携や、各種集計帳票の出力も可能です。

**在宅医療ならではの
便利機能を満載**

地図・ルート表示、患家の一括地図表示、物品交換アラート表示、病名チェック機能、管理料自動算定機能など、在宅医療ならではの機能を標準搭載。診療報酬改定時にも自動でアップデートします。

NTTデバイステクノ株式会社

神奈川県横浜市神奈川区新浦島1-1-32 アクアリアタワー横浜14F ☎ 050-5577-5406